

S R Sエアバッグシステム

S R Sエアバッグ

& プリテンショナー付き

シートベルトシステム SA-1

注意事項 SA-1

部品配置図 SA-7

機能説明 SA-8

機能点検 SA-10

トラブルシューティングの進め方 SA-12

回路図 SA-13

ダイアグノーシスコード一覧 SA-15

不具合現象別マトリクス SA-19

トラブルシューティング SA-20

点検要領 SA-36

単体点検 SA-80

ステアリングホイールASSY SA-81

構成図 SA-81

脱着 SA-82

ホーンボタンASSY SA-84

構成図 SA-84

脱着 SA-85

ホーンボタンASSY

(エアバッグシステム装着車

廃車時の展開要領) SA-86

廃却 SA-86

ホーンボタンASSY

(単品廃却時の展開要領) SA-87

廃却 SA-87

スパイラルケーブル SA-91

構成図 SA-91

脱着 SA-92

インストルメントパネル

パッセンジャーエアバッグASSY SA-94

構成図 SA-94

脱着 SA-95

インストルメントパネル

パッセンジャーエアバッグASSY

(エアバッグシステム装着車

廃車時の展開要領) SA-97

廃却 SA-97

インストルメントパネル

パッセンジャーエアバッグASSY

(単品廃却時の展開要領) SA-98

廃却 SA-98

フロントシートアウターベルトASSY

[プリテンショナー] SA-101

構成図 SA-101

脱着 SA-102

フロントシートアウターベルトASSY

[プリテンショナー]

(エアバッグシステム装着車

廃車時の展開要領) SA-103

廃却 SA-103

フロントシートアウターベルトASSY

[プリテンショナー]

(単品廃却時の展開要領) SA-104

廃却 SA-104

エアバッグセンサーASSYセンター SA-106

構成図 SA-106

脱着 SA-107

フロントエアバッグセンサー SA-109

構成図 SA-109

脱着 SA-110

サイドエアバッグセンサーASSY SA-112

構成図 SA-112

脱着 SA-113

変更概要

トヨタ マークII チェイサー クレスタ修理書／追補版（品番62187、1997年8月発行）の内容から以下の項目を変更および追加しました。

1. SRSエアバッグ & プリテンショナー付きシートベルトシステム
 - エアバッグシステム追加に伴う注意事項の変更
 - エアバッグシステム追加および形状変更に伴う部品配置図の変更
 - DLC3追加に伴う機能点検の変更
 - エアバッグシステム追加および各コネクター変更に伴う回路図の変更
 - エアバッグシステム変更に伴うトラブルシューティングおよび点検要領の変更
 - スパイラルケーブルのコネクター変更およびフロントエアバッグセンサー追加に伴う単体点検の変更
2. ステアリングホイールASSY
 - 3本スポーク追加に伴う脱着要領の追加
3. ホーンボタンASSY機能点検
 - 3本スポーク追加に伴う脱着および廃却要領の追加
4. スパイラルケーブル
 - 3本スポーク追加およびスパイラルケーブルコネクター変更に伴う脱着要領の追加
5. インstrumentパネルパッセンジャーエアバッグASSY
 - コネクター変更に伴う脱着および廃却要領の変更
6. フロントシートアウターベルトASSY（プリテンショナー）
 - フロントシートアウターベルトASSY（プリテンショナー）追加に伴う脱着および廃却要領の追加
7. エアバッグセンサーASSYセンター
 - 形状変更に伴う脱着要領の変更
8. フロントエアバッグセンサー
 - フロントエアバッグセンサー追加に伴う脱着要領の追加

SRSエアバッグ & プリテンショナー付きシートベルトシステム

SA090-01

注意事項

1. 取り扱い・作業上の注意

- (a) エアバッグ・プリテンショナーシステムは正しい手順・方法で作業を実施しないと、作業中に作動し重大な事故につながるおそれがある。また、間違った修理を行なうと、必要なときに作動しない可能性がある。サービス時に（部品の脱着、点検、交換など）次の事項をよく読み本書に記載された正しい手順・方法で作業を行なう。

2. 一般的な注意事項

- (a) 作業はダイアグノーシスコードの確認を行なった後、IGスイッチをOFF（LOCK）し、バッテリーのマイナスターミナルをはずした後、90秒経過してから開始する。
- (1) バッテリー接続時、IGスイッチをOFF（LOCK）しておく。
- (2) エアバッグ・プリテンショナーシステムはバックアップ電源を備えているため、バッテリーのマイナスターミナルをはずしてから90秒経過しないうちに作業を開始するとエアバッグが作動する可能性がある。
- (3) バッテリーのマイナスターミナルをはずすと、メモリーが消去されるシステムがあるため作業前に各システムのメモリー内容を記録し、作業後再セットする。
- (b) 電気的な点検にはトヨタ電気リカルテスターを使用する。
- (c) システム周辺の注意事項を記載したラベルの指示に従う。
- (d) 絶対に分解しない。
- (e) 落下させたり、ひび割れ、へこみ、欠けがある場合は新品と交換する。
- (f) 他の車両のエアバッグ、シートエアバッグおよびプリテンショナー部品は絶対に使用せず部品交換時は必ず新品を取り付ける。
- (g) 高熱や火気に直接さらさない。

3. エアバッグ、シートエアバッグおよびプリテンショナー廃却時の注意事項（作動前）

- (a) 絶対に未作動の状態で廃棄しない。
- (b) 屋外の安全を確保できる場所で行なう。
- (c) エアバッグ、シートエアバッグおよびプリテンショナーを作動させる場合は、SSTを使用してエアバッグ・プリテンショナーから5m以上離れる。

4. エアバッグ、シートエアバッグおよびプリテンショナー廃却時の注意事項（作動後）

- (a) 大変高温になっているため作動後30分は放置しておく。
- (b) 水などをかけない。
- (c) 取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
- (d) ビニール袋に入れて密閉し廃棄する。
- (e) 作業終了時は、必ず手を水洗いする。

5. ホーンボタンASSY（運転席側エアバッグ） & インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY（助手席側エアバッグ） & フロントシートエアバッグASSY & フロントシートアウターベルトASSY（プリテンショナー）の注意事項

- (a) 作業時など一時的にでも取りはずす場合は、必ず展開面を上にして保管する。
- (b) 保管時、エアバッグの上に物を置いたり、エアバッグの重ね置きをしない。

<警告>

万一、何らかの原因でエアバッグが作動したとき、展開面が下を向いていると重大な事故につながるおそれがある。

- (c) 抵抗測定は絶対に行なわない。

<警告>

テスターの電流によって作動する可能性があり大変危険である。

- (d) 非作動の衝突時でも点検を実施する。
- (e) グリース、洗剤、オイル、水などを付着させない。付着した場合は乾いた布などで速やかに拭き取る。
- (f) 高温（雰囲気温度93℃以上（プリテンショナーは80℃以上））、多湿を避けた、電気ノイズの影響を受けにくい場所で保管、取り扱いを行なう。

(g) 廃車時や単品の廃棄時は、必ずSSTを使用して作動させる。

(要領はSA-86参照)

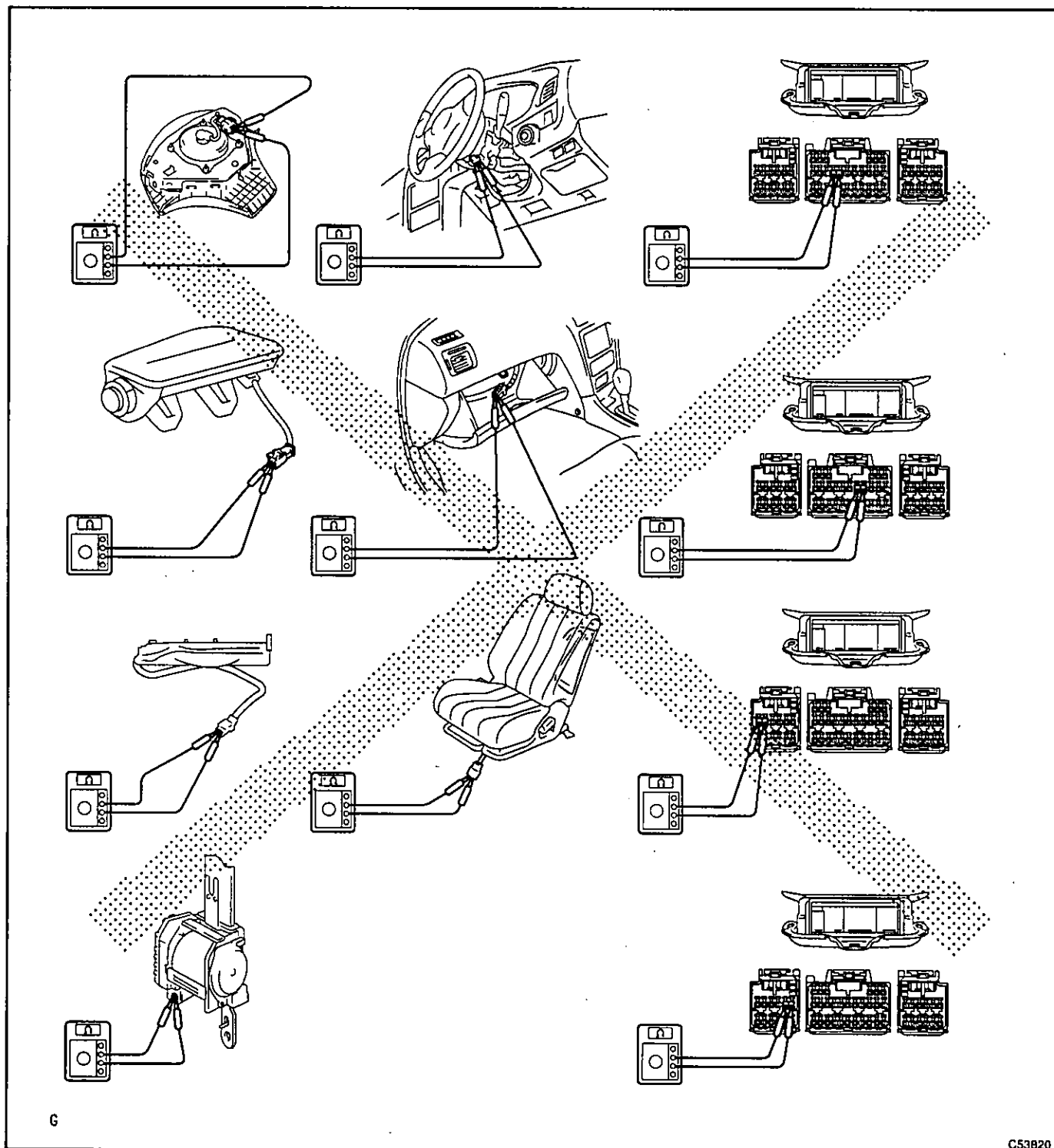
(要領はSA-87参照)

(要領はSA-97参照)

(要領はSA-98参照)

(要領はSA-103参照)

(要領はSA-104参照)



6. スパイラルケーブル（コンビネーションスイッチ内蔵）の注意事項

- (a) 取り付け時およびステアリングホイール脱着時はセンター合わせを行う。

<注意>

ステアリングホイールを操作したとき断線するおそれがある。

7. エアバッグセンサーASSYセンター、サイドエアバッグセンサーASSYおよびフロントエアバッグセンサーの注意事項

- (a) 衝突によりエアバッグ、シートエアバッグおよびプリテンショナーが作動した場合、必ずセンサーASSY（センター、サイドおよびフロントをセットで）を交換する。

8. ワイヤハーネス・コネクターの注意事項

- (a) エンジンルーム内の不出部分を除き、黄色で統一されており、特殊なコネクターが採用してあるので十分注意して取り扱う。

9. 衝突などで損傷を受けた車両の処置

- (a) 電気式の溶接機を使用する場合は、エアバッグを取りはずしてから作業を行う。
- (b) エアバッグセンサーASSYセンター、サイドエアバッグセンサーASSYおよびフロントエアバッグセンサーに衝撃が加わる可能性がある場合は、センサーASSYおよびセンサーを事前に取りはずしておく。
- (c) エアバッグセンサーASSYセンター、サイドエアバッグセンサーASSYおよびフロントエアバッグセンサーを高温にさらさない。

10. エアバッグの点検が必要なケース

- (a) エアバッグが未作動の軽微なものも含め、衝突などで車両が損傷した場合。
- (b) ダイアグノーシスコードが出力された場合。

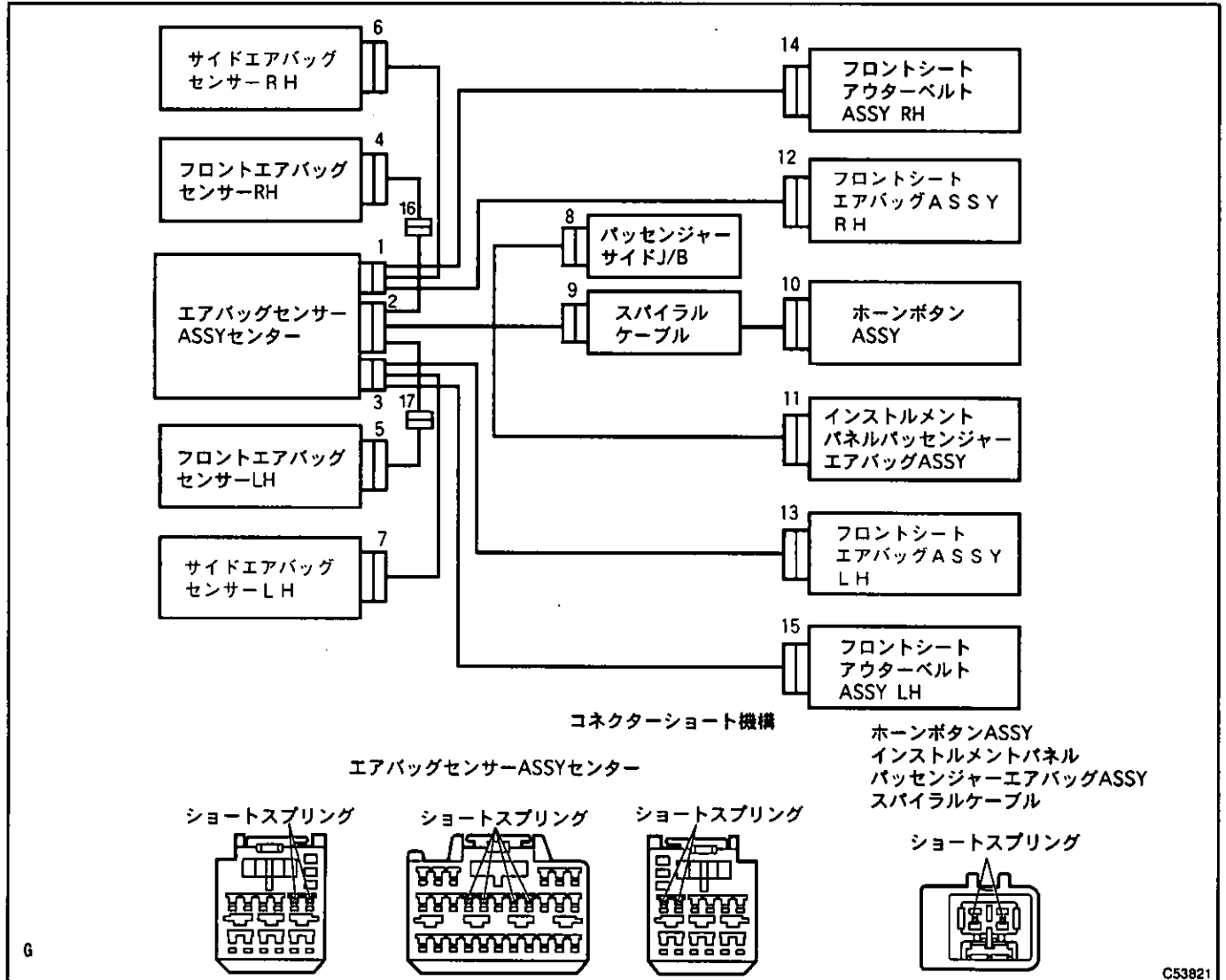
11. コネクタショート機構

<注意>

トラブルシューティングで指示のない限りコネクタのショート機構を解除しない。

<参考>

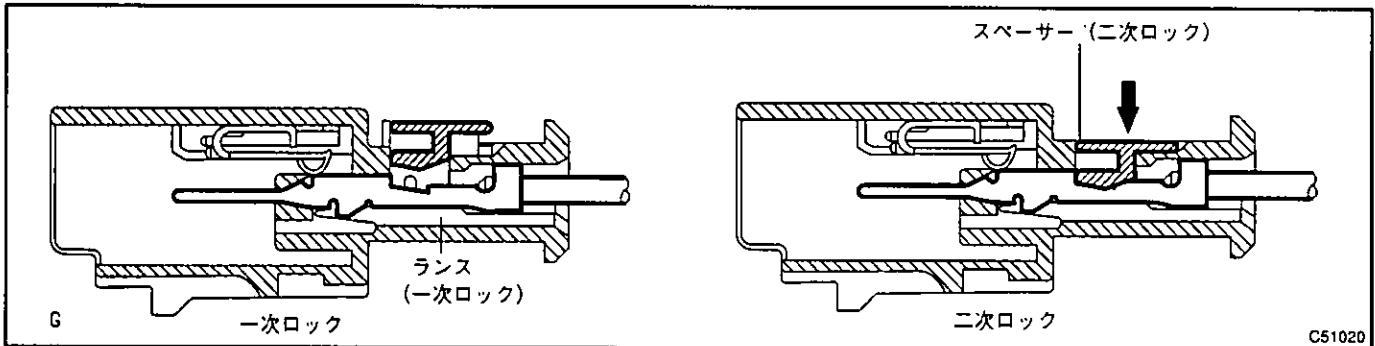
エアバッグシステムの点火回路のコネクタには静電気などによる誤作動防止のため、ショート機構付きコネクタが用いられコネクタを開放した状態では、エアバッグ側の端子が短絡する。



機構名	適用
ターミナル二重ロック機構	コネクタ-1、2、3、4、5、6、7、9、10、11、12、13、14、15、16、17
ターミナルショート機構	コネクタ-1、2、3、9、10、11、12、13、14、15
半かん合検出機構	コネクタ-1、2、3
半かん合防止機構	コネクタ-4、5、6、7、10、11、12、13、16、17
コネクタ二重ロック機構	コネクタ-8、9

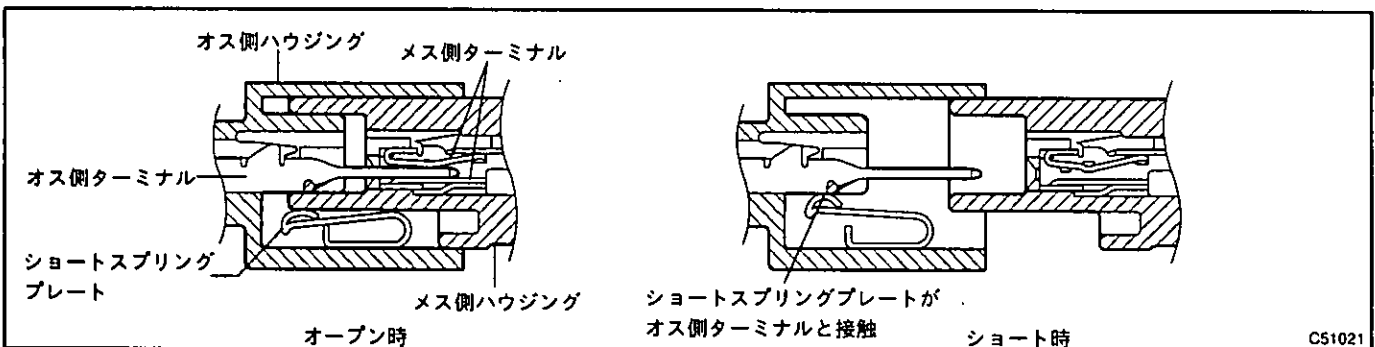
(a) ターミナル二重ロック機構

- (1) ターミナル保持力を向上し、端子抜け防止をする機構。
- (2) コネクターはハウジングとスペーサーの2ピース構造で、ターミナルの保持をランス（一次ロック）およびスペーサー（二次ロック）の二重で行う。



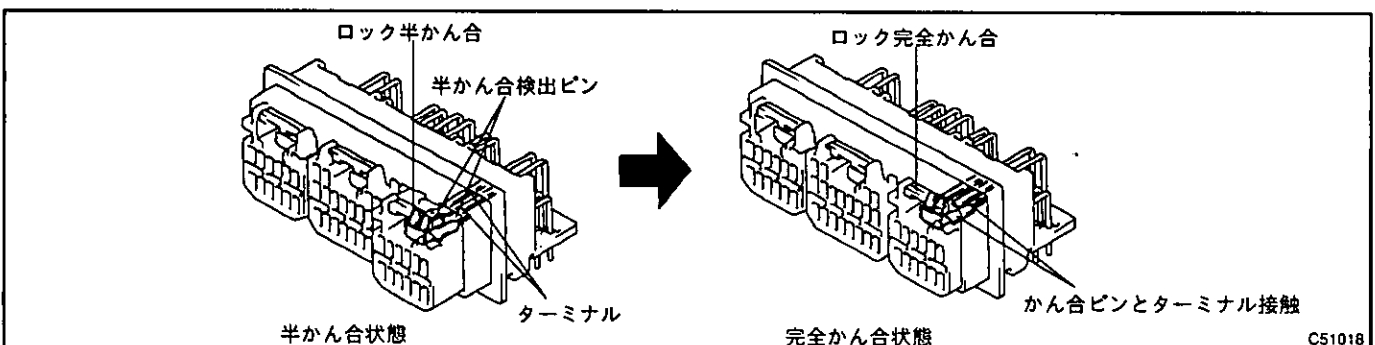
(b) ターミナルショート機構

- (1) コネクターをはずすと、エアバッグの電源側ターミナルとアース側ターミナルが自動的に短絡する機構。
- (2) コネクター内部にはショートスプリングプレートが設けられており、エアバッグ側が閉回路（両ターミナル間に電位差が発生しない）となり、整備作業上の誤作動を防止するためのもの。



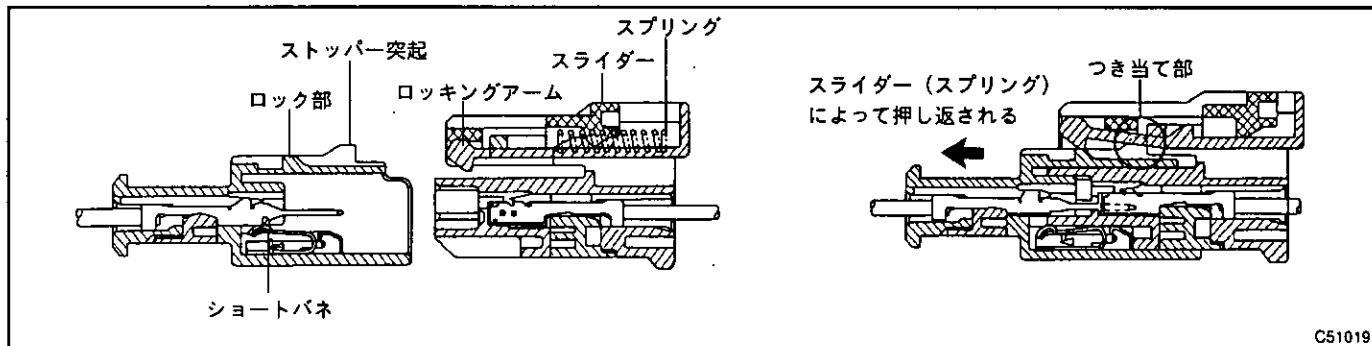
(c) 半かん合検出機構

- (1) コネクターが確実に接続されているかどうか電気的に検出する機構。
- (2) コネクターが完全かん合すると接続されるかん合検出ピンを使用し、センサーのインプット側とアウトプット側を直列に接続することにより、センサーエアバッグセンサーASSY（コンピューター）に電流を流し、半かん合状態を検出している。コネクター内壁に傾斜部が設定されており、コネクター接続時、かん合検出ピンはこれに沿って差し込まれる。そしてコネクターが完全に差し込まれると、かん合検出ピンは傾斜部からはずれてターミナルに接触する構造となっている。



(d) 半かん合防止機構

- (1) コネクターの半かん合を防止するための機構。
- (2) 完全かん合していないとスプリングによりスライダを介し、相手側コネクター（オス）を押し返し、確実に導通しないところまで相手側コネクターを押し返す。



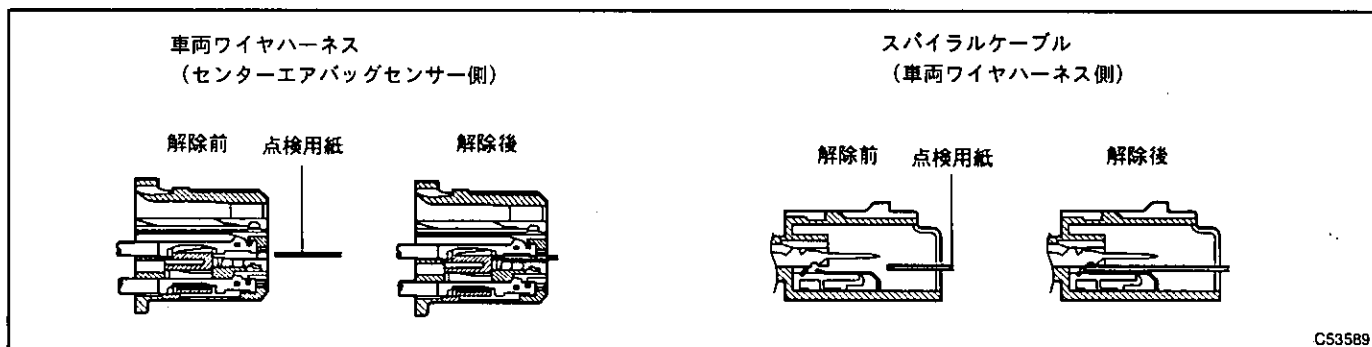
C51019

12. コネクターショート機構の解除

- (a) 端子と同等の厚さの紙（0.5mm）を使用して、コネクターのショート機構を解除する。

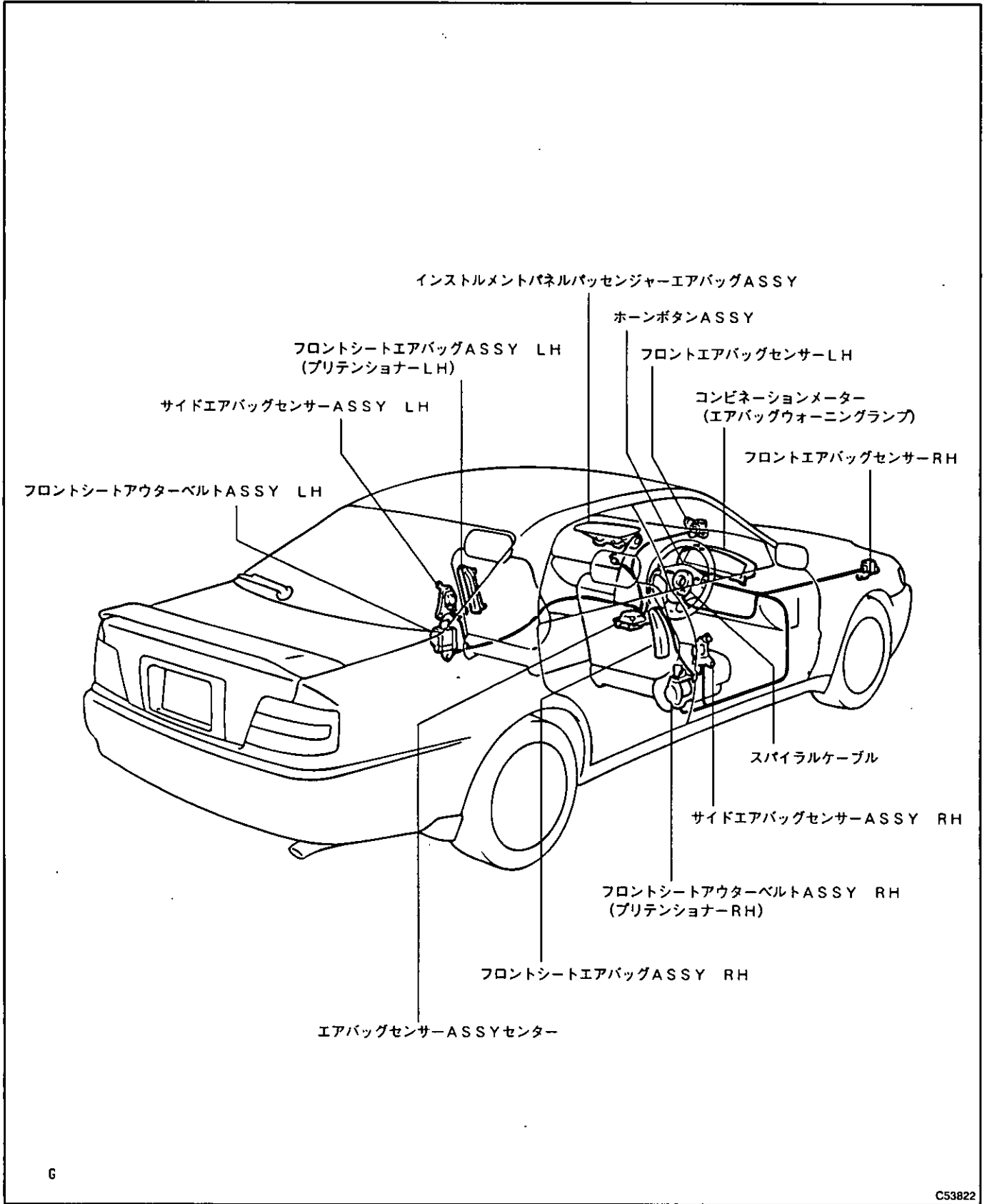
<注意>

端子、ショートスプリングを損傷するおそれがあるため、異なる厚さの紙を使用しない。



C53589

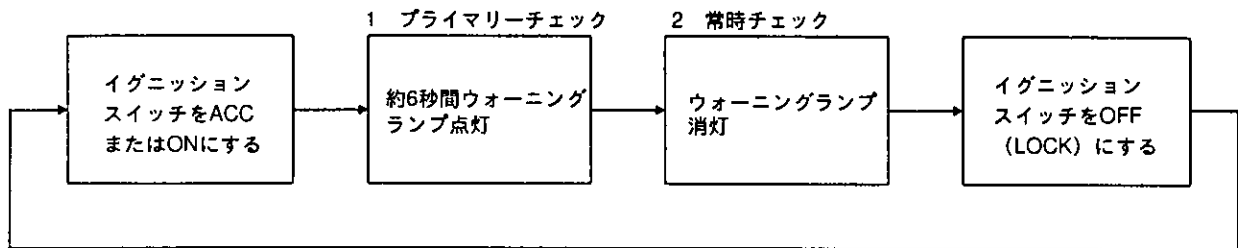
部品配置図



機能説明

<参考>

- エアバッグセンサーASSYセンターは自己診断装置を有しているが、診断機能はプライマリーチェックおよび常時チェックの2つの期間に分けて作動する。
- 記憶したダイアグノーシスコードはバッテリーを切り離しても記憶の消去は行わない。



CS0600

1. プライマリーチェック

- (a) バッテリー接続後2秒以上経過している場合にのみ、IGスイッチをACCまたはONにしてから約6秒間ウォーニングランプを点灯し診断を行う。

<注意>

バッテリー接続時、IGスイッチをOFF (LOCK) しておく。

- (b) プライマリーチェックではエアバッグセンサーASSYセンター内のセンターエアバッグセンサー、点火判定回路の診断などを行う。
- (c) 万一、プライマリーチェックで不具合が、発見されると、6秒経過後もウォーニングランプは点灯または点滅する。

2. 常時チェック

- (a) プライマリーチェックが終了（6秒経過後ウォーニングランプが消灯）すると、エアバッグセンサーASSYセンターはシステムを点火可能状態にするとともにシステムに異常がないかを常時監視する。
- (b) 万一、常時チェックで不具合が検出されると、エアバッグセンサーASSYセンターは以下のように作動する。
- (1) ウォーニングランプが点灯または点滅する。

<参考>

不具合コードが検出された場合で、ウォーニングランプが点灯または点滅する。

- (2) ウォーニングランプが点灯して消灯する。

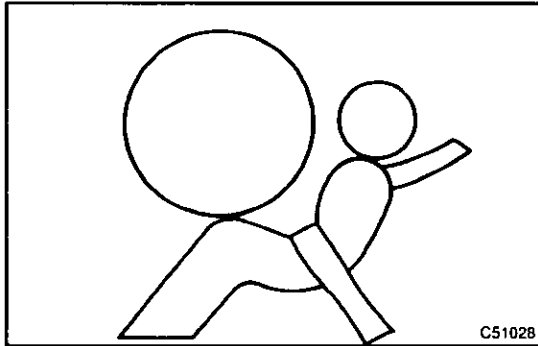
<参考>

電源電圧が低下したときウォーニングランプが点灯し、その後電圧が正常に復帰すると10秒後にウォーニングランプを消灯する。

3. まとめ

- (a) システムが正常な場合
 - (1) プライマリーチェック期間（IGスイッチをACCまたはONにしてから、約6秒間）のみウォーニングランプが点灯する。
- (b) システムに異常が発生している場合
 - (1) プライマリーチェック期間を過ぎてもウォーニングランプは点灯または点滅する。
 - (2) プライマリーチェック期間を過ぎて一度消灯し、再度ウォーニングランプが点灯または点滅する。
 - (3) ランプ切れなどによるウォーニングランプ不灯。

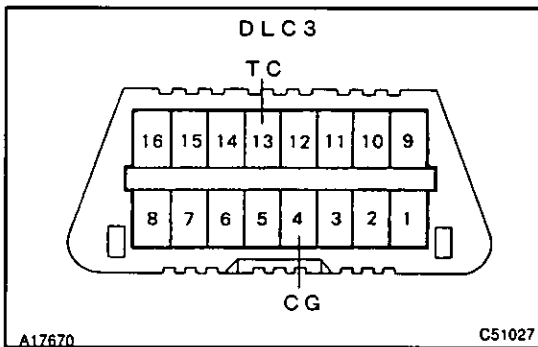
機能点検



1. ウォーニングランプ点検
 - (a) IGスイッチをACCまたはONにしたとき、ウォーニングランプが点灯または点滅するかを確認する。
 - (b) 約6秒経過後、ウォーニングランプが消灯することを確認する。

<参考>

- IGスイッチをACCまたはONにしたとき、点灯または点滅した場合はエアバッグ・プリテンショナーシステムに不具合が発生している。
- 約6秒経過後もときどき点灯したり、IGスイッチがOFF (LOCK) でも点灯する場合は、ウォーニングランプシステムのショートが考えられる。



2. ダイアグノーシスコード読み取り (ウォーニングランプによる読み取り)

- (a) IGスイッチをACCまたはONにして、20秒間待機する。

<参考>

センターエアバッグセンサーASSYがシステムすべての自己診断を完了するのに約20秒間かかる。

- (b) SSTを使用して、DLC3の13 (TC) ⇄ 4 (CG) 端子間を短絡しウォーニングランプの点滅回数を確認する。

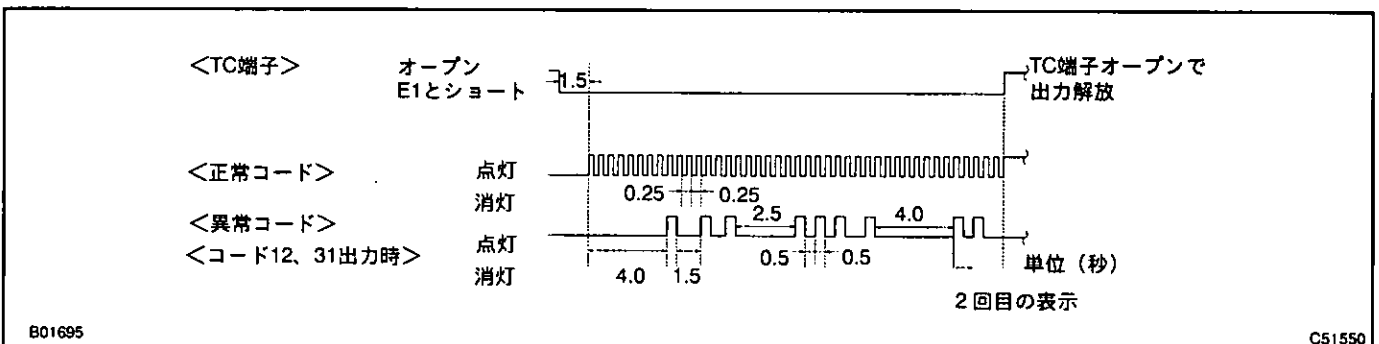
SST 09843-18040

<参考>

故障コード

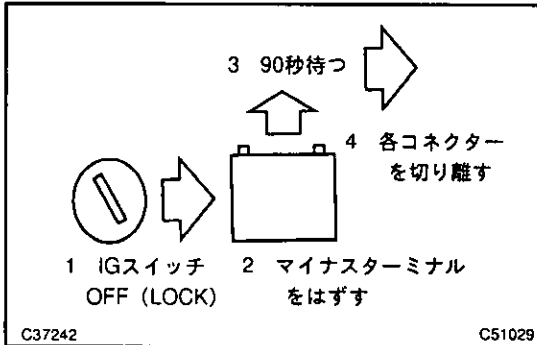
現在故障	今現在発生している故障
過去故障	過去に一度発生したが、今現在は発生していない故障

- 上記方法では現在故障が出力され、TC端子を先に短絡し、IGスイッチをACCまたはONにした場合は、現在故障と過去故障コードがそれぞれ出力され読み取ることができる。
- ダイアグノーシスコードが複数ある場合、数字の小さい順に出力し、全コード出力後2回目の表示を行う。



3. **ダイアグノーシスコード読み取り (S2000による読み取り)**
 - (a) IGスイッチをOFF (LOCK) にする。
 - (b) SSTをDLC3にセットする。
SST 09991-60100, 09991-60701
 - (c) IGスイッチをON後、S2000の画面表示に従ってダイアグノーシスコードを読み取る。
4. **ダイアグノーシスコード消去**
 - (a) IGスイッチをOFF (LOCK) にする。
 - (b) SSTをDLC3にセットする。
SST 09991-60100, 09991-60701
 - (c) IGスイッチをON後、診断ツールS2000の画面表示に従ってダイアグノーシスコードを消去する。

トラブルシューティングの進め方

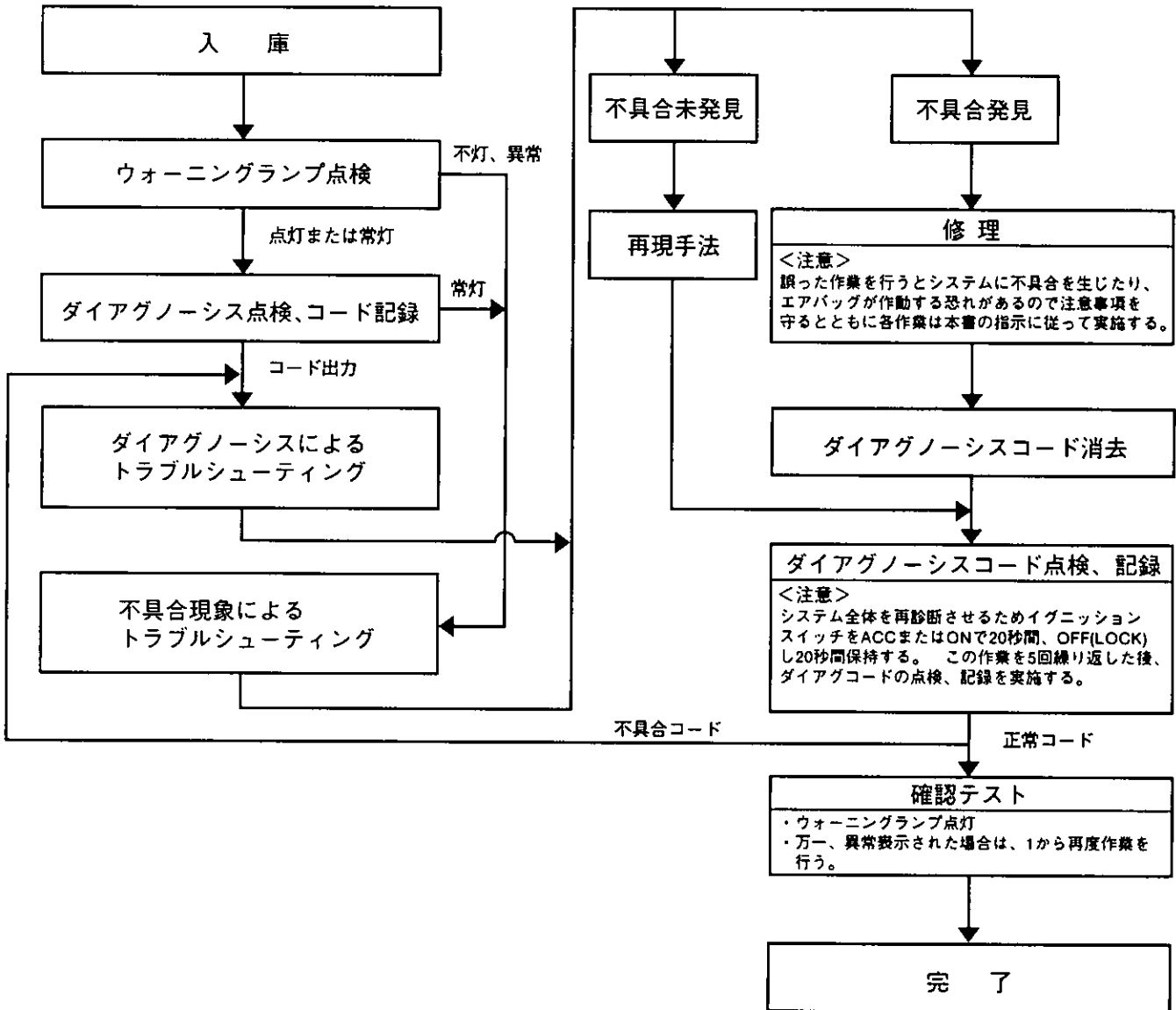


1. トラブルシューティングの進め方

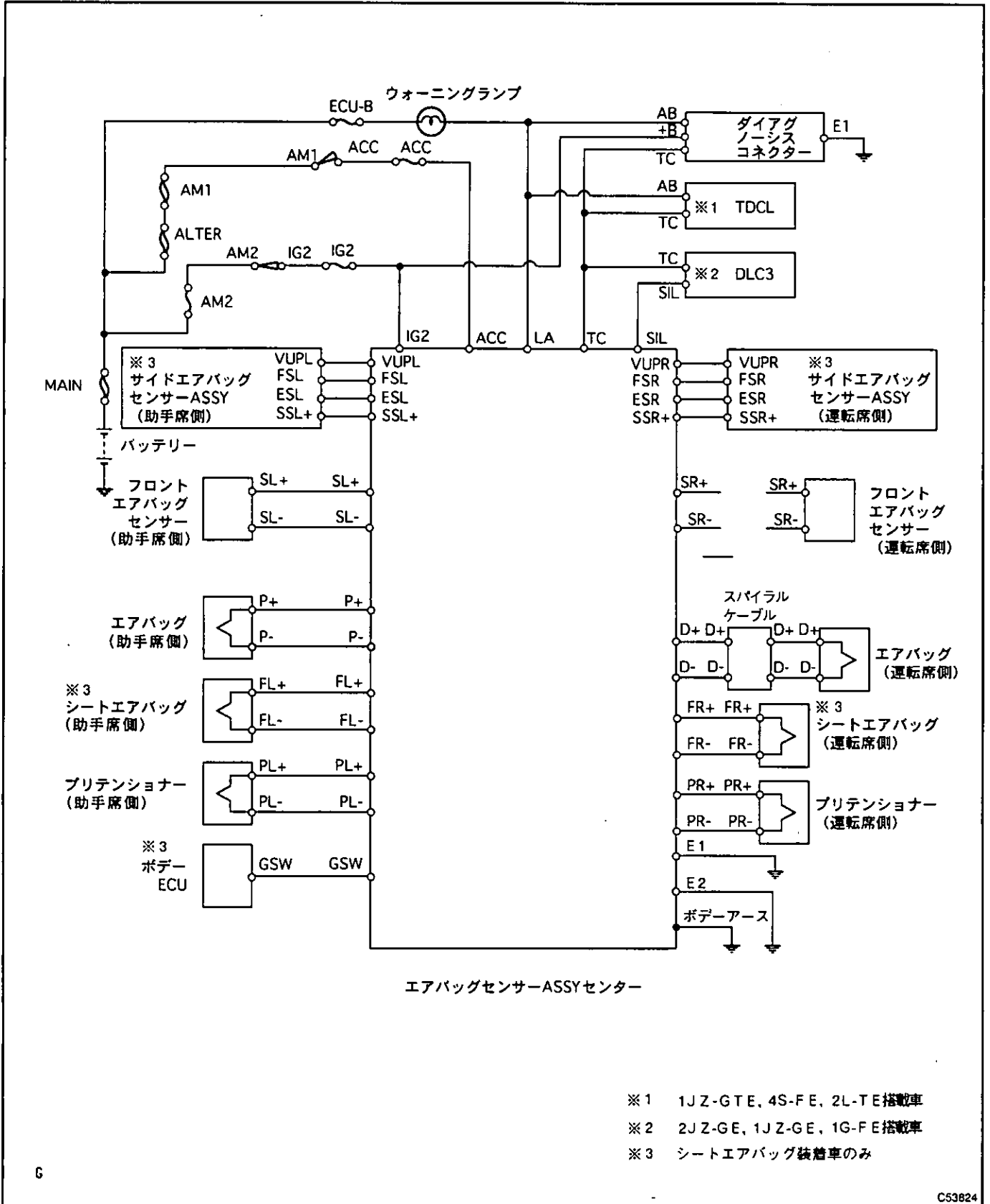
(a) 効率よく正確なトラブルシューティングを行うため、次の手順に従って作業を実施する。

<注意>

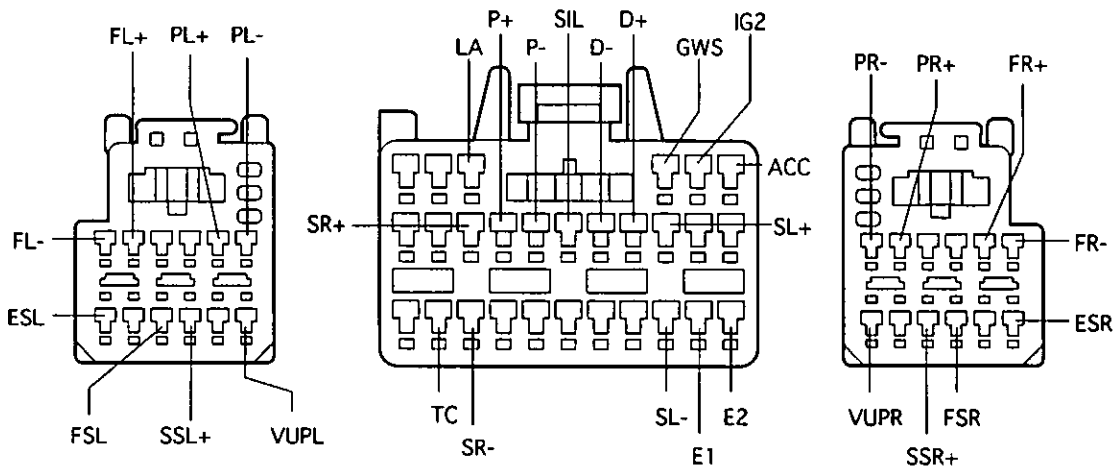
- トラブルシューティングを行うとき、短絡、電圧および抵抗測定を行う場合はコネクタのワイヤハーネス側から測定する。
- 不具合現象を把握した後、該当するフローチャートに従って点検する。



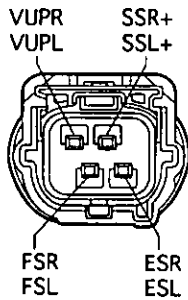
回路図



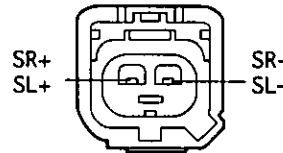
センターエアバッグセンサー



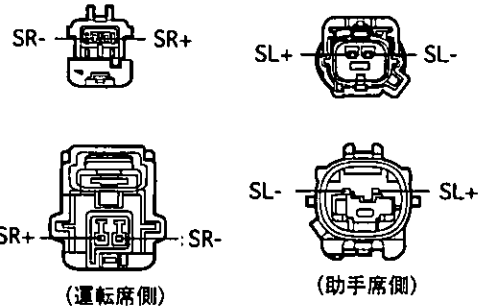
サイドエアバッグセンサー



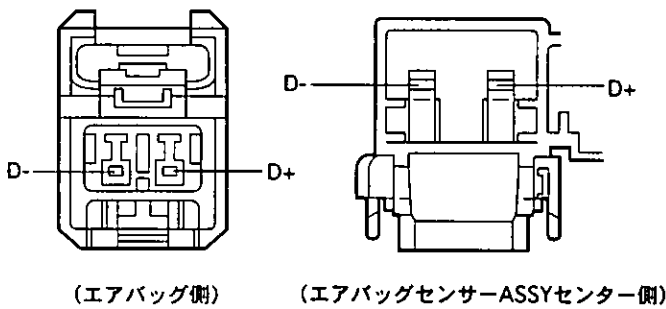
フロントエアバッグセンサー



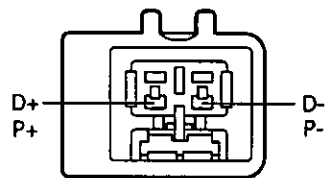
中継コネクター (フロントエアバッグセンサー)



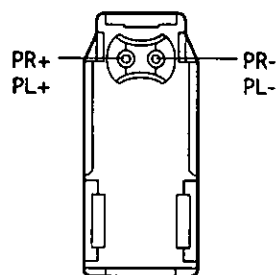
スパイラルケーブル



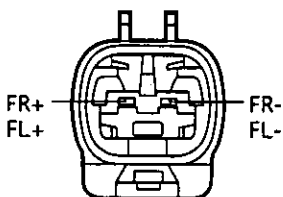
エアバッグ



プリテンショナー



サイドエアバッグ



G

ダイアグノーシスコード一覧

1. ダイアグノーシスコード別トラブルシューティング (運転席側)

ウォーニングランプコード (S2000 読み取りコード)	診断内容	該当フローチャート
11 (B0102)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～エアバッグ (運転席側) 間 W/Hがアースと短絡している エアバッグ (運転席側) が故障している スパイラルケーブルが故障している エアバッグセンサーASSYセンター内のセーフティングセンサーが常時ONしている 	1
12 (B0103)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～エアバッグ (運転席側) 間 W/Hが電源と短絡している エアバッグ (運転席側) が故障している スパイラルケーブルが故障している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	2
13 (B0100)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグ (運転席側) 内で点火装置が短絡している エアバッグセンサーASSYセンター～エアバッグ (運転席側) 間 W/Hが短絡している スパイラルケーブルが故障している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	3
14 (B0101)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグ (運転席側) 内で点火装置が断線している エアバッグセンサーASSYセンター～エアバッグ (運転席側) 間 W/Hが断線している スパイラルケーブルが故障している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	4
15 (B1156)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～フロントエアバッグセンサーASSY (運転席側) 間W/Hが断線またはアースと短絡している フロントエアバッグセンサー (運転席側) 内が断線している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	5
15 (B1157)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～フロントエアバッグセンサーASSY (運転席側) 間W/Hが電源と短絡している フロントエアバッグセンサー (運転席側) 内が短絡している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	6
32 (B1140)	<ul style="list-style-type: none"> サイドエアバッグセンサーASSY (運転席側) 内部が故障している エアバッグセンサーASSYセンター～サイドエアバッグセンサーASSY (運転席側) 間W/Hが電源と短絡している エアバッグセンサーASSYセンター～サイドエアバッグセンサーASSY (運転席側) 間W/Hがアースと短絡している 	10
41 (B0112)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～フロントシートエアバッグ (運転席側) 間W/Hがアースと短絡している フロントシートエアバッグ (運転席側) が故障している エアバッグセンサーASSYセンター内のセーフティングセンサーが常時ONしている 	11
42 (B0113)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～フロントシートエアバッグ (運転席側) 間W/Hが電源と短絡している フロントシートエアバッグ (運転席側) が故障している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	12
43 (B0110)	<ul style="list-style-type: none"> フロントシートエアバッグ (運転席側) 内で点火装置が短絡している エアバッグセンサーASSYセンター～フロントシートエアバッグ (運転席側) 間W/Hが短絡している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	13

ウォーニングランプコード (S2000 読み取りコード)	診断内容	該当フローチャート
44 (B0111)	<ul style="list-style-type: none"> フロントシートエアバッグ（運転席側）内で点火装置が断線している エアバッグセンサーASSYセンター～フロントシートエアバッグ（運転席側）間W/Hが断線している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	14
61 (B0132)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～プリテンショナー（運転席側）間W/Hがアースと短絡している プリテンショナー（運転席側）が故障している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	23
62 (B0133)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～プリテンショナー（運転席側）間W/Hが電源と短絡している プリテンショナー（運転席側）が故障している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	24
63 (B0130)	<ul style="list-style-type: none"> プリテンショナー内で点火装置が短絡している エアバッグセンサーASSYセンター～プリテンショナー（運転席側）間W/Hが短絡している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	25
64 (B0131)	<ul style="list-style-type: none"> プリテンショナー内で点火装置が断線している エアバッグセンサーASSYセンター～プリテンショナー（運転席側）間W/Hが断線している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	26

2. ダイアグノーシスコード別トラブルシューティング（助手席側）

ウォーニングランプコード (S2000 読み取りコード)	診断内容	該当フローチャート
16 (B1158)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～フロントエアバッグセンサーASSY（助手席側）間W/Hが断線またはアースと短絡している フロントエアバッグセンサー（助手席側）内が断線している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	7
16 (B1159)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～フロントエアバッグセンサーASSY（助手席側）間W/Hが断線またはアースと短絡している フロントエアバッグセンサー（助手席側）内が短絡している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	8
33 (B1141)	<ul style="list-style-type: none"> サイドエアバッグセンサーASSY（助手席側）内部が故障している エアバッグセンサーASSYセンター～サイドエアバッグセンサーASSY（助手席側）間W/Hが電源と短絡している エアバッグセンサーASSYセンター～サイドエアバッグセンサーASSY（助手席側）間W/Hがアースと短絡している 	10
45 (B0117)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～フロントシートエアバッグ（助手席側）間W/Hがアースと短絡している フロントシートエアバッグ（助手席側）が故障している エアバッグセンサーASSYセンター内のセーフィングセンサーが常時ONしている 	15
46 (B0118)	<ul style="list-style-type: none"> エアバッグセンサーASSYセンター～フロントシートエアバッグ（助手席側）間W/Hが電源と短絡している フロントシートエアバッグ（助手席側）が故障している エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	16

ウォーニングランプコード (S2000読み取りコード)	診断内容	該当フローチャート
47 (B0115)	<ul style="list-style-type: none"> •フロントシートエアバッグ（助手席側）内で点火装置が短絡している •エアバッグセンサーASSYセンター～フロントシートエアバッグ（助手席側）間W/Hが短絡している •エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	17
48 (B0116)	<ul style="list-style-type: none"> •フロントシートエアバッグ（助手席側）内で点火装置が断線している •エアバッグセンサーASSYセンター～フロントシートエアバッグ（助手席側）間W/Hが断線している •エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	18
51 (B0107)	<ul style="list-style-type: none"> •エアバッグセンサーASSYセンター～エアバッグ（助手席側）間がアースと短絡している •エアバッグ（助手席側）が故障している •エアバッグセンサーASSYセンター内のセーフィングセンサーが常時ONしている 	19
52 (B0108)	<ul style="list-style-type: none"> •エアバッグセンサーASSYセンター～エアバッグ（助手席側）間W/Hが電源と短絡している •エアバッグセンサー（助手席側）が故障している •エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	20
53 (B0105)	<ul style="list-style-type: none"> •エアバッグ（助手席側）内で点火装置が断線している •エアバッグセンサーASSYセンター～エアバッグ（助手席側）間W/Hが短絡している •エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	21
54 (B0106)	<ul style="list-style-type: none"> •エアバッグ（助手席側）内で点火装置が断線している •エアバッグセンサーASSYセンター～エアバッグ（助手席側）間W/Hが断線している •エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	22
71 (B0137)	<ul style="list-style-type: none"> •エアバッグセンサーASSYセンター～プリテンショナー（助手席側）間W/Hがアースと短絡している •プリテンショナー（助手席側）が故障している •エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	23
72 (B0138)	<ul style="list-style-type: none"> •エアバッグセンサーASSYセンター～プリテンショナー（助手席側）間W/Hがアース電源と短絡している •プリテンショナー（助手席側）が故障している •エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	24
73 (B0135)	<ul style="list-style-type: none"> •プリテンショナー内で点火装置が短絡している •エアバッグセンサーASSYセンター～プリテンショナー（助手席側）間W/Hが短絡している •エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	25
74 (B0136)	<ul style="list-style-type: none"> •プリテンショナー内で点火装置が断線している •エアバッグセンサーASSYセンター～プリテンショナー（助手席側）間W/Hが断線している •エアバッグセンサーASSYセンター内部が故障している 	26

3. ダイアグノーシスコード別トラブルシューティング

ウォーニング ランプコード (S2000 読み取りコード)	診断内容	該当フローチャート
31 (B1100)	センサーASSYセンター内部が故障している	9

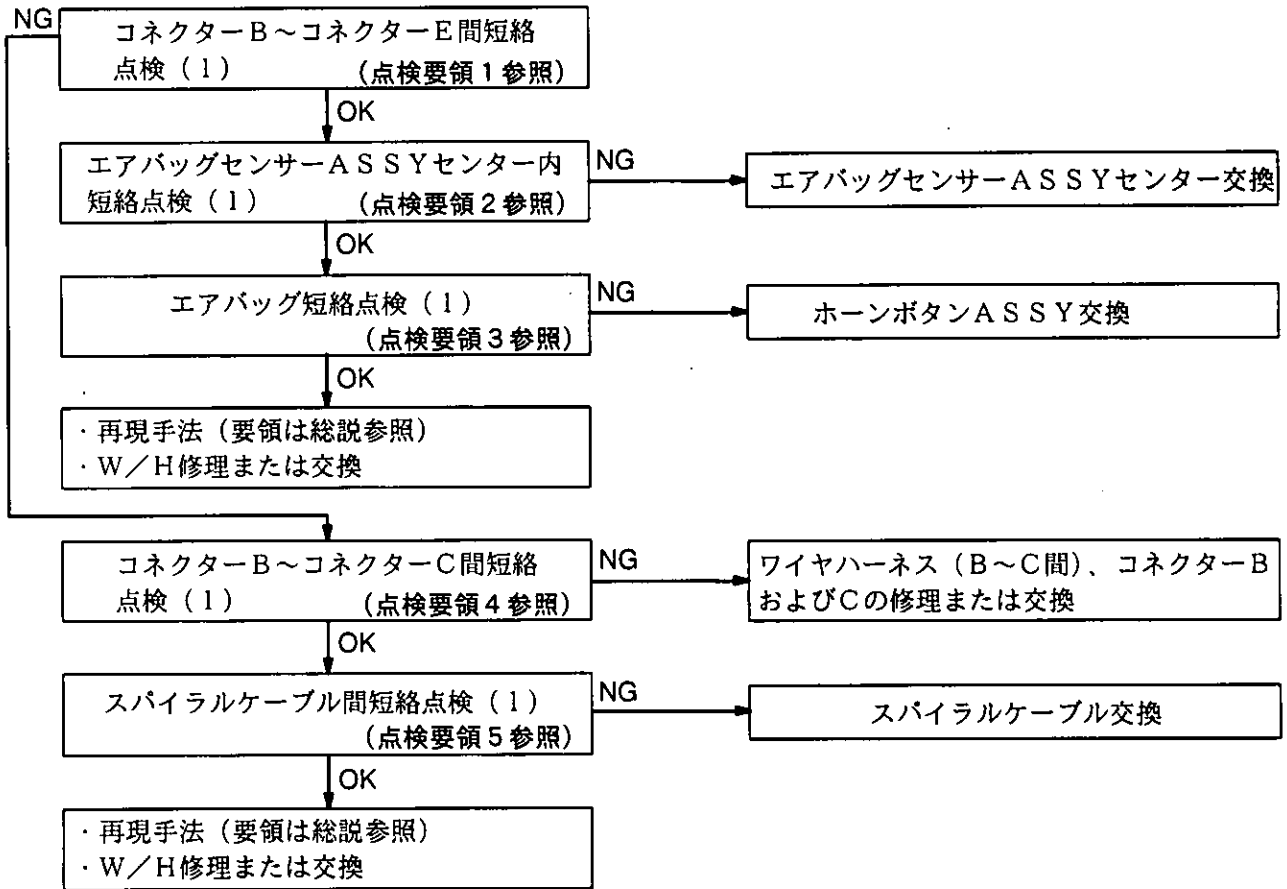
不具合現象別マトリクス

1. 不具合現象別トラブルシューティング

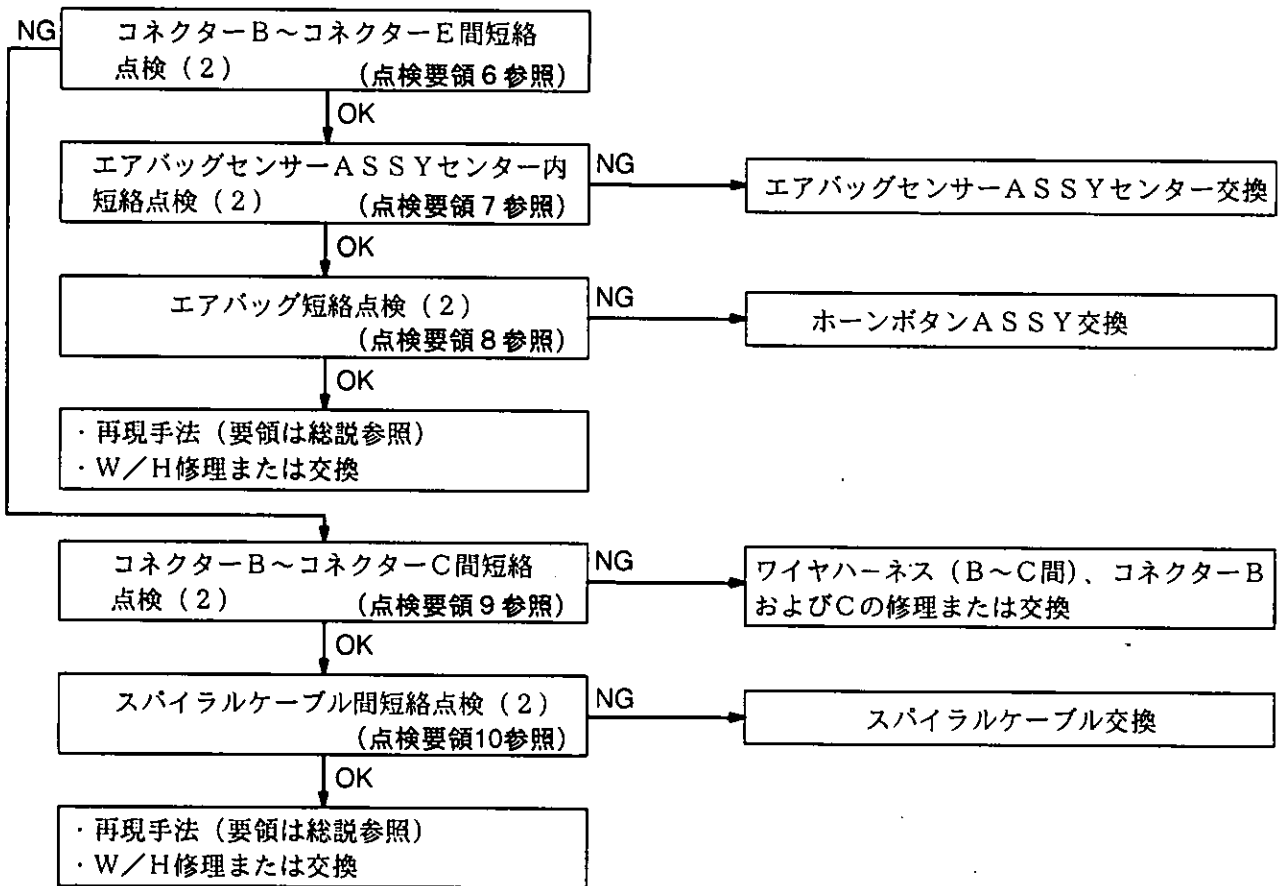
不具合現象	点検部位	該当フローチャート
IGスイッチOFF時ウォーニングランプが点灯する	ウォーニングランプ系統	27
ウォーニングランプがでたらめ表示する	エアバッグセンサーASSYセンター	-
ウォーニングランプが点灯したがダイアグノーシスコードが正常表示する	電源電圧系統	28
IGスイッチをACCまたはONにしてもウォーニングランプが不灯	ウォーニングランプ系統	29
・ダイアグノーシスコードが表示されない ・ダイアグノーシスコードが常時表示される	DLC3のTC端子系統	30

トラブルシューティング

1. コード11 (B0102) 運転席側点火回路 (アース短絡)

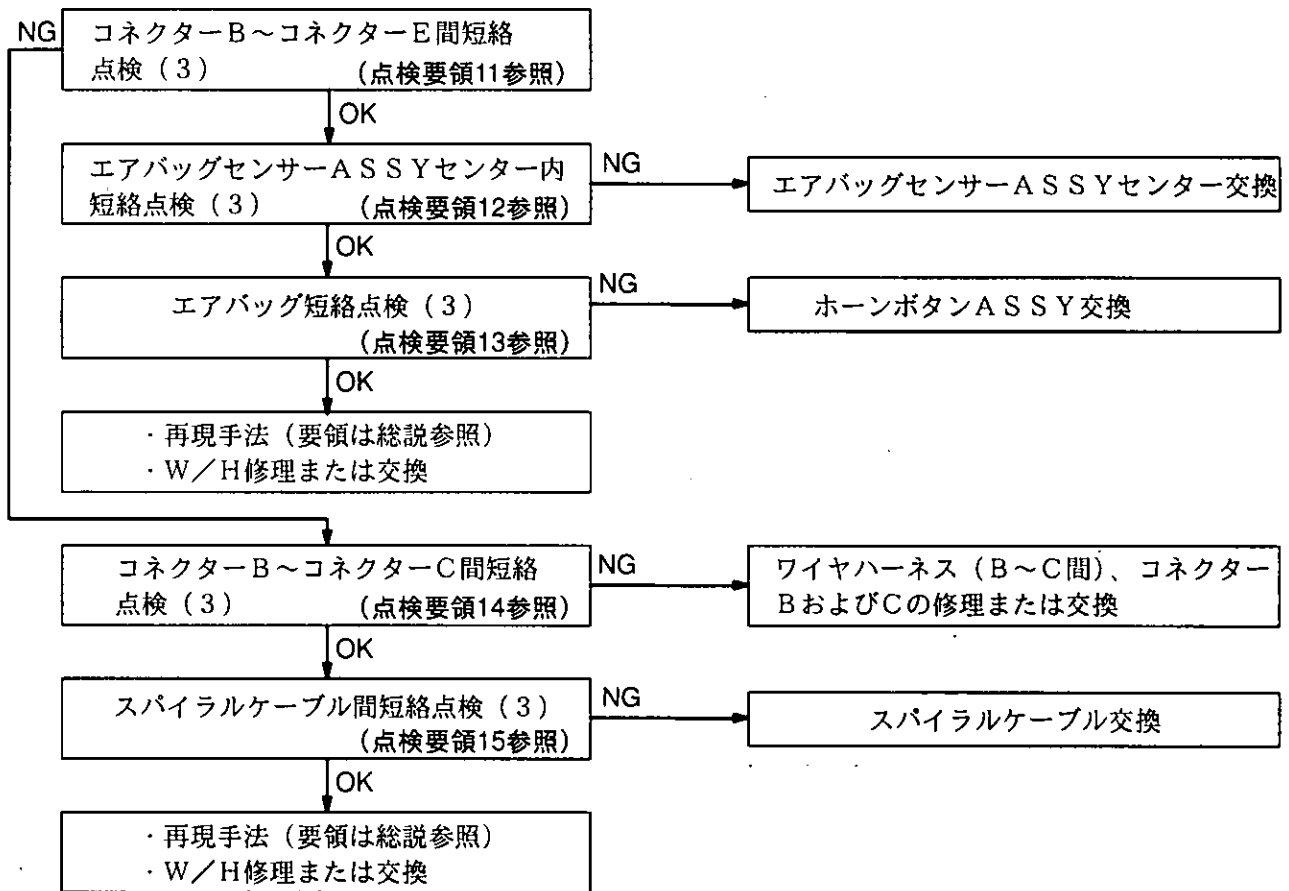


2. コード12 (B0103) 運転席側点火回路 (+Bと短絡)



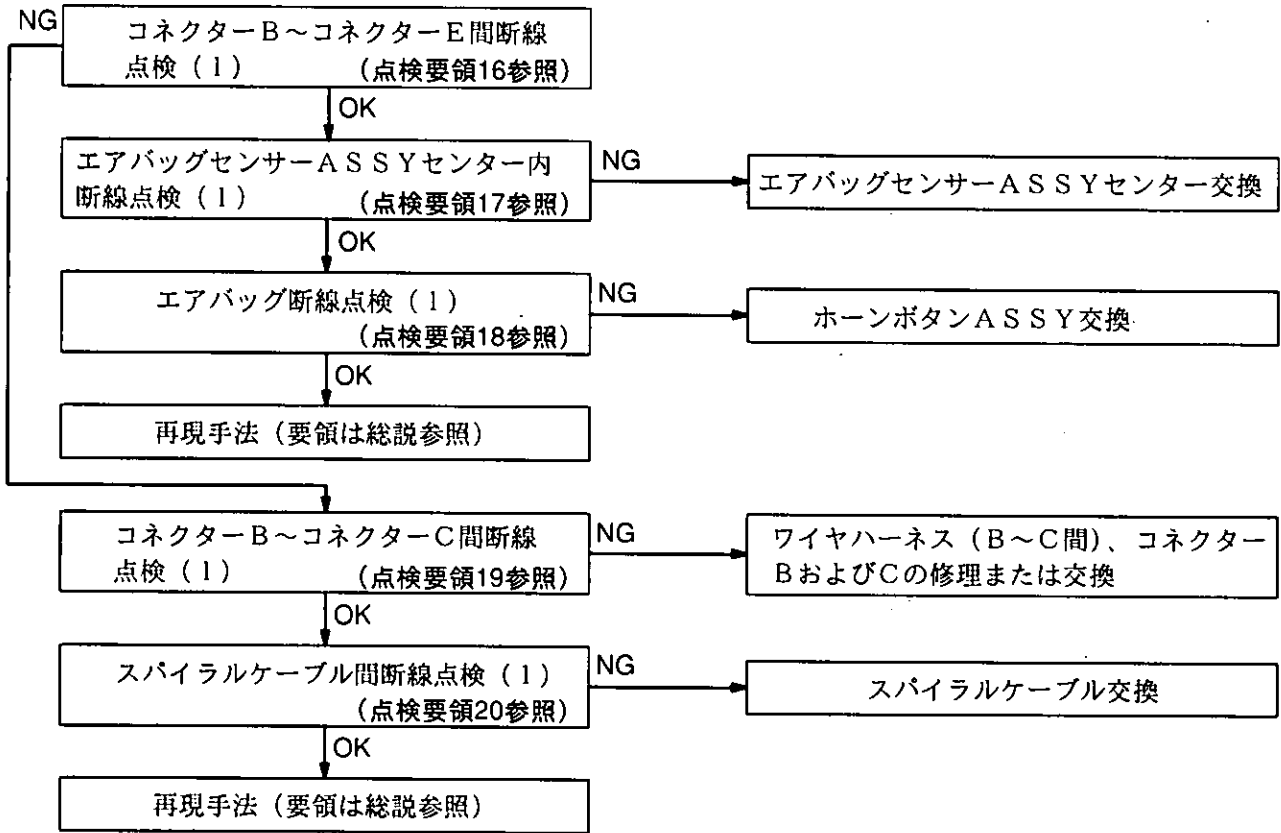
C54661

3. コード13 (B0100) 点火回路 (D+~D-端子間短絡)

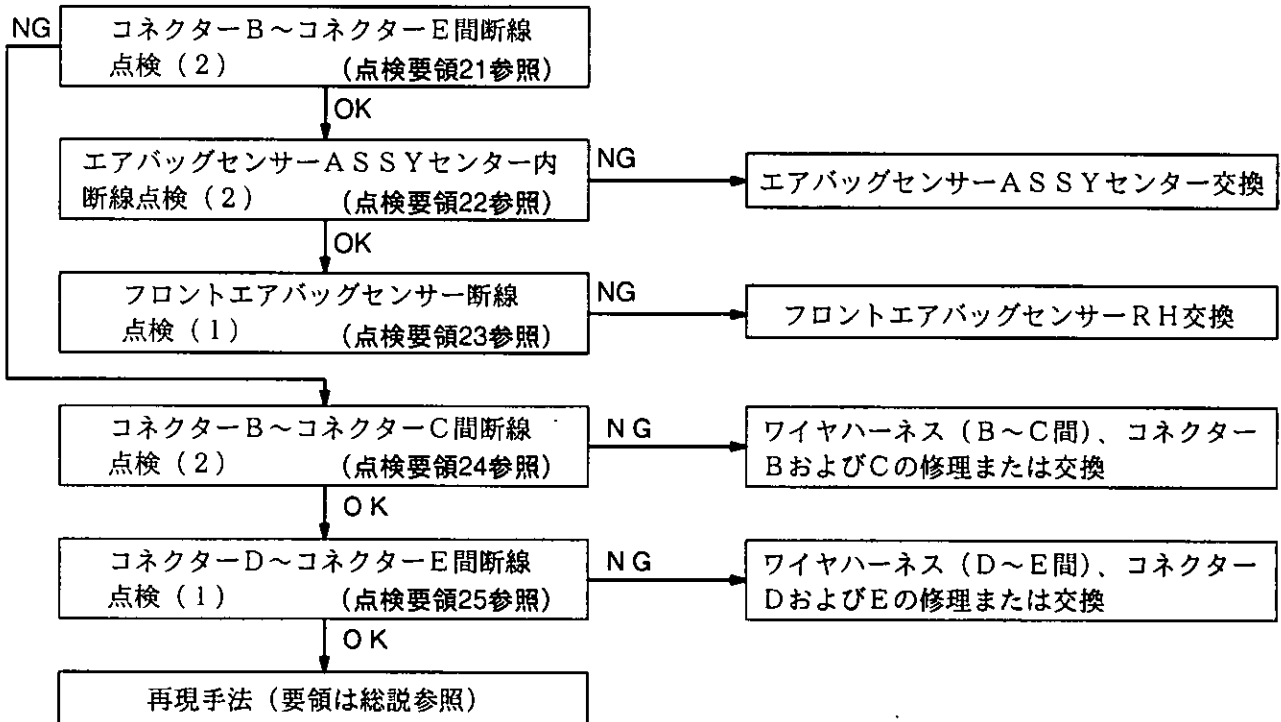


C54662

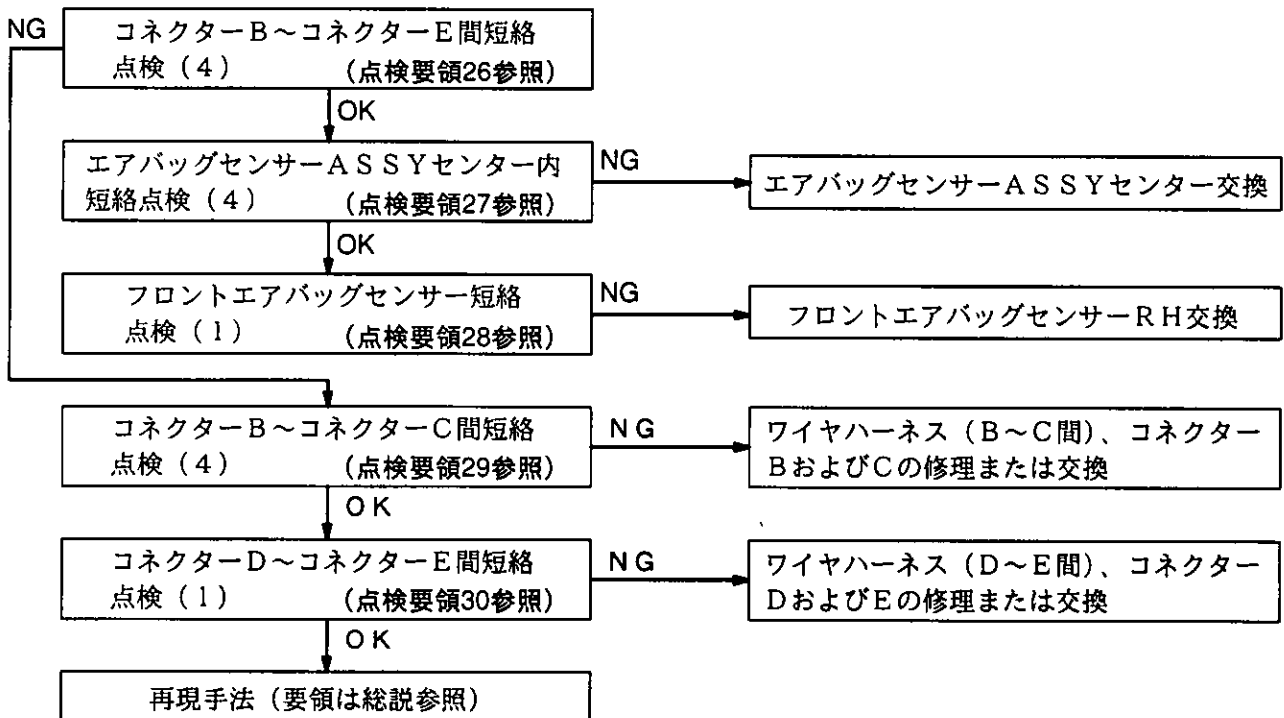
4. コード14 (B0101) 点火回路 (D⁺~D⁻端子間断線)



C54663

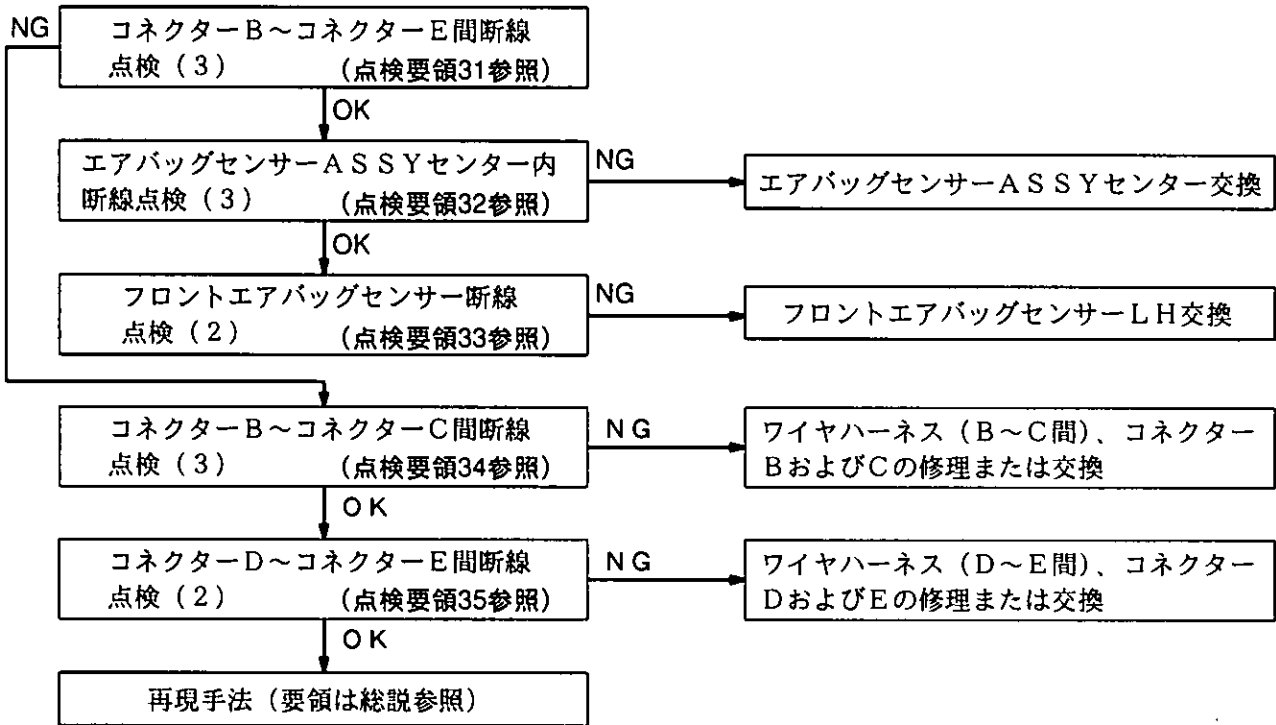
5. コード15 (B1156) フロントエアバッグセンサーRH
内部故障

C54664

6. コード15 (B1157) フロントエアバッグセンサーRH
内部故障

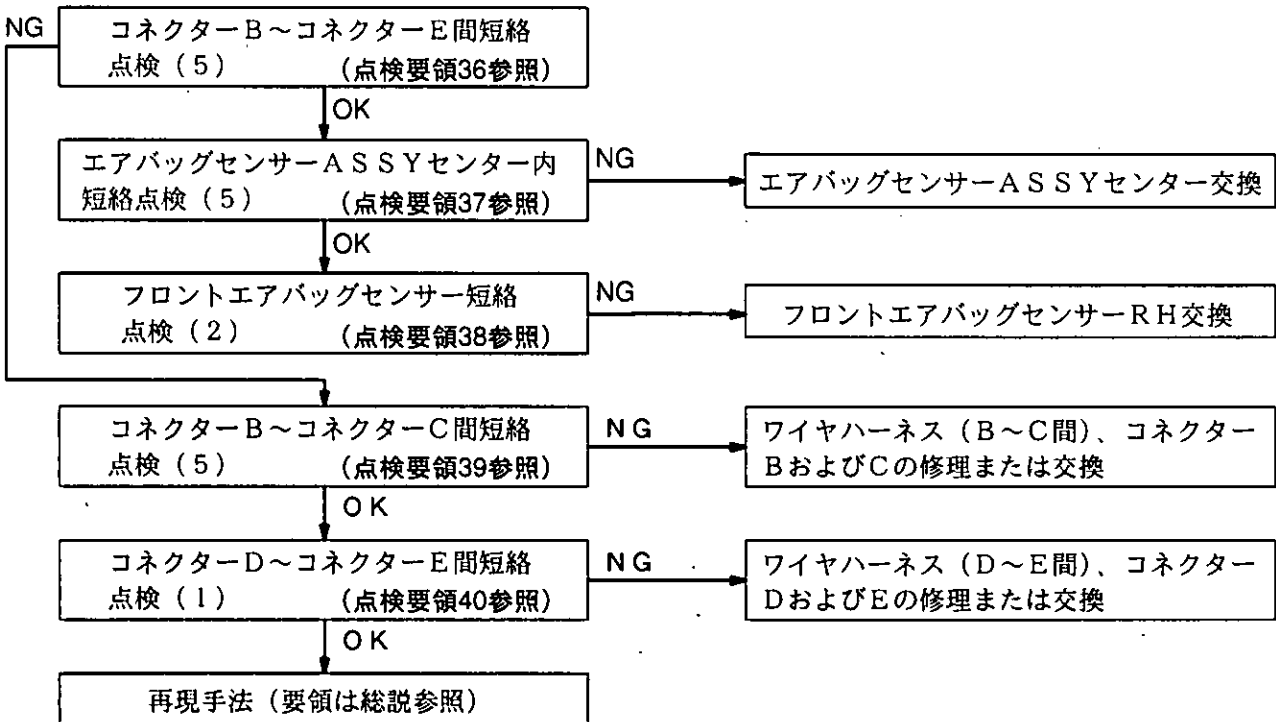
C55622

7. コード16 (B1158) フロントエアバッグセンサーLH
内部故障



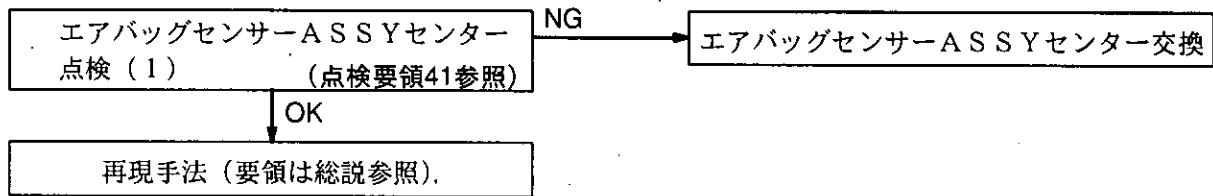
C54665

8. コード16 (B1159) フロントエアバッグセンサーLH
内部故障



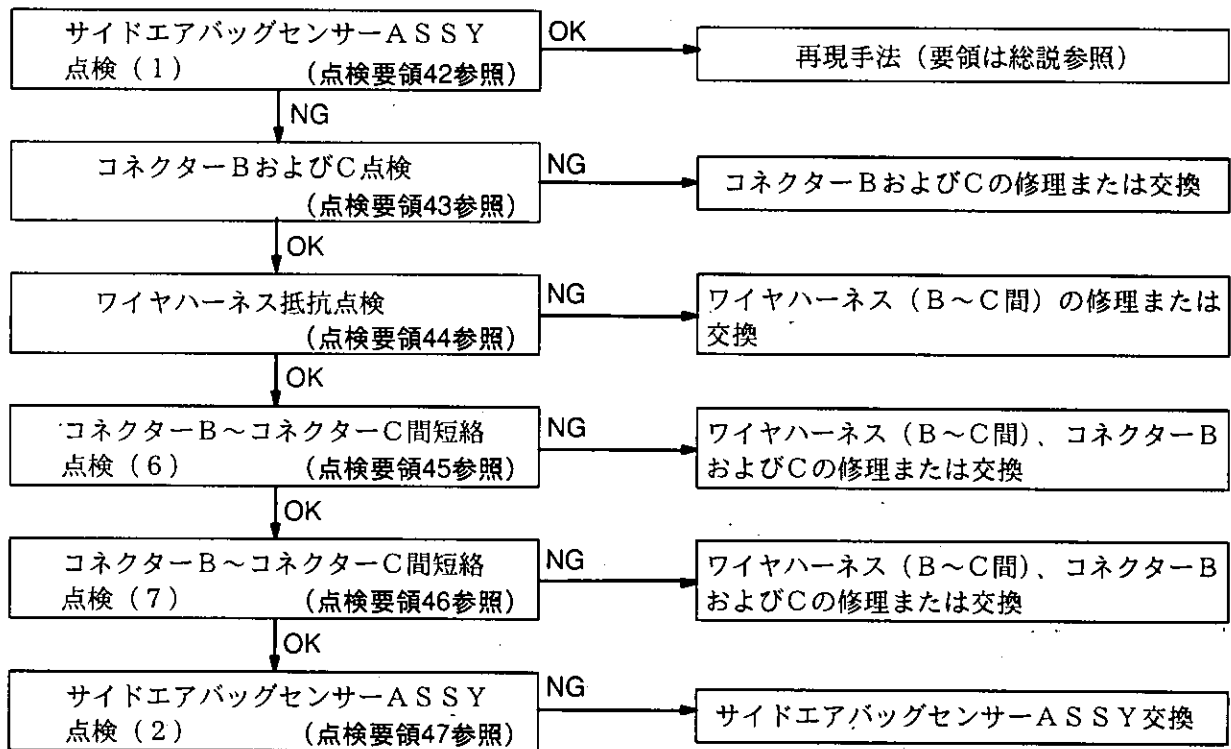
C55623

9. コード31 (B1100) エアバッグセンサーASSYセンター内部故障



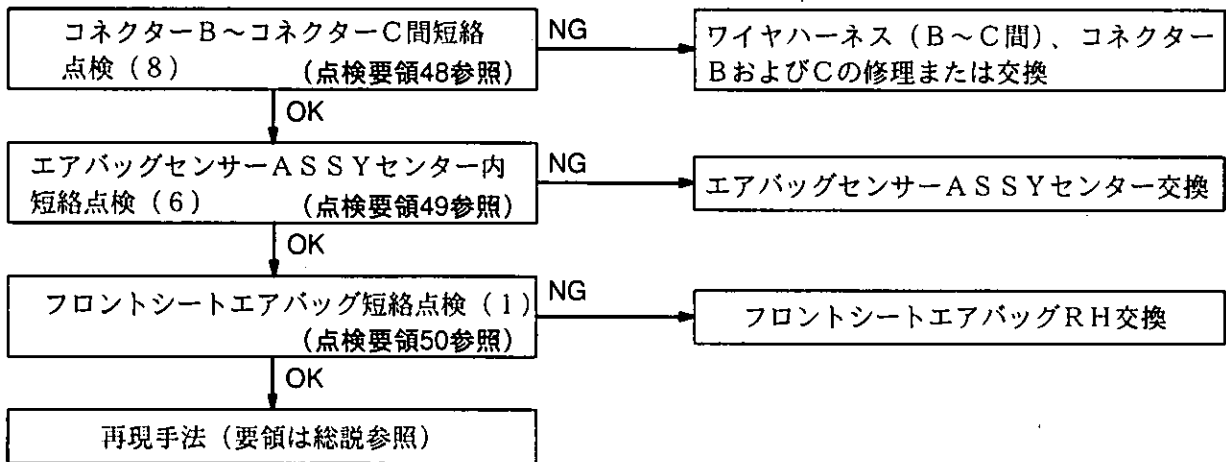
C54666

10. コード32, 33 (B1140, B1141) サイドエアバッグセンサーASSY内部故障



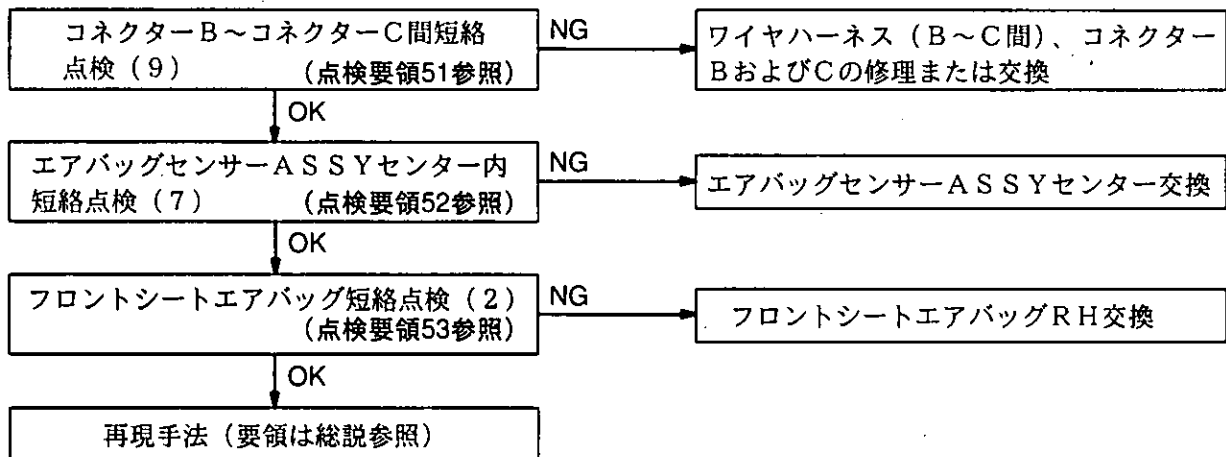
C54667

11. コード41 (B0112) 運転席側サイド点火回路 (アース短絡)



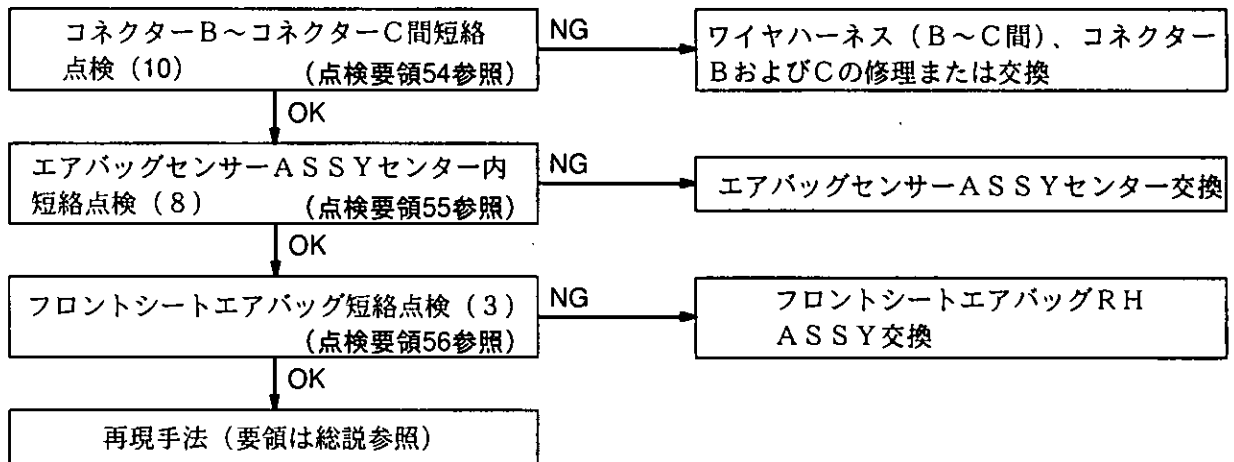
C54671

12. コード42 (B0113) 運転席側サイド点火回路 (+Bと短絡)



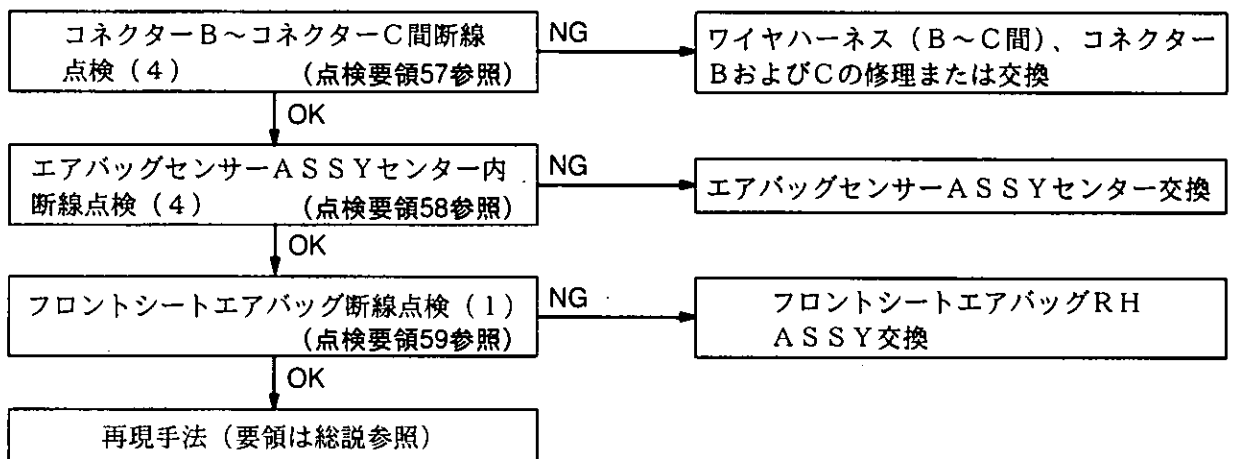
C54672

13. コード43 (B0110) 点火回路 (FR+~FR-端子間短絡)



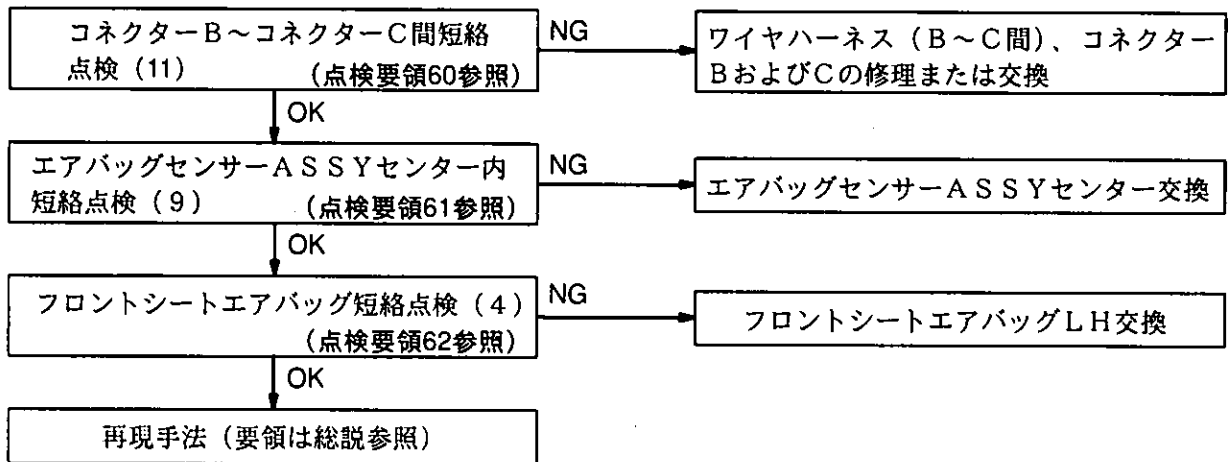
C54683

14. コード44 (B0111) 点火回路 (FR+~FR-端子間断線)



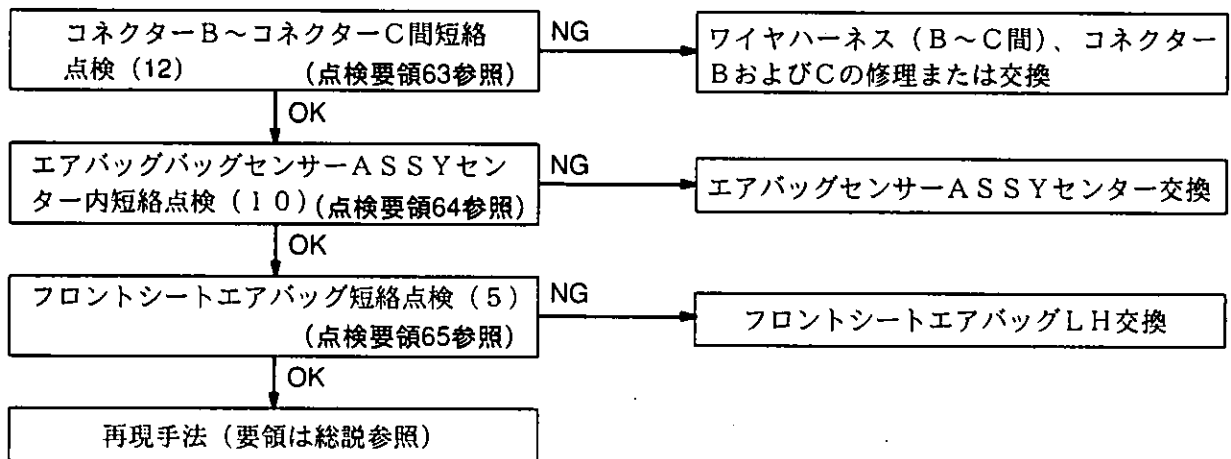
C54684

15. コード45 (B0117) 助手席側サイド点火回路 (アース短絡)



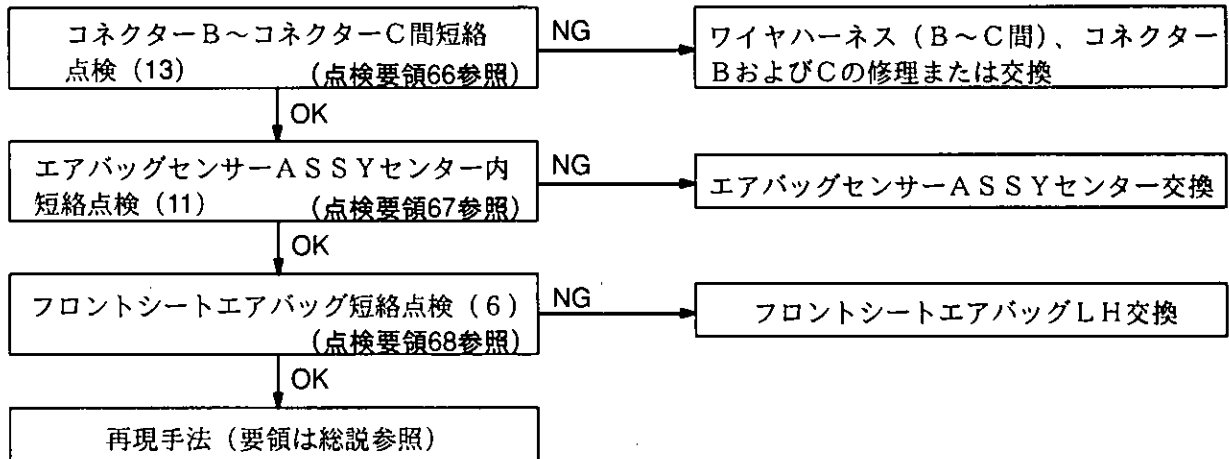
C54685

16. コード46 (B0118) 助手席側サイド点火回路 (+Bと短絡)



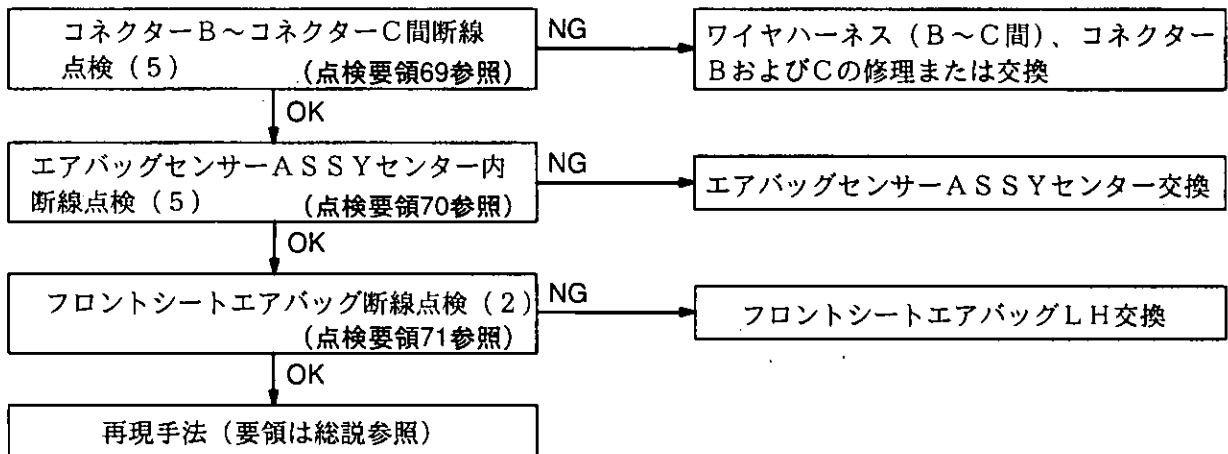
C54686

17. コード47 (B0115) 点火回路 (FL+~FL-端子間短絡)



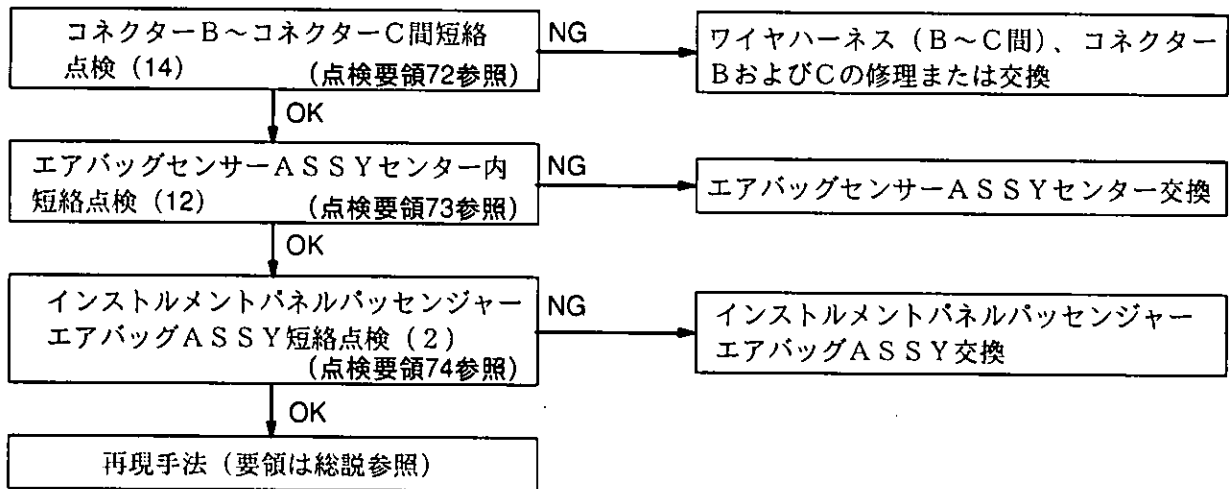
C54687

18. コード48 (B0116) 点火回路 (FL+~FL-端子間断線)



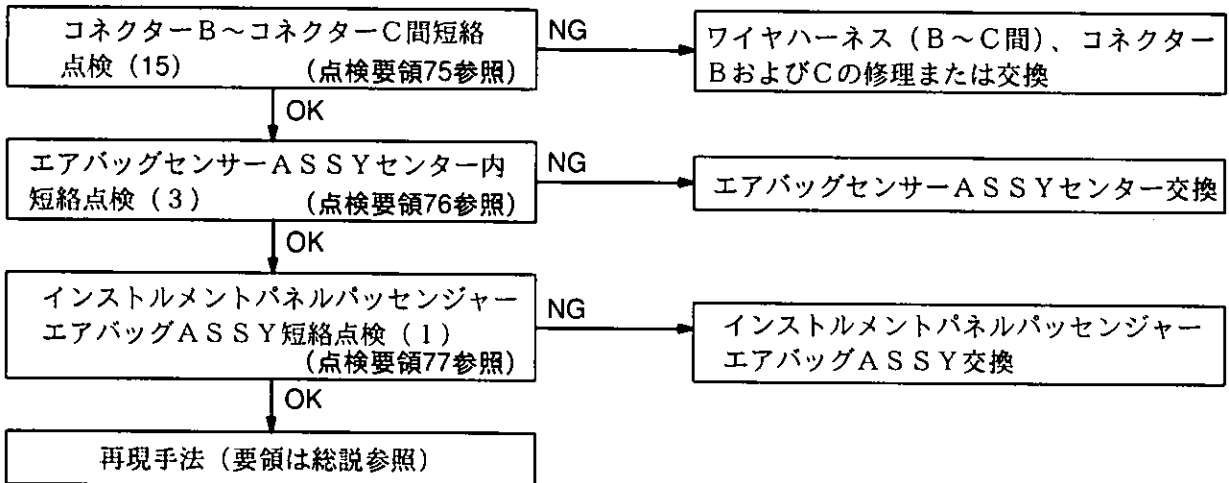
C54688

19. コード51 (B0107) 助手席側点火回路 (アース短絡)



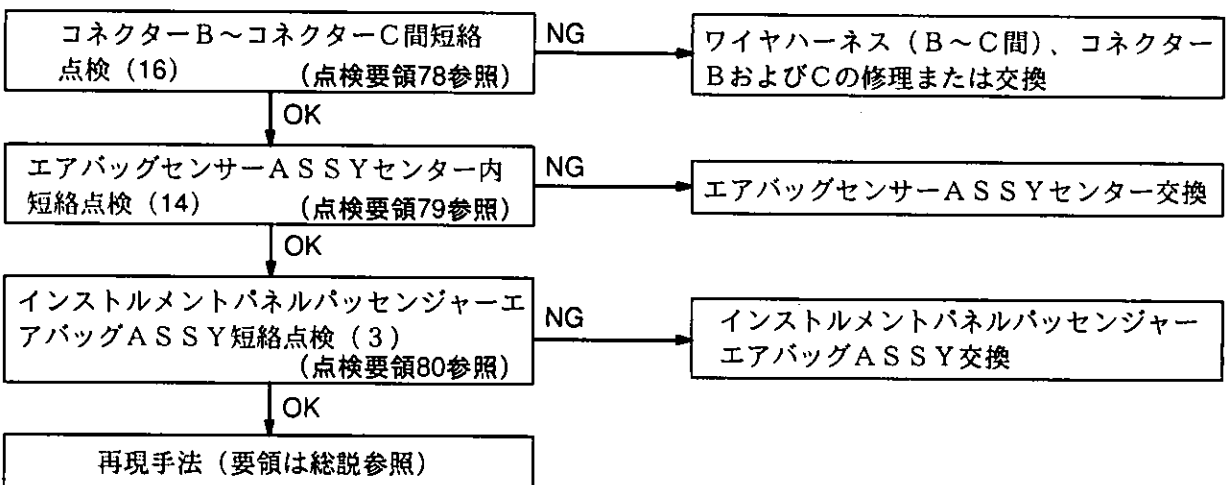
C54689

20. コード52 (B0108) 助手席側点火回路 (+Bと短絡)



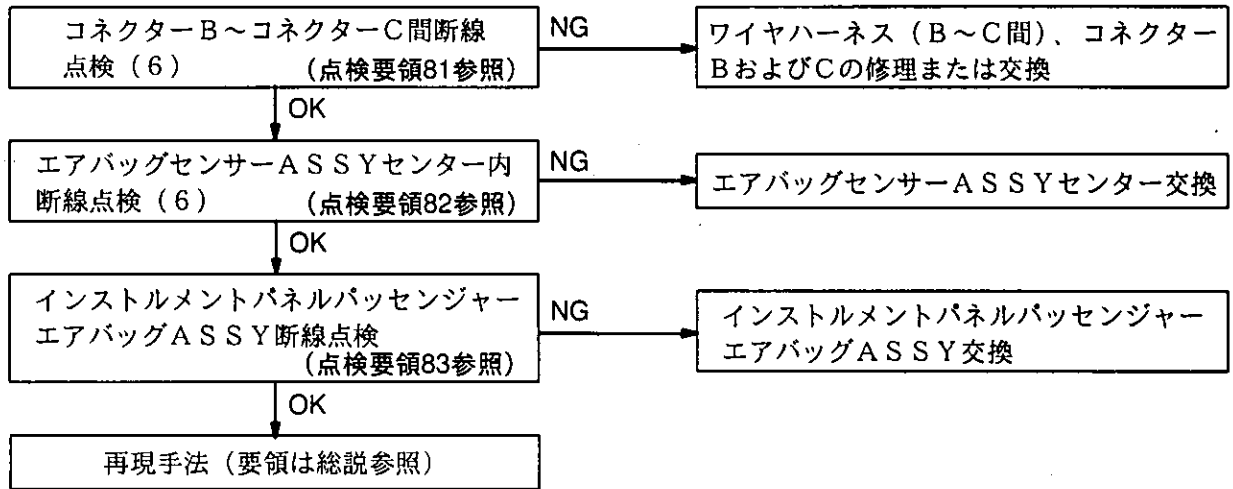
C54690

21. コード53 (B0105) 点火回路 (P+~P-端子間短絡)



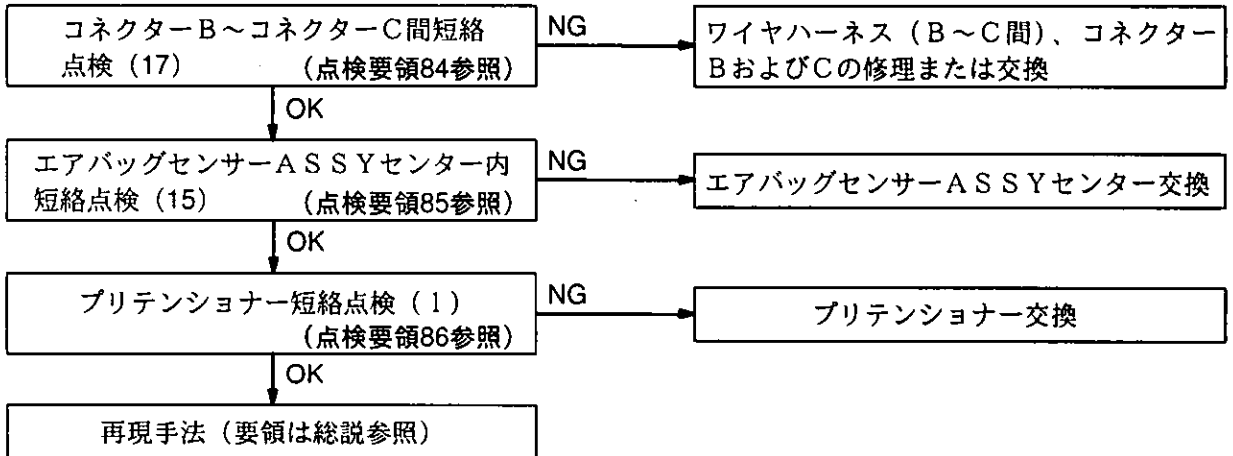
C54691

22. コード54 (B0106) 点火回路 (P+~P-端子間断線)



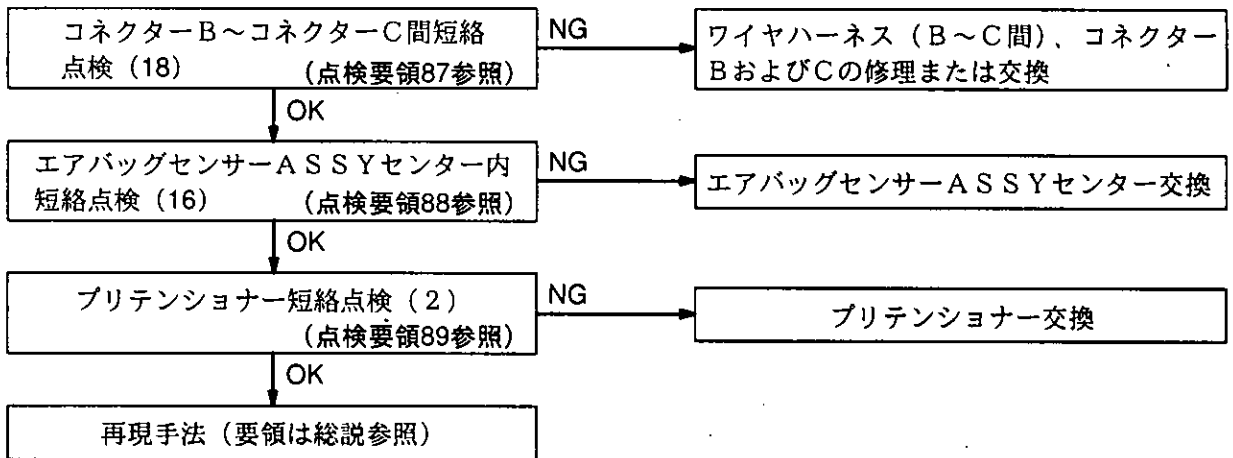
C54692

23. コード61, 71 (B0132, B0137) 点火回路 (アース短絡)



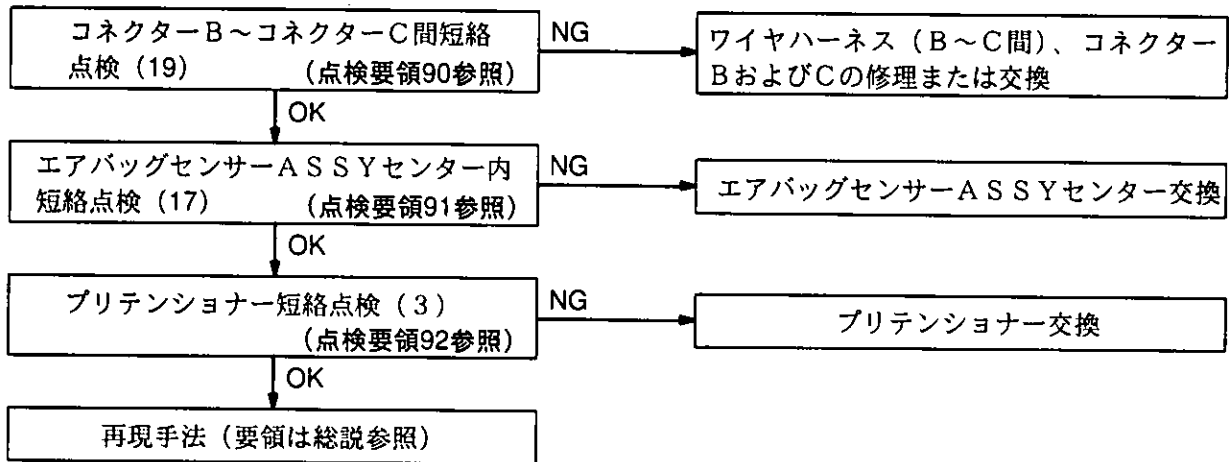
C54693

24. コード62, 72 (B0133, B0138) 点火回路 (+Bと短絡)



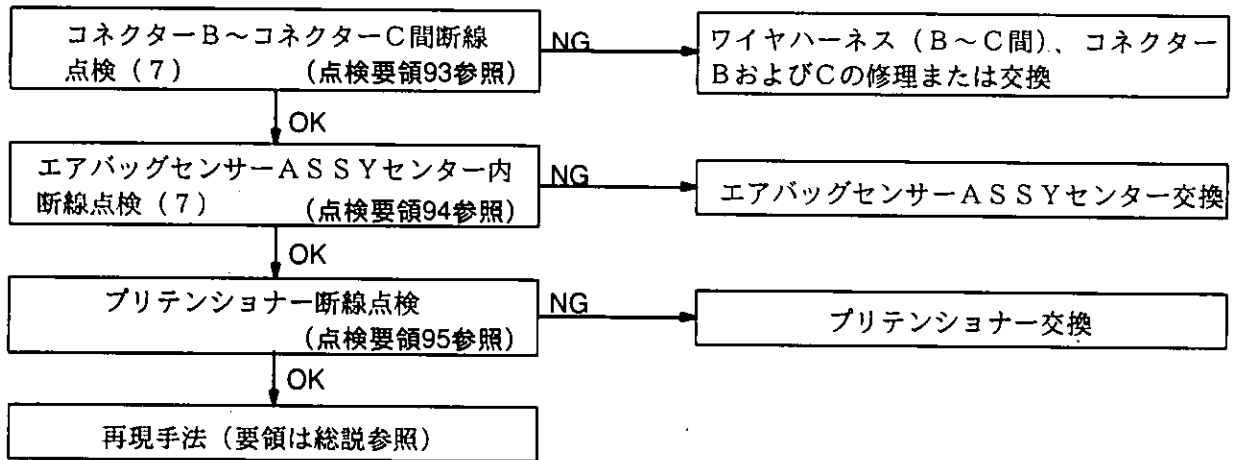
C54694

25. コード63, 73 (B0130, B0135) 点火回路 [PR+~PR- (PL+~PL-) 端子間短絡]



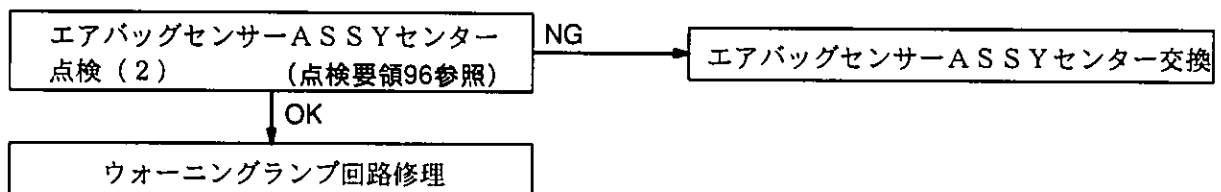
C54695

26. コード64, 74 (B0131, B0136) 点火回路 [PR+~PR- (PL+~PL-) 端子間断線]



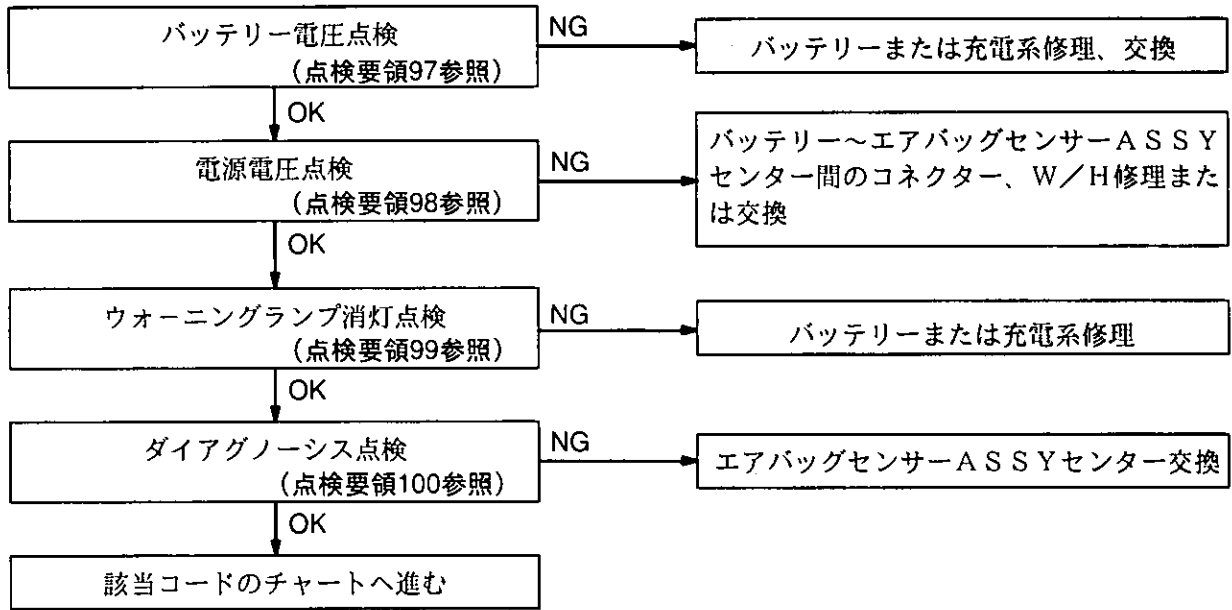
C54709

27. IGスイッチOFF時ウォーニングランプ常灯



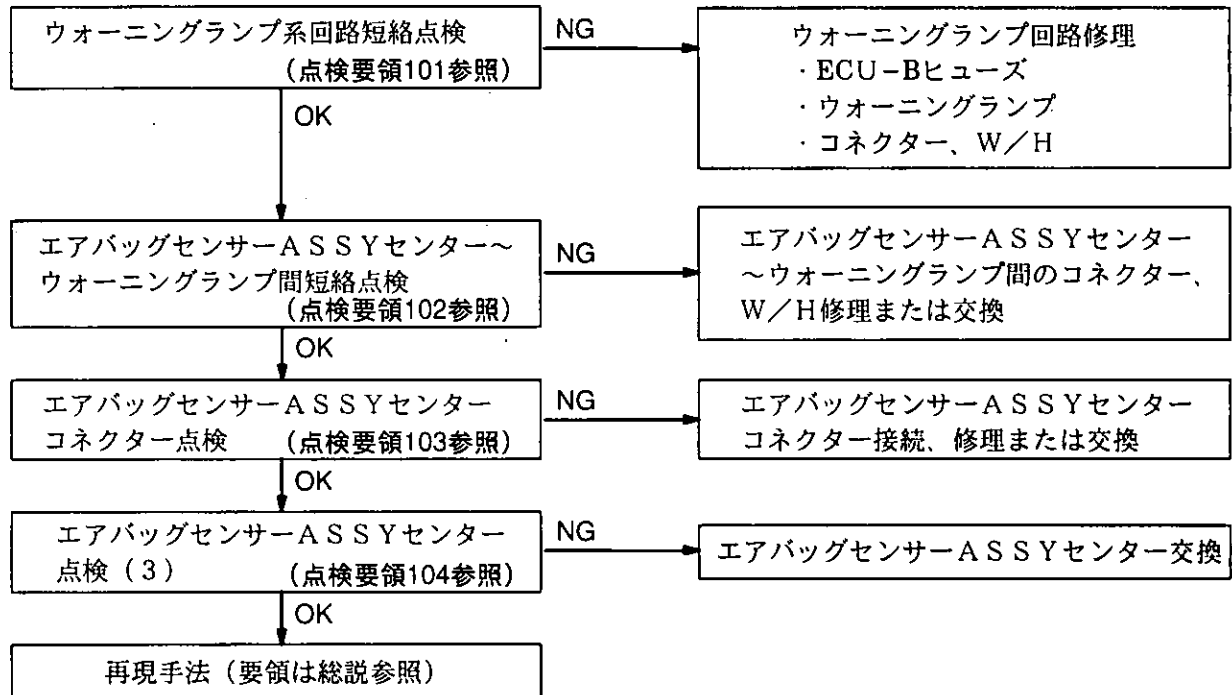
C54710

28. 電源電圧系



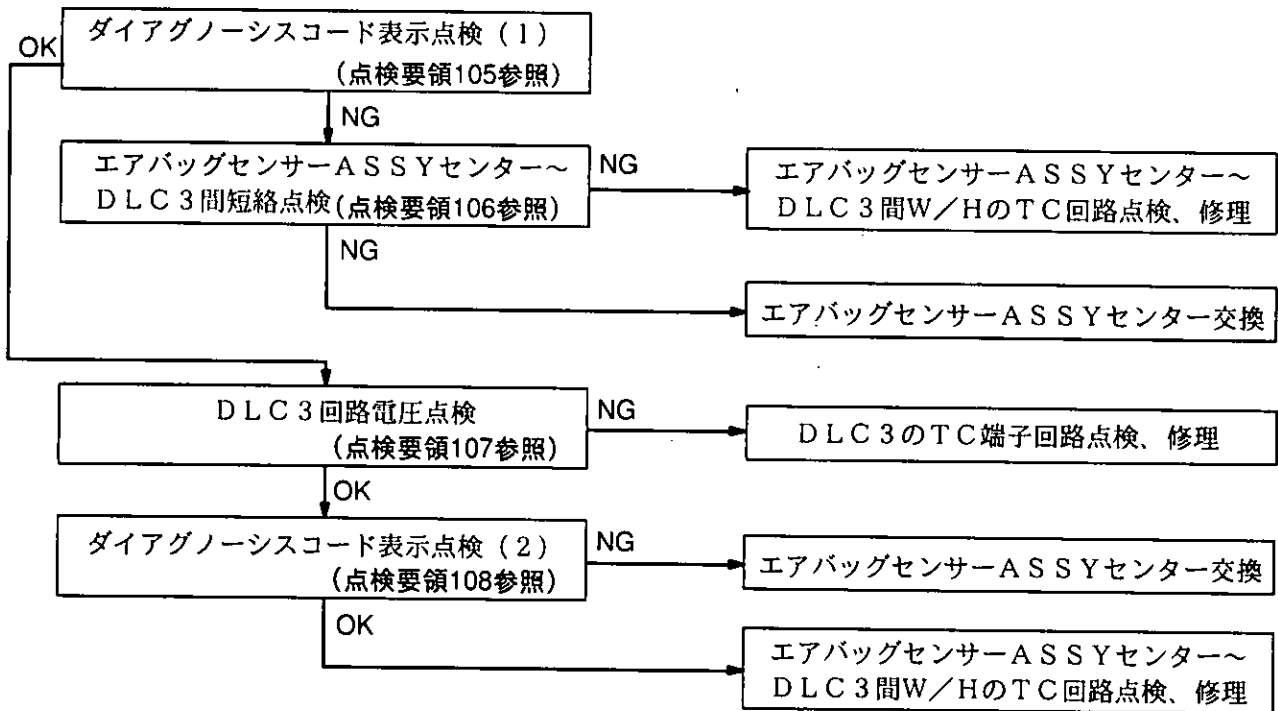
C54711

29. ウォーニングランプ不灯



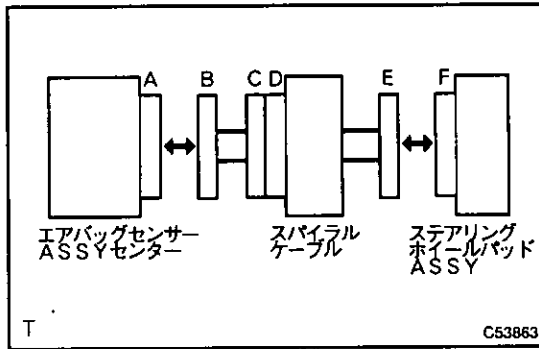
C54712

30. Tc端子回路



C54713

点検要領



1. コネクターB～コネクターE間短絡点検 (1)
- (a) コネクターAとB、EとFを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

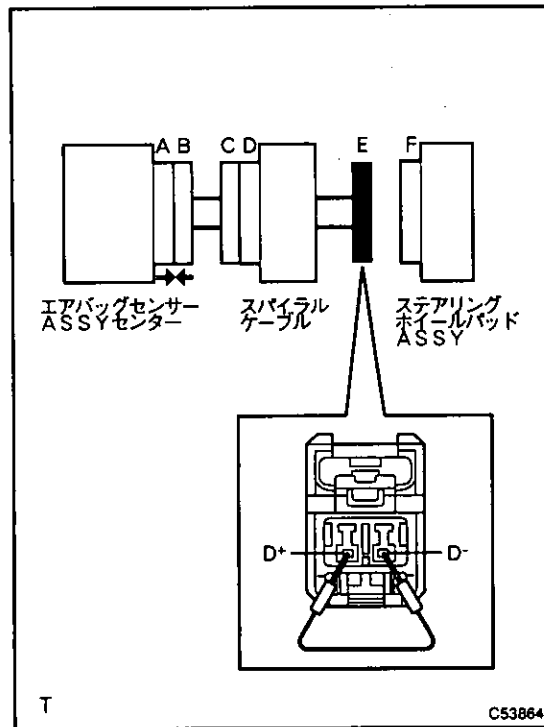
基準値

1 MΩ以上

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	接続
コネクターE、F	未接続



2. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (1)
- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子間を短絡する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシス消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09843-18040

基準

ダイアグノーシスコード11 (B0102) が出力されないこと

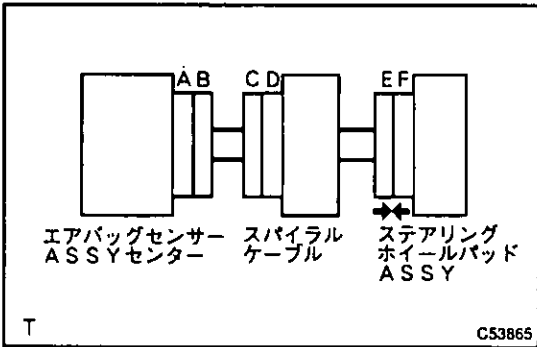
<注意>

このときダイアグノーシスコード11 (B0102) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続
コネクターE、F	未接続



3. エアバッグ短絡点検 (1)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクタEとFを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシス消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード11 (B0102) が出力されないこと

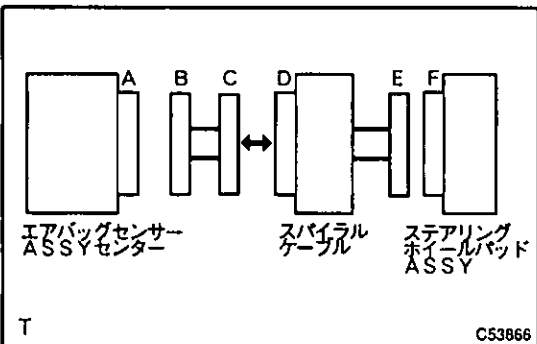
<注意>

このときダイアグノーシスコード11 (B0102) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	接続
コネクタ-C、D	接続
コネクタ-E、F	接続



4. コネクタB～コネクタC間短絡点検 (1)

- (a) コネクタCとDを切り離す
- (b) SSTを使用して、コネクタCのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	未接続
コネクタ-C、D	未接続
コネクタ-E、F	未接続

5. スパイラルケーブル間短絡点検 (1)

- (a) SSTを使用して、コネクタEのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

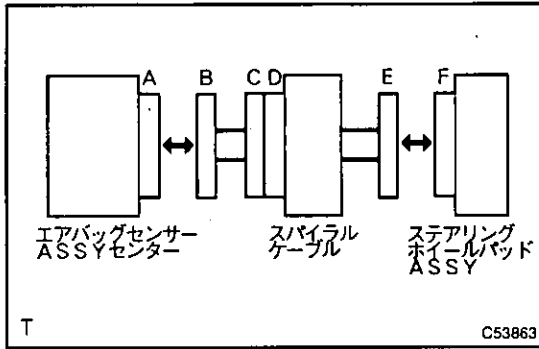
基準値

1 MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	未接続
コネクタ-C、D	未接続
コネクタ-E、F	未接続



6. コネクタ-B~コネクタ-E間短絡点検 (2)

- (a) コネクタ-AとB、EとFを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (c) SSTを使用して、コネクタ-EのD⁺、D⁻端子~ポデーアース間の電圧を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

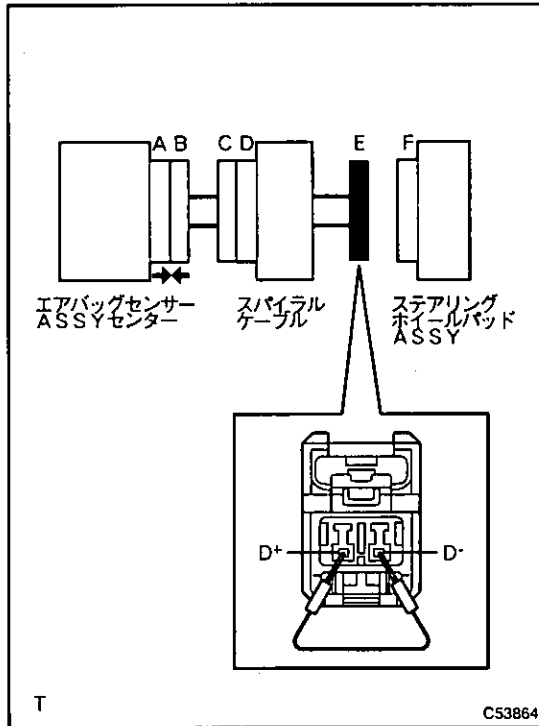
基準値

1V以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	未接続
コネクタ-C、D	接続
コネクタ-E、F	未接続



7. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (2)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクタ-AとBを接続する。
- (c) SSTを使用して、コネクタ-EのD⁺、D⁻端子間を短絡する。
- (d) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (e) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09843-18040

基準

ダイアグノーシスコード12 (B0103) が出力されないこと

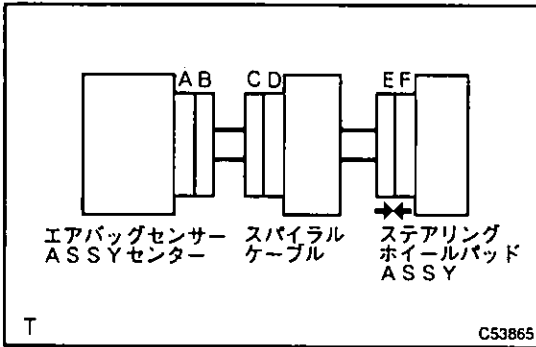
<注意>

このときダイアグノーシスコード12 (B0103) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	接続
コネクタ-C、D	接続
コネクタ-E、F	未接続



8. エアバッグ短絡点検 (2)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターEとFを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード12 (B0103) が出力されないこと

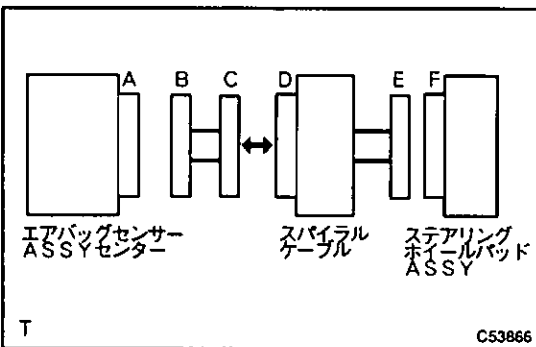
<注意>

このときダイアグノーシスコード12 (B0103) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続
コネクターE、F	接続



9. コネクターB～コネクターC間短絡点検 (2)

- (a) コネクターCとDを切り離す。
<注意>
このときイグニッションスイッチはACCまたはONの状態にしておく。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の電圧を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続
コネクターE、F	未接続

10. スパイラルケーブル間短絡点検 (2)

- (a) コネクターEのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の電圧を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

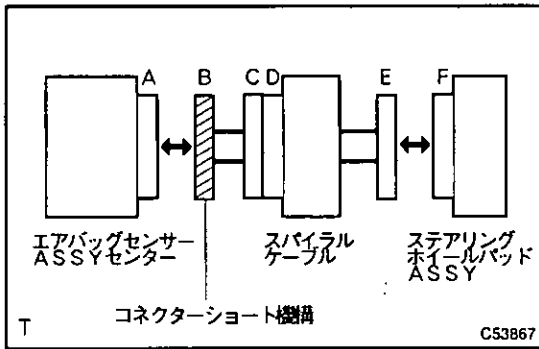
基準値

1V以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続
コネクターE、F	未接続



11. コネクターB～コネクターE間短絡点検 (3)

- (a) コネクターAとB、EとFを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子にテスター棒をあて、コネクターB～コネクターE間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上

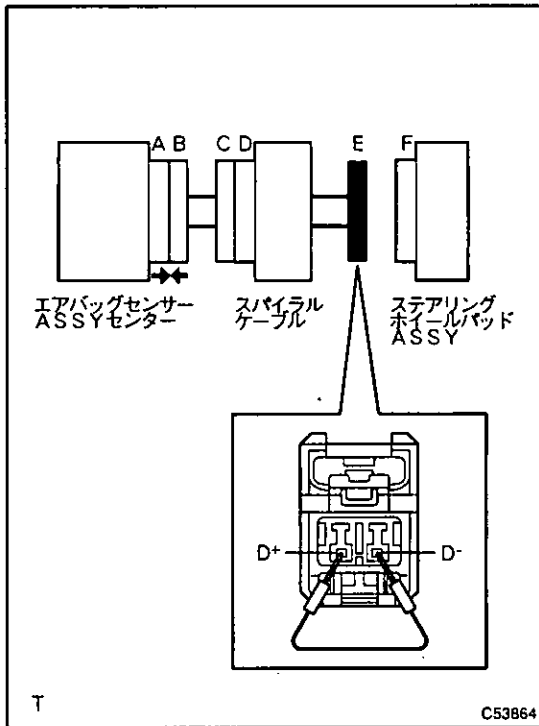
<注意>

このときコネクターBのショート機構を解除する。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	接続
コネクターE、F	未接続



12. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (3)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子間を短絡する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09843-18040

基準

ダイアグノーシスコード13 (B0100) が出力されないこと

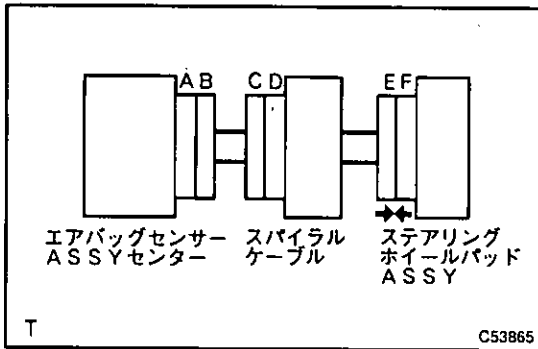
<注意>

このときダイアグノーシスコード13 (B0100) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続
コネクターE、F	未接続



13. エアバッグ短絡点検 (3)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターEとFを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード13 (B0100) が出力されないこと

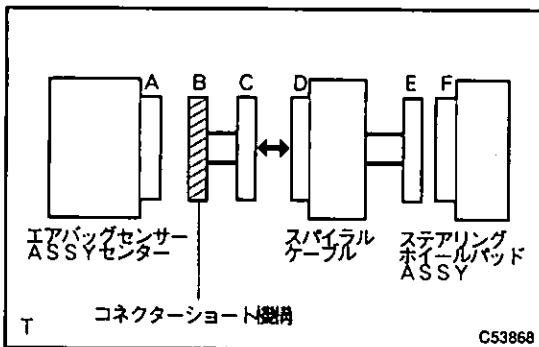
<注意>

このときダイアグノーシスコード13 (B0100) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続
コネクターE、F	接続



14. コネクターB～コネクターC間短絡点検 (3)

- (a) コネクターCとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのD⁺、D⁻端子にテスター棒をあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上

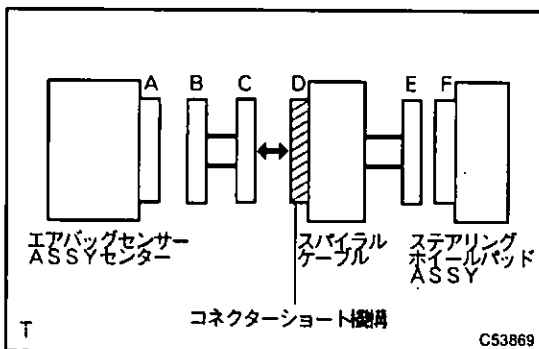
<注意>

このときコネクターBのショート機構を解除する。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続
コネクターE、F	未接続



15. スパイラルケーブル間短絡点検 (3)

- (a) SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子にテスター棒をあて、スパイラルケーブル間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上

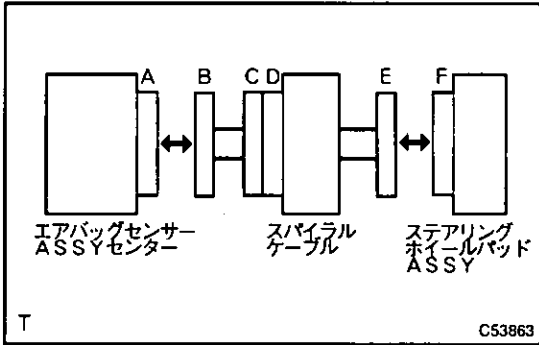
<注意>

このときコネクターDのショート機構を解除する。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続
コネクターE、F	未接続



16. コネクタB～コネクタE間断線点検 (1)
- (a) コネクタAとB、EとFを切り離す。
 - (b) SSTを使用して、コネクタEのD⁺、D⁻端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタE間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

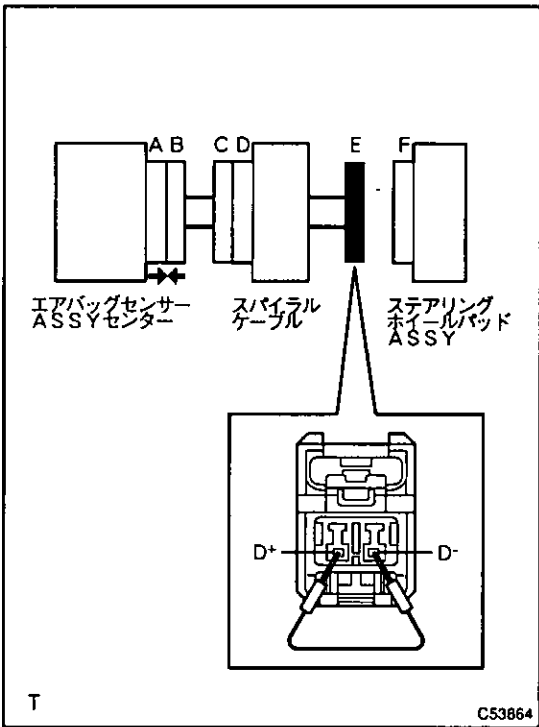
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	未接続
コネクタC、D	接続
コネクタE、F	未接続



17. エアバッグセンサーASSYセンター内断線点検 (1)
- (a) コネクタAとBを接続する。
 - (b) SSTを使用して、コネクタEのD⁺、D⁻端子間を短絡する
 - (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
 - (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09843-18040

基準

ダイアグノーシスコード14 (B0101) が出力されないこと

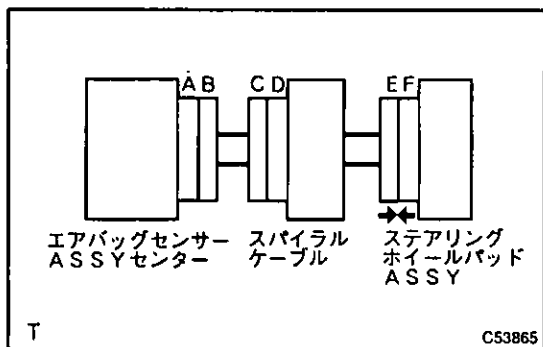
<注意>

このときダイアグノーシスコード14 (B0101) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	接続
コネクタC、D	接続
コネクタE、F	未接続



18. エアバッグ断線点検 (1)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクタEとFを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード14 (B0101) が出力されないこと

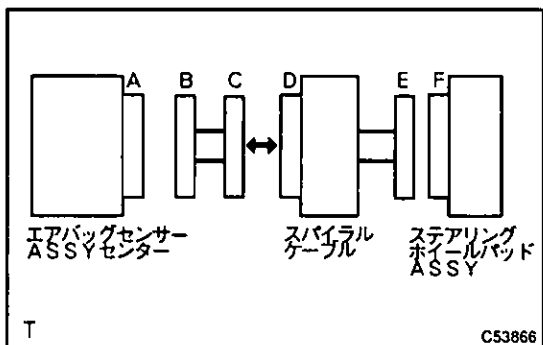
<注意>

このときダイアグノーシスコード14 (B0101) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	接続
コネクタC、D	接続
コネクタE、F	接続



19. コネクタB～コネクタC間断線点検 (1)

- (a) コネクタCとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタCのD⁺、D⁻端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	未接続
コネクタC、D	未接続
コネクタE、F	未接続

20. スパイラルケーブル間断線点検 (1)

- (a) SSTを使用して、コネクタEのD⁺、D⁻端子にテスター棒をあて、スパイラルケーブル間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

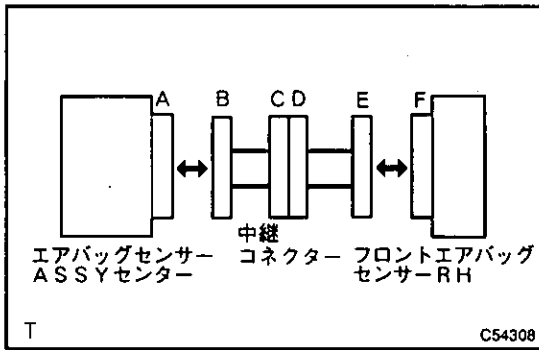
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	未接続
コネクタC、D	未接続
コネクタE、F	未接続



21. コネクタB～コネクタE間断線点検 (2)

- (a) コネクタAとB, コネクタEとFを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタBのSR⁺, SR⁻端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタE間の抵抗値を確認する。

SST 09082-0030, 09083-00150

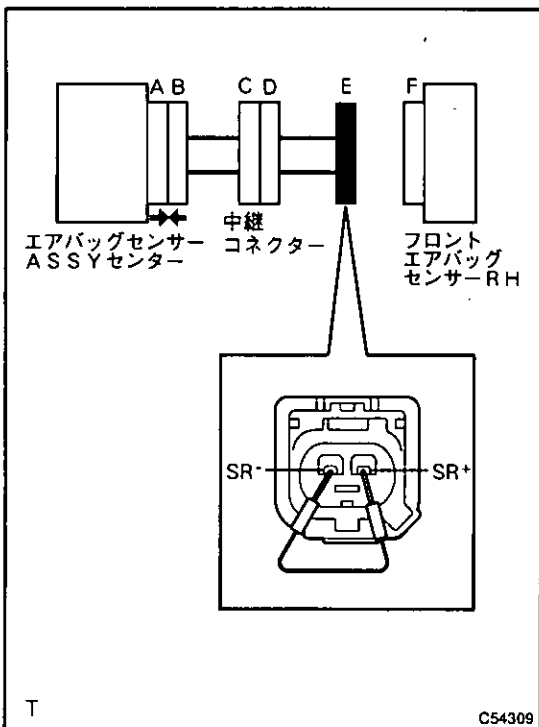
基準値

1MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	未接続



22. エアバッグセンサーASSYセンター内断線点検 (2)

- (a) コネクタAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクタEのSR⁺, SR⁻端子間を短絡させる。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード15 (B1156) が出力されないこと

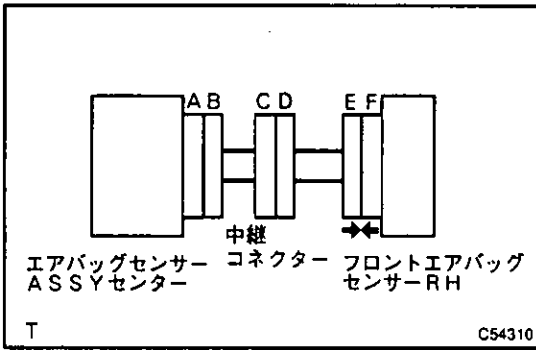
<注意>

このときダイアグノーシスコード15 (B1156) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	未接続



23. フロントエアバッグセンサー断線点検 (1)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクタEとFを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード15 (B1156) が出力されないこと

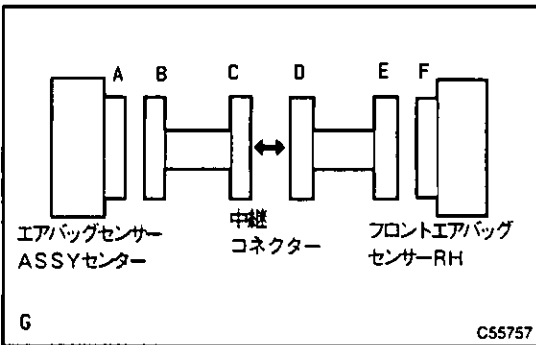
<注意>

このときダイアグノーシスコード15 (B1156) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	接続



24. コネクタB～コネクタC間断線点検 (2)

- (a) コネクタCとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタBのSR⁺, SR⁻端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

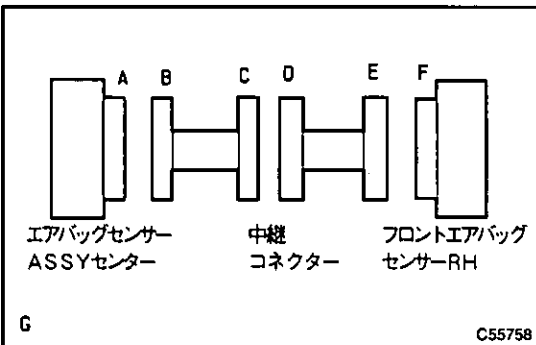
基準値

1MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	未接続
コネクタE, F	未接続



25. コネクタD～コネクタE間断線点検 (1)

- (a) SSTを使用して、コネクタEのSR⁺, SR⁻端子にテスター棒をあて、コネクタD～コネクタE間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

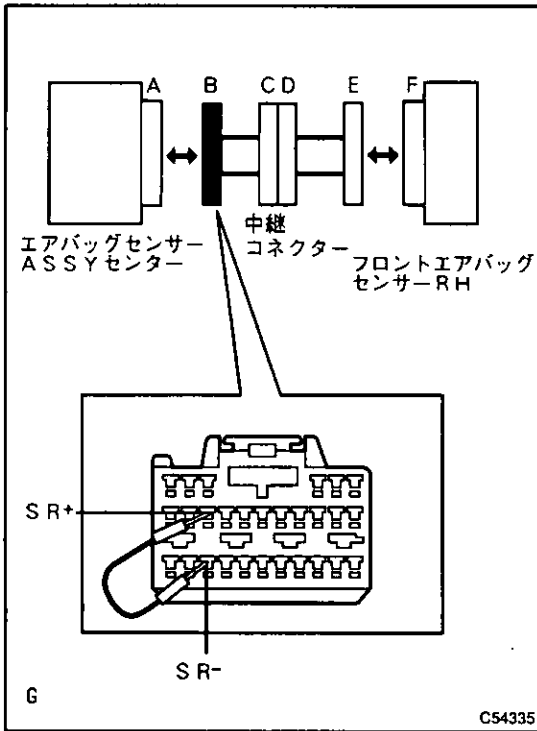
基準値

1MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	未接続
コネクタE, F	未接続



26. コネクターB～コネクターE間短絡点検 (4)

- (a) コネクターAとB, コネクターEとFを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターBのSR+, SR-端子間を短絡させる。

SST 09843-18040

- (c) SSTを使用して、コネクターEのSR+, SR-端子にテスター棒をあて、コネクターB～コネクターE間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

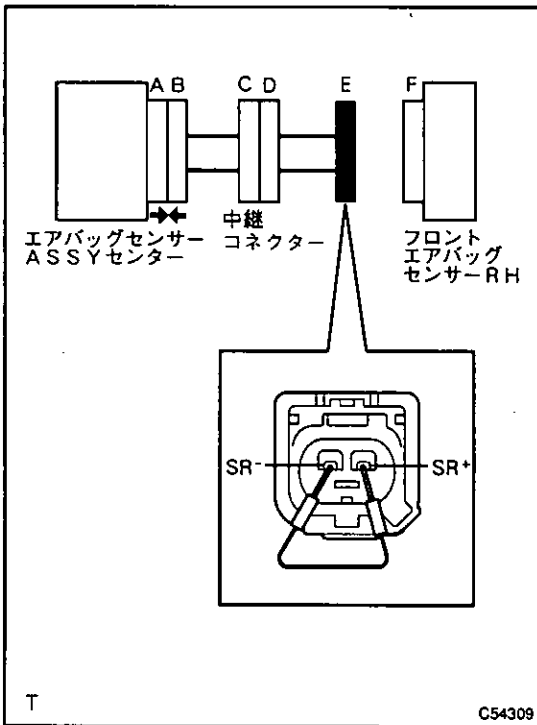
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA, B	未接続
コネクターC, D	接続
コネクターE, F	未接続



27. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (4)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターEのSR+, SR-端子間を短絡させる。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード15 (B1157) が出力されないこと

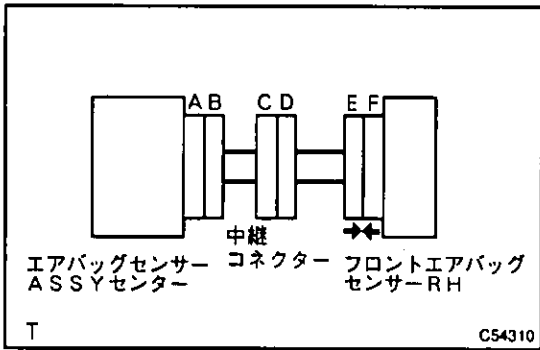
<注意>

このときダイアグノーシスコード15 (B1157) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA, B	接続
コネクターC, D	接続
コネクターE, F	未接続



28. フロントエアバッグセンサー短絡点検 (1)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクタEとFを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード15 (B1157) が出力されないこと

<注意>

このときダイアグノーシスコード15 (B1157) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	接続

29. コネクタB~コネクタC間短絡点検 (4)

- (a) コネクタCとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタBのSR+, SR-端子間を短絡させる。

SST 09843-18040

- (c) SSTを使用して、コネクタCのSR+, SR-端子にテスター棒をあて、コネクタB~コネクタC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

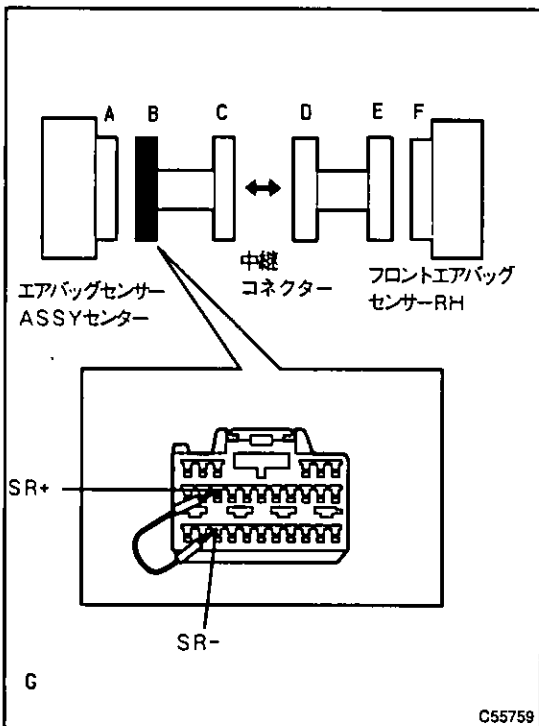
基準値

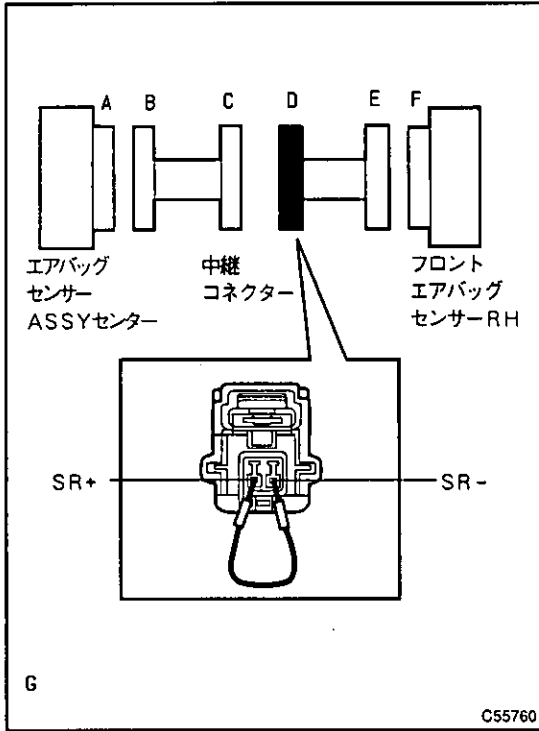
1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	未接続
コネクタE, F	未接続





30. コネクタD～コネクタE間短絡点検 (1)

(a) SSTを使用して、コネクタDのSR⁺, SR⁻端子間を短絡させる。

SST 09843-18040

(b) SSTを使用して、コネクタEのSR⁺, SR⁻端子にテスター棒をあて、コネクタD～コネクタE間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

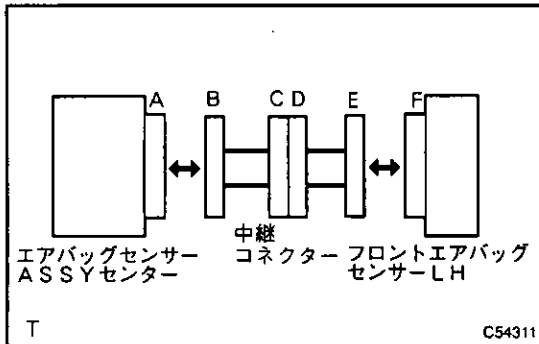
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	未接続
コネクタE, F	未接続



31. コネクタB～コネクタE間断線点検 (3)

(a) コネクタAとB, コネクタEとFを切り離す。

(b) SSTを使用して、コネクタBのSL⁺, SL⁻端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタE間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

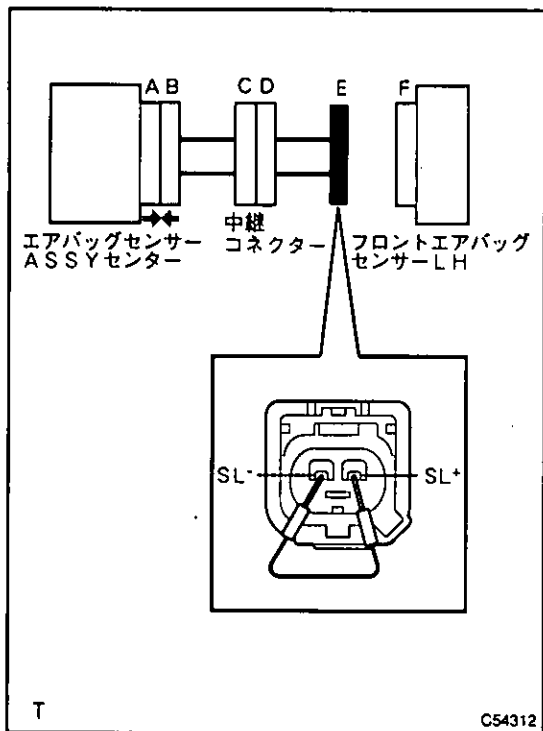
基準値

1MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	未接続



32. エアバッグセンサーASSYセンター内断線点検 (3)

- (a) コネクタAとBを接続する。
- (b) コネクタEのSR⁺, SR⁻端子間を短絡させる。
SST 09843-18040
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード16 (B1158) が出力されないこと

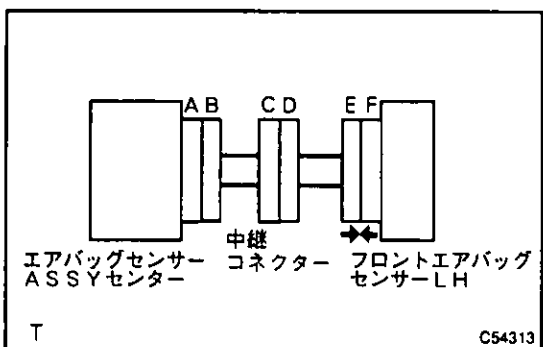
<注意>

このときダイアグノーシスコード16 (B1158) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	未接続



33. フロントエアバッグセンサー断線点検 (2)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクタEとFを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード16 (B1158) が出力されないこと

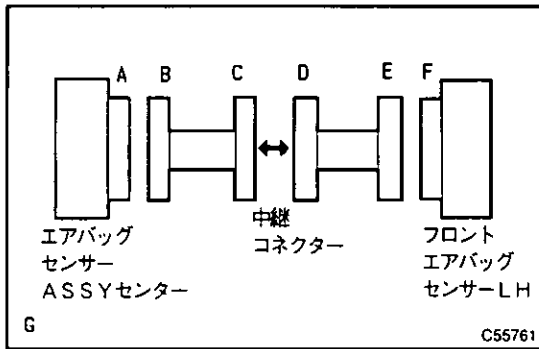
<注意>

このときダイアグノーシスコード16 (B1158) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	接続



34. コネクタB～コネクタC間断線点検 (3)

- (a) コネクタCとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタBのSL⁺, SL⁻端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

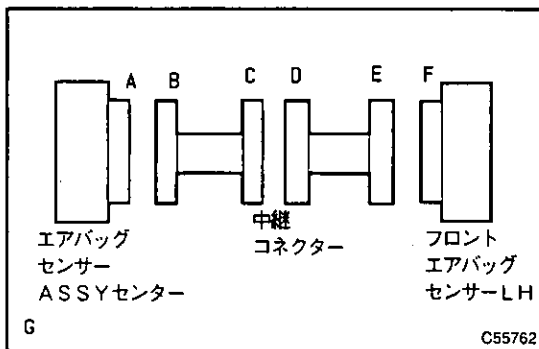
基準値

1MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	未接続
コネクタE, F	未接続



35. コネクタD～コネクタE間断線点検 (2)

- (a) SSTを使用して、コネクタEのSL⁺, SL⁻端子にテスター棒をあて、コネクタD～コネクタE間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

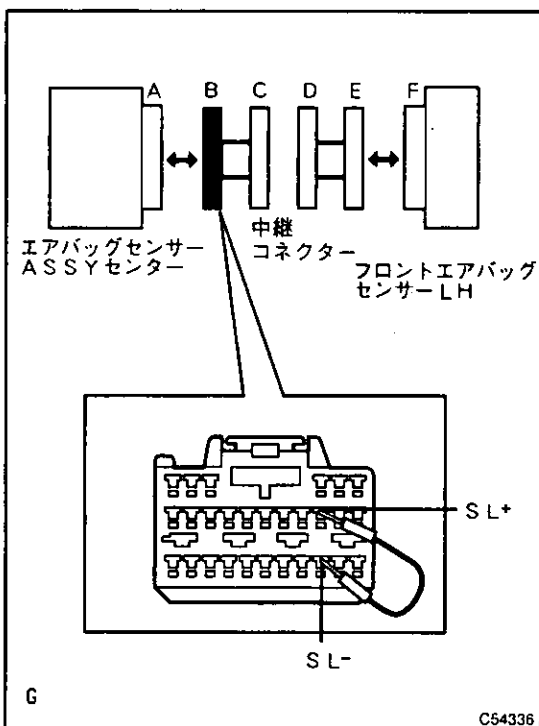
基準値

1MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	未接続
コネクタE, F	未接続



36. コネクタB～コネクタE間短絡点検 (5)

- (a) コネクタAとB, コネクタEとFを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタBのSL⁺, SL⁻端子間を短絡させる。
- (c) SSTを使用して、コネクタEのSL⁺, SL⁻端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタE間の抵抗値を確認する。

SST 09843-18040

SST 09082-00030, 09083-00150

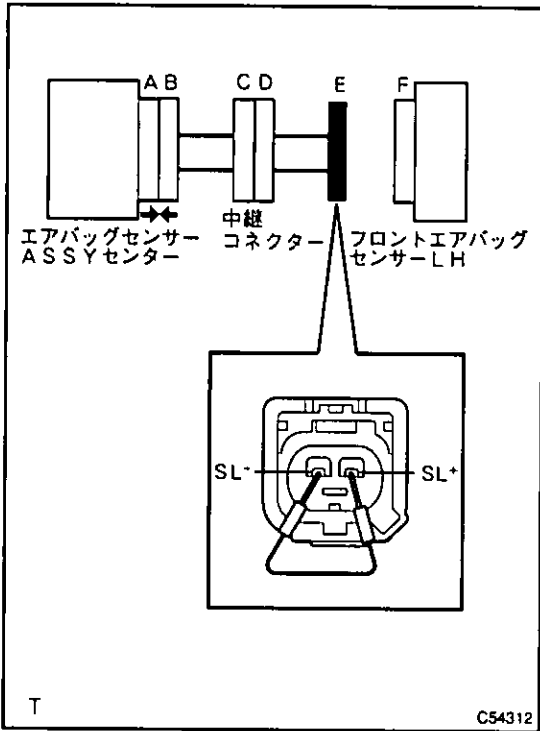
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	未接続



37. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (5)

- (a) コネクタAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクタEのSL⁺、SL⁻端子間を短絡させる。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード16 (B1159) が出力されないこと

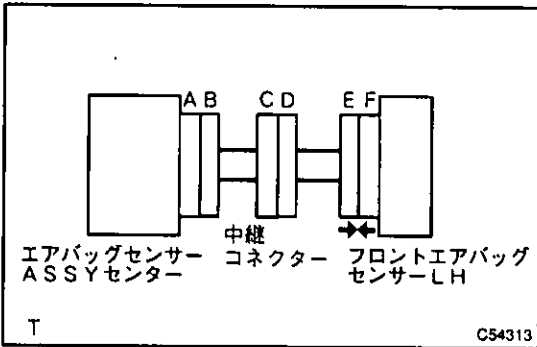
<注意>

このときダイアグノーシスコード16 (B1159) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	未接続



38. フロントエアバッグセンサー短絡点検 (2)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクタEとFを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード16 (B1159) が出力されないこと

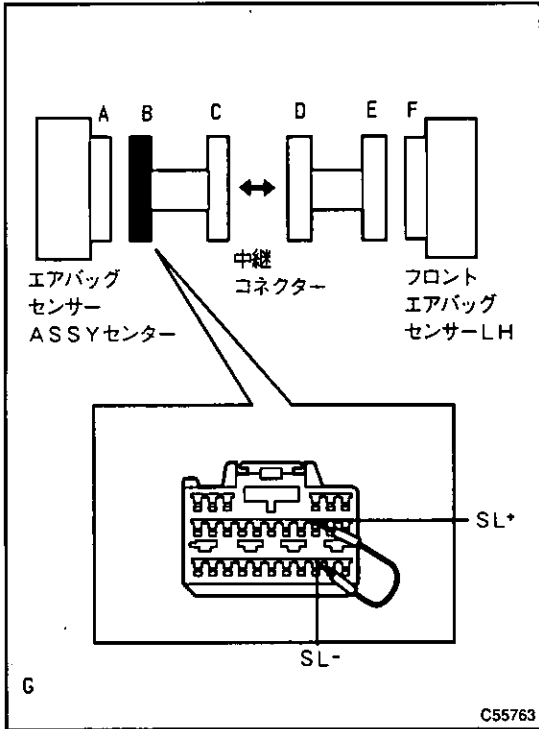
<注意>

このときダイアグノーシスコード16 (B1159) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	接続
コネクタC, D	接続
コネクタE, F	接続



39. コネクタB～コネクタC間短絡点検 (5)

- (a) コネクタCとDを切り離す。
 (b) SSTを使用して、コネクタBのSL⁺、SL⁻端子間を短絡させる。

SST 09843-18040

- (c) SSTを使用して、コネクタCのSL⁺、SL⁻端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

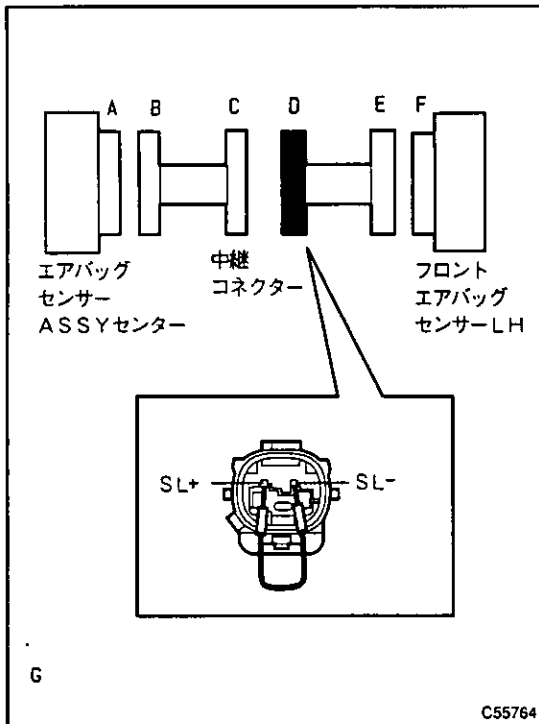
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	未接続
コネクタE, F	未接続



40. コネクタD～コネクタE間短絡点検 (2)

- (a) SSTを使用して、コネクタDのSL⁺、SL⁻端子間を短絡させる。

SST 09843-18040

- (b) SSTを使用して、コネクタEのSL⁺、SL⁻端子にテスター棒をあて、コネクタD～コネクタE間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA, B	未接続
コネクタC, D	未接続
コネクタE, F	未接続

41. エアバッグセンサーASSYセンター点検 (1)

- (a) イグニッションスイッチ15秒間OFF (LOCK) にする。
 (b) イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
 (c) 上記作業を4回繰り返す。
 (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード31 (B1100) が出力されないこと

<注意>

このときダイアグノーシスコード31 (B1100) 以外が出力されるが無視してよい。

42. サイドエアバッグセンサーASSY点検 (1)
- (a) イグニッションスイッチ15秒間OFF (LOCK) にする。
 - (b) イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
 - (c) 上記作業を4回繰り返す。
 - (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード32 (33) [B1140 (B1141)] が出力されないこと

<注意>

このときダイアグノーシスコード32 (33) [B1140 (B1141)] 以外が出力されるが無視してよい。

43. コネクターBおよびC点検

- (a) コネクターBおよびCのかん合状態を確認する。

44. ワイヤハーネス抵抗点検

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (c) SSTを使用して、コネクターBのSSR+ (SSL+)、ESR (ESL) 端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (d) SSTを使用して、コネクターCのSSR+ (SSL+)、ESR (ESL) 端子にテスター棒をあて、コネクターB~コネクターC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

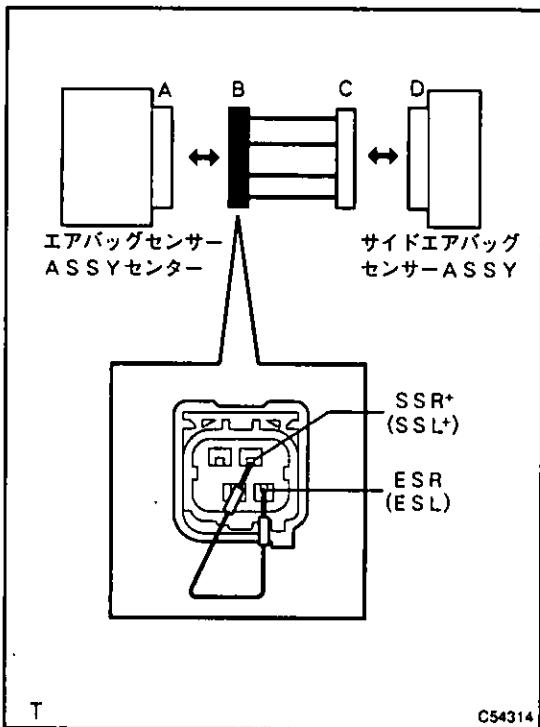
基準値

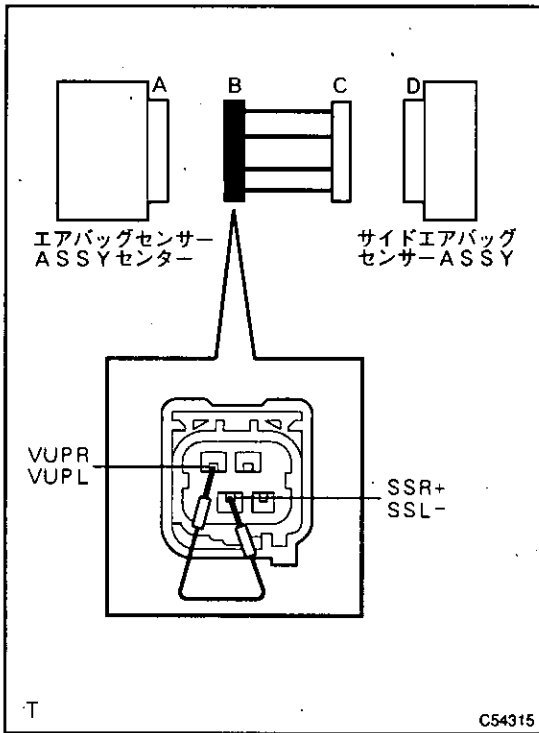
1 Ω以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続





(e) SSTを使用して、コネクタBのVUPR (VUPL)、FSR (FSL) 端子間を短絡する。

SST 09843-18040

(f) SSTを使用して、コネクタCのVUPR (VUPL)、FSR (FSL) 端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

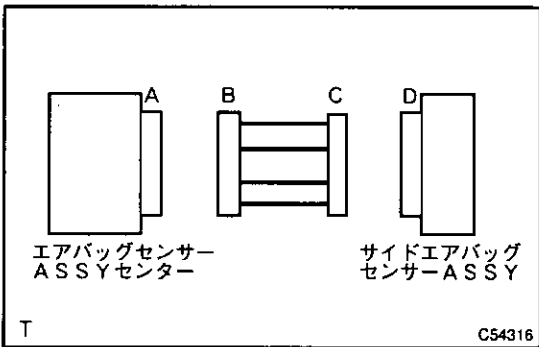
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	未接続
コネクタC、D	未接続



45. コネクタB～コネクタC間短絡点検 (6)

(a) SSTを使用して、コネクタCのVUPR、(VUPL) FSR (FSL)、SSR⁺ (SSL⁺) 端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	未接続
コネクタC、D	未接続

46. コネクタB～コネクタC間短絡点検 (7)

<注意>

イグニッションスイッチはACCまたはONの状態にしておく。

(a) SSTを使用して、コネクタBのVUPR (VUPL)、FSR (FSL)、SSR⁺ (SSL⁺) およびESR (ESL) 端子～ボデーアース間の電圧を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	未接続
コネクタC、D	未接続

47. サイドエアバッグセンサーASSY点検 (2)
- IGスイッチをOFFにし、サイドエアバッグセンサーASSYを左右入れ替える
 - IGスイッチをACCまたはONにして、20秒間待機する。
 - SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコードが左右入れ替って出力されること

<参考>

RHならコード33 (B1141)、LHならコード32 (B1140) がそれぞれ出力される。

<注意>

このときダイアグノーシスコード32 (33) [B1140 (B1141)] 以外が出力されるが無視してよい。

48. コネクターB~コネクターC間短絡点検 (8)
- コネクターAとB、CとDを切り離す。
 - SSTを使用して、コネクターCのFR⁺、FR⁻端子~ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

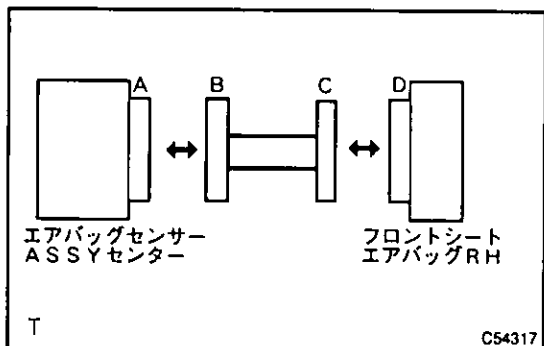
基準値

1MΩ以上

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



49. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (6)
- コネクターAとBを接続する。
 - SSTを使用して、コネクターCのFR⁺、FR⁻端子間を短絡する。
 - バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
 - SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する。

基準

ダイアグノーシスコード41 (B0112) が出力されないこと

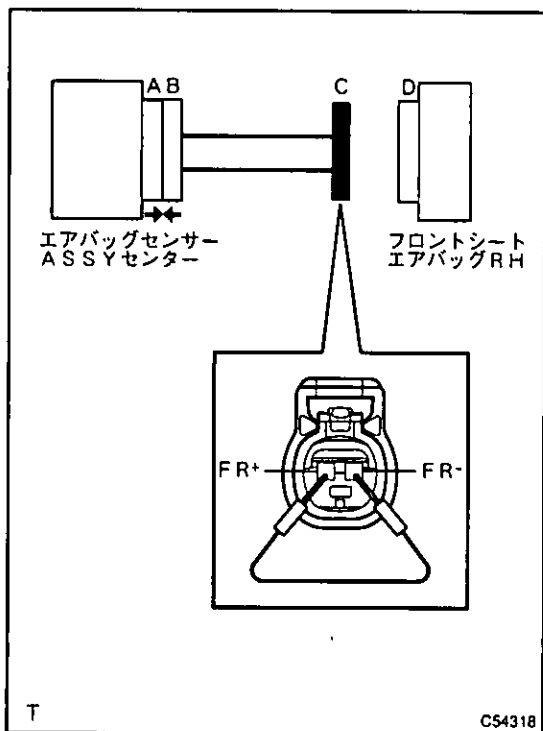
<注意>

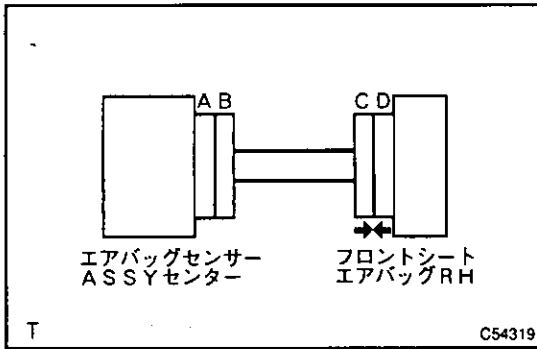
このときダイアグノーシスコード41 (B0112) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続





50. フロントシートエアバッグ短絡点検 (1)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード41 (B0112) が出力されないこと

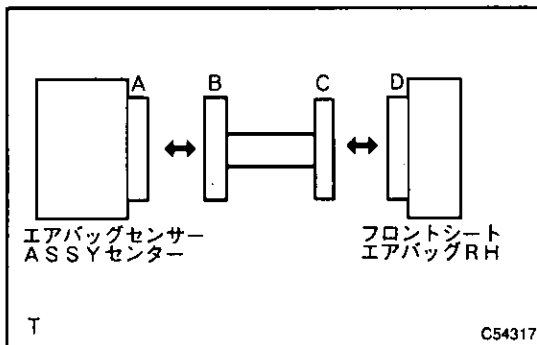
<注意>

このときダイアグノーシスコード41 (B0112) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



51. コネクターB～コネクターC間短絡点検 (9)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (c) SSTを使用して、コネクターBのFR⁺、FR⁻端子～ボデーアース間の電圧を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

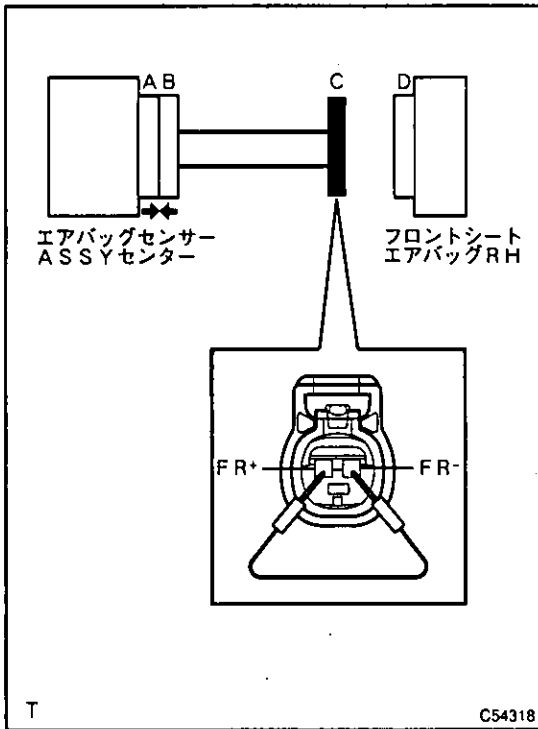
基準値

1V以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



52. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (7)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのFR⁺、FR⁻端子間を短絡する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09843-18040

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード42 (B0113) が出力されないこと

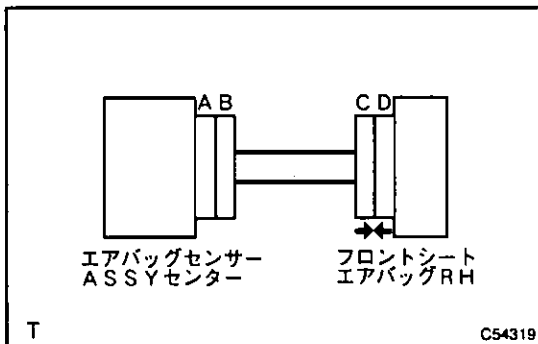
<注意>

このときダイアグノーシスコード42 (B0113) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続



53. フロントシートエアバッグ短絡点検 (2)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード42 (B0113) が出力されないこと

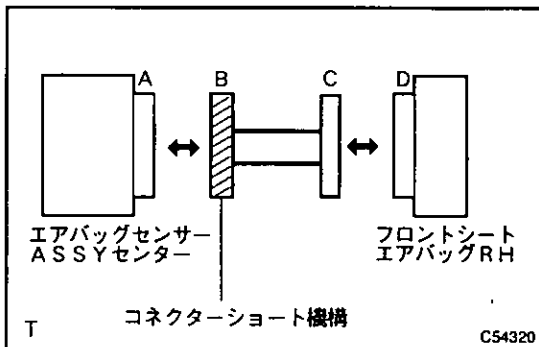
<注意>

このときダイアグノーシスコード42 (B0113) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



54. コネクターB～コネクターC間短絡点検 (10)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのFR⁺、FR⁻端子にテスター棒をあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上

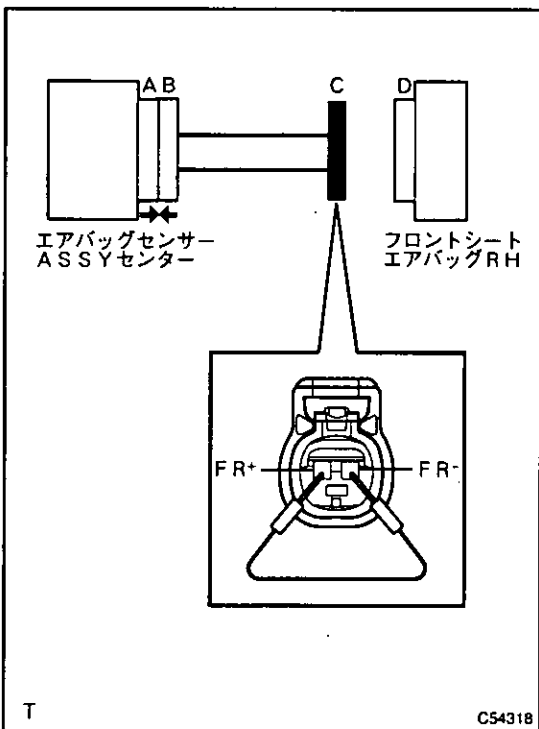
<注意>

このときコネクターBのショート機構を解除する。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



55. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (8)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのFR⁺、FR⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード43 (B0110) が出力されないこと

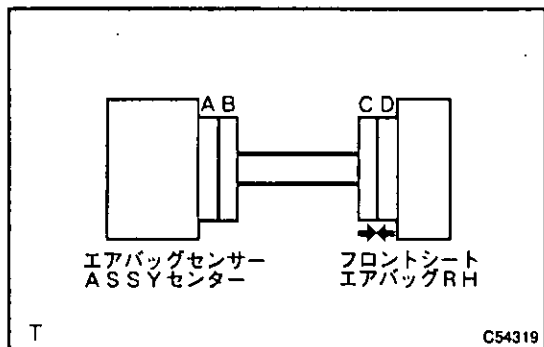
<注意>

このときダイアグノーシスコード43 (B0110) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続



56. フロントシートエアバッグ短絡点検 (3)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード43 (B0110) が出力されないこと

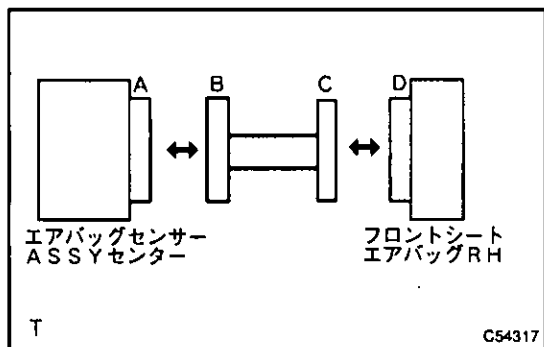
<注意>

このときダイアグノーシスコード43 (B0110) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



57. コネクターB～コネクターC間断線点検 (4)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのFR⁺、FR⁻端子にテスター棒をあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

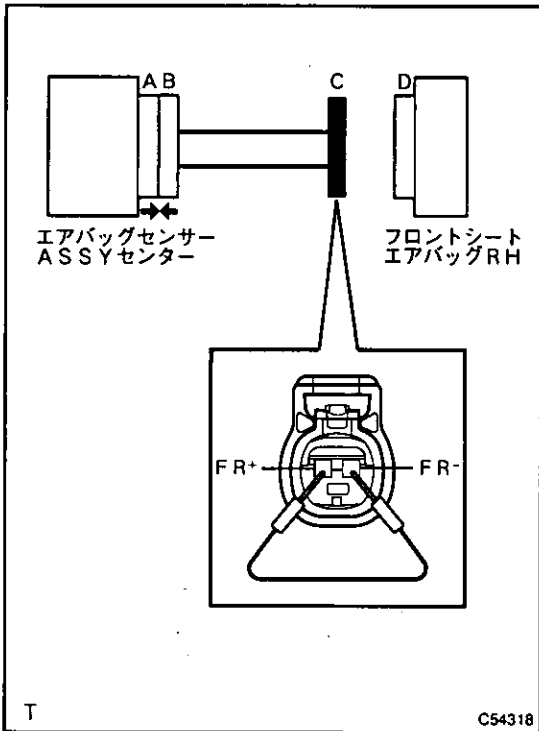
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



58. エアバッグセンサーASSYセンター内断線点検 (4)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのFR⁺、FR⁻端子間を短絡する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09843-18040

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード44 (B0111) が出力されないこと

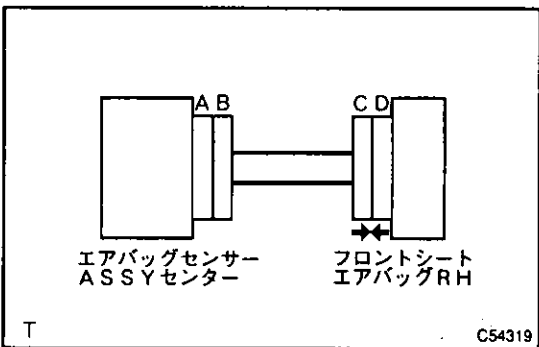
<注意>

このときダイアグノーシスコード44 (B0111) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続



59. フロントシートエアバッグ断線点検 (1)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード44 (B0111) が出力されないこと

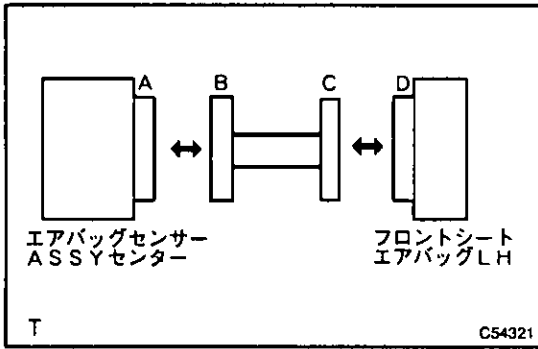
<注意>

このときダイアグノーシスコード44 (B0111) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



60. コネクタ-B~コネクタ-C間短絡点検 (11)

- (a) コネクタ-AとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタ-CのFL⁺、FL⁻端子~ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 090830-00150

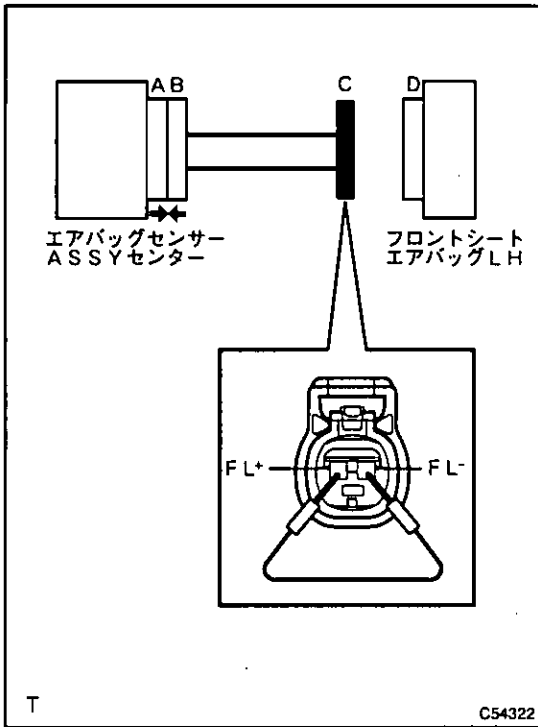
基準値

1 MΩ以上

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	未接続
コネクタ-C、D	未接続



61. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (9)

- (a) コネクタ-AとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクタ-CのFL⁺、FL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード45 (B0117) が出力されないこと

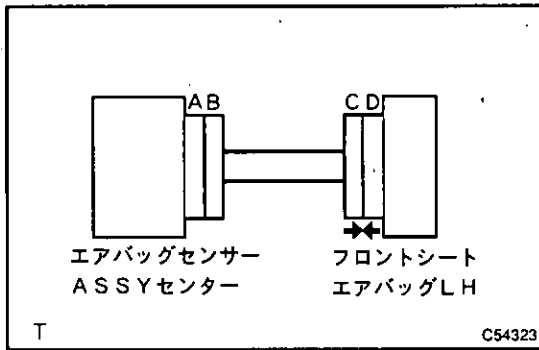
<注意>

このときダイアグノーシスコード45 (B0117) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	接続
コネクタ-C、D	未接続



62. フロントシートエアバッグ短絡点検 (4)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード45 (B0117) が出力されないこと

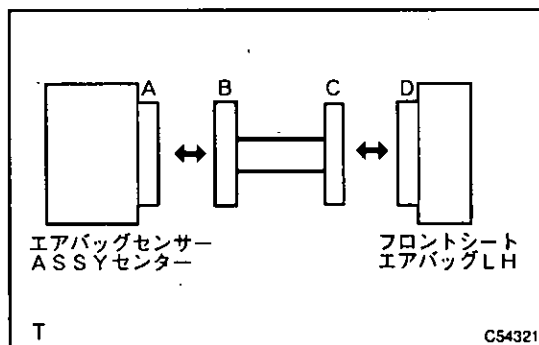
<注意>

このときダイアグノーシスコード45 (B0117) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



63. コネクターB～コネクターC間短絡点検 (12)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (c) SSTを使用して、コネクターBのFL⁺、FL⁻端子～ボデーアース間の電圧を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

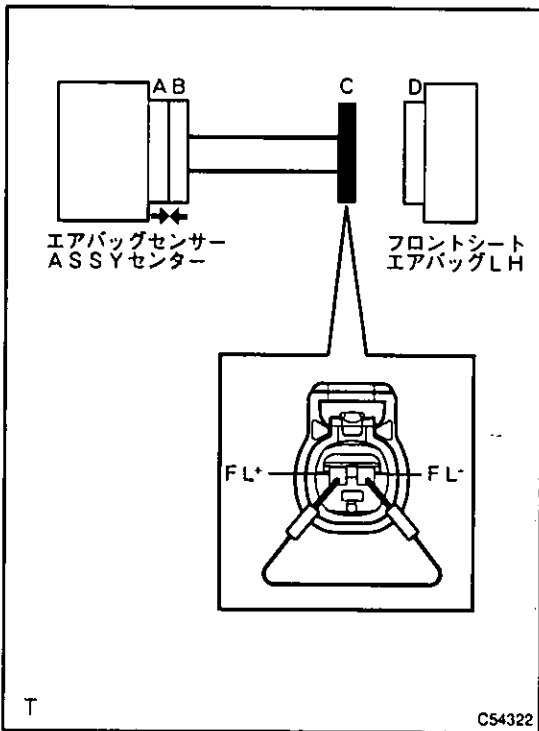
基準値

1V以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



64. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (10)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのFL⁺、FL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード46 (B0118) が出力されないこと

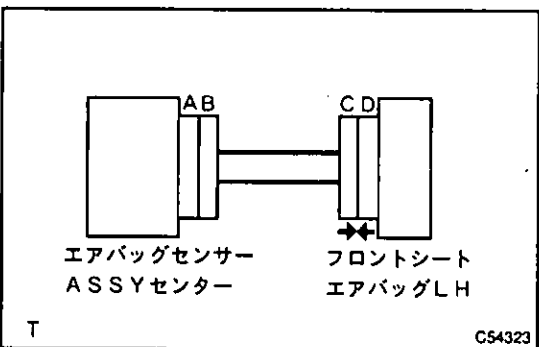
<注意>

このときダイアグノーシスコード46 (B0118) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続



65. フロントシートエアバッグ短絡点検 (5)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード46 (B0118) が出力されないこと

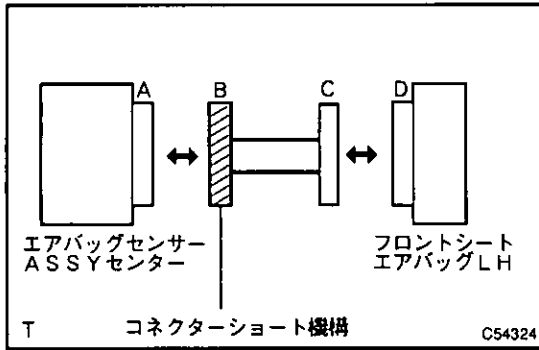
<注意>

このときダイアグノーシスコード46 (B0118) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



66. コネクタ-B~コネクタ-C間短絡点検 (13)

- (a) コネクタ-AとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタ-CのFL⁺、FL⁻端子にテスター棒をあて、コネクタ-B~コネクタ-C間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上

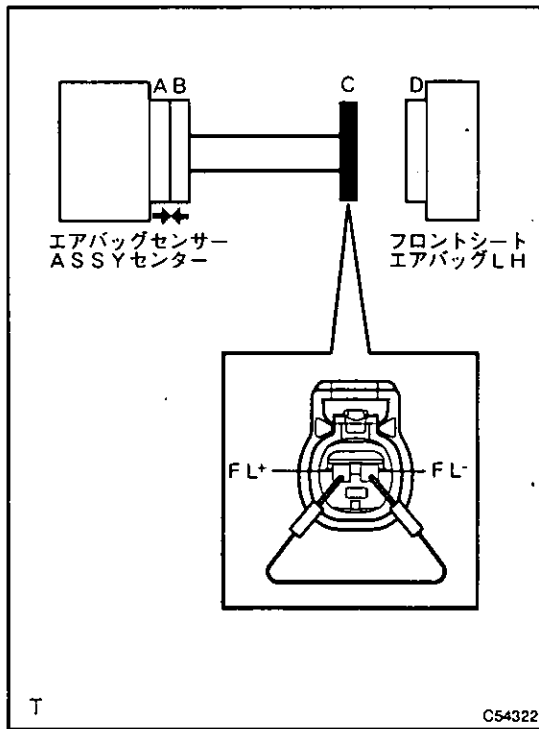
<注意>

このときコネクタ-Bのショート機構を解除する。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	未接続
コネクタ-C、D	未接続



67. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (11)

- (a) コネクタ-AとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクタ-CのFL⁺、FL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード47 (B0115) が出力されないこと

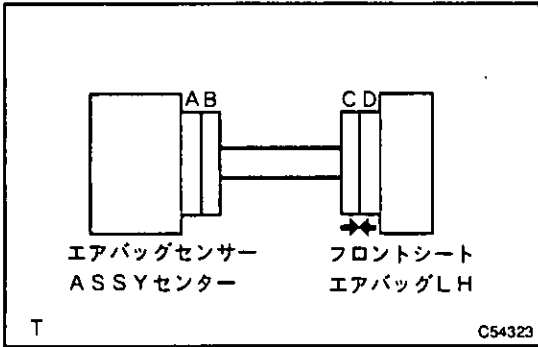
<注意>

このときダイアグノーシスコード47 (B0115) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	接続
コネクタ-C、D	未接続



68. フロントシートエアバッグ短絡点検 (6)
- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
 - コネクタCとDを接続する。
 - バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
 - SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード47 (B0115) が出力されないこと

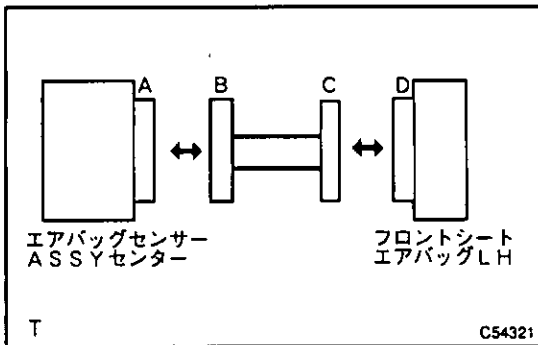
<注意>

このときダイアグノーシスコード47 (B0115) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	接続
コネクタC、D	接続



69. コネクタB～コネクタC間断線点検 (5)
- コネクタAとB、CとDを切り離す。
 - SSTを使用して、コネクタCのFL⁺、FL⁻端子にテスター棒をあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

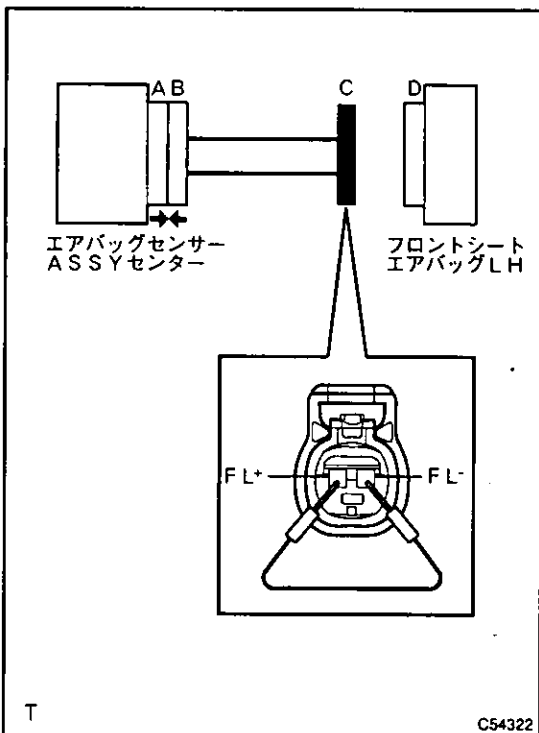
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタA、B	未接続
コネクタC、D	未接続



70. エアバッグセンサーASSYセンター内断線点検 (5)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのFL⁺、FL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991060701

基準

ダイアグノーシスコード48 (B0116) が出力されないこと

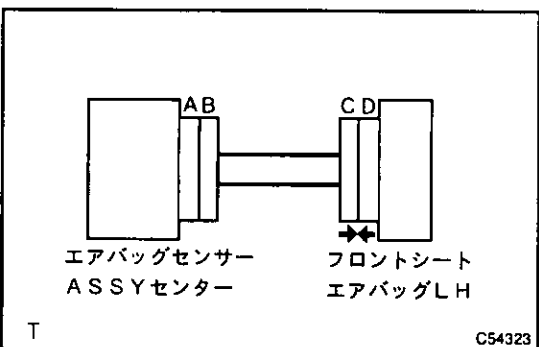
<注意>

このときダイアグノーシスコード48 (B0116) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続



71. フロントシートエアバッグ断線点検 (2)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後、ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード48 (B0116) が出力されないこと

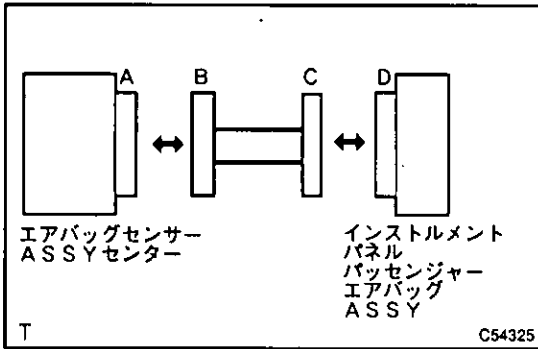
<注意>

このときダイアグノーシスコード48 (B0116) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



72. コネクターB～コネクターC間短絡点検 (14)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのP⁺、P⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

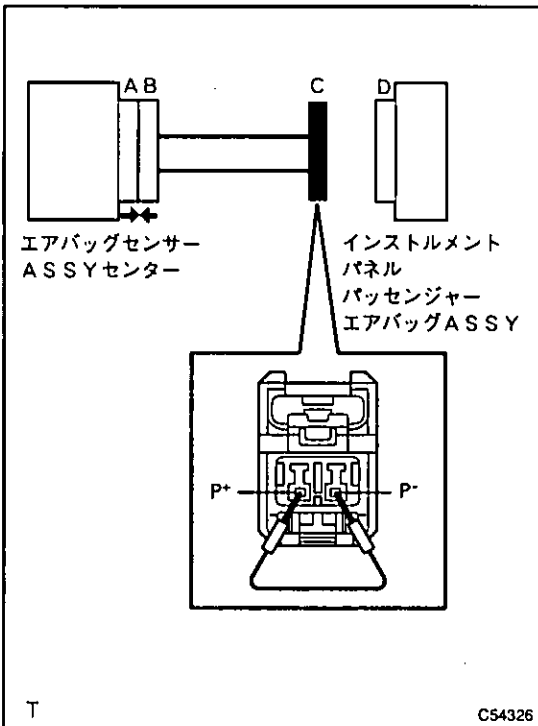
基準値

1 MΩ以上

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



73. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (12)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのP⁺、P⁻端子間を短絡する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシス消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09843-18040

基準

ダイアグノーシスコード51 (B0107) が出力されないこと

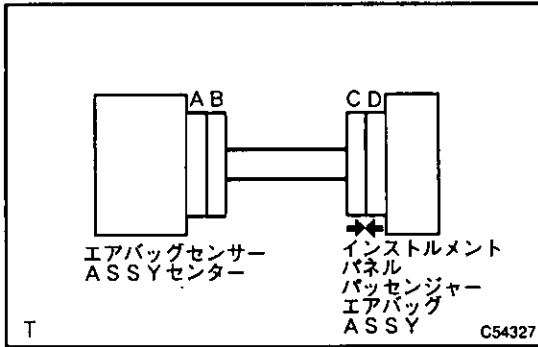
<注意>

このときダイアグノーシスコード51 (B0107) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続



74. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY短絡点検 (2)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシス消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード51 (B0107) が出力されないこと

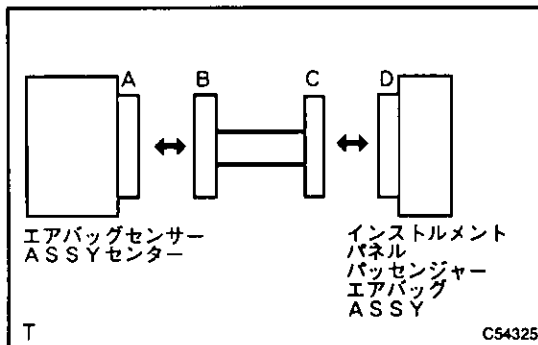
<注意>

このときダイアグノーシスコード51 (B0107) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



75. コネクターB～コネクターC間短絡点検 (15)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (c) SSTを使用して、コネクターBのP⁺、P⁻端子～ボデーアース間の電圧を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

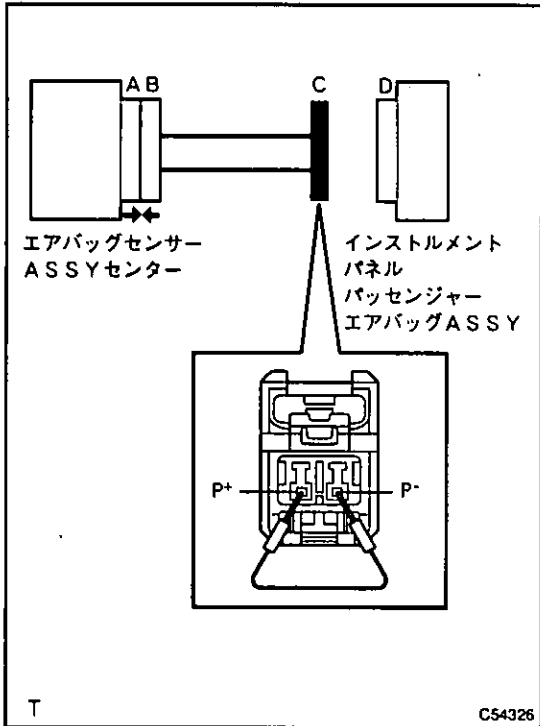
基準値

1V以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



76. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (13)
- コネクターAとBを接続する。
 - SSTを使用して、コネクターCのP⁺、P⁻端子を短絡する。
SST 09843-18040
 - バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
 - SSTを使用して、ダイアグノーシス消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード52 (B0108) が出力されないこと

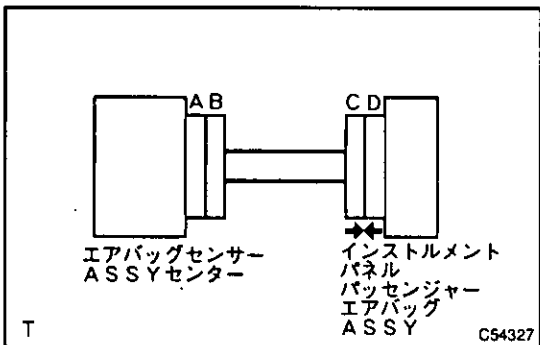
<注意>

このときダイアグノーシスコード52 (B0108) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	接続



77. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY短絡点検 (1)

- バッテリーマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクターCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシス消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

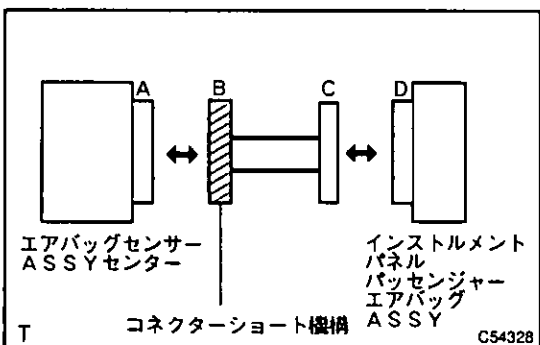
基準

ダイアグノーシスコード52 (B0108) が出力されないこと

<注意>

このときダイアグノーシスコード52 (B0108) 以外が出力されるが無視してよい。

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



78. コネクターB～コネクターC間短絡点検 (16)

- コネクターAとB、CとDを切り離す。
- SSTを使用して、コネクターのP⁺、P⁻端子にテスター棒をあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上

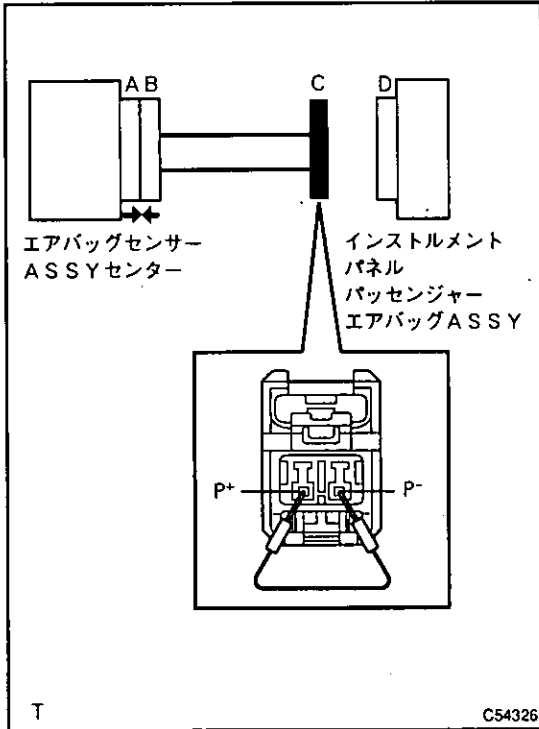
<注意>

このときコネクターBのショート機構を解除する。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクタA、B	未接続
コネクタC、D	未接続



79. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (14)

- (a) コネクタAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクタCのP⁺、P⁻端子間を短絡する。
SST 09843-18040
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード53 (B0105) が出力されないこと

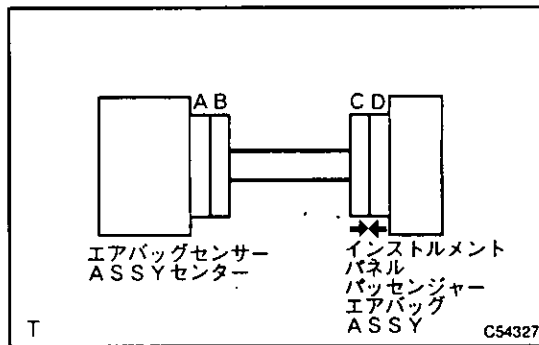
<注意>

このときダイアグノーシスコード53 (B0105) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクタA、B	接続
コネクタC、D	未接続



80. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY短絡点検 (3)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクタCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード53 (B0105) が出力されないこと

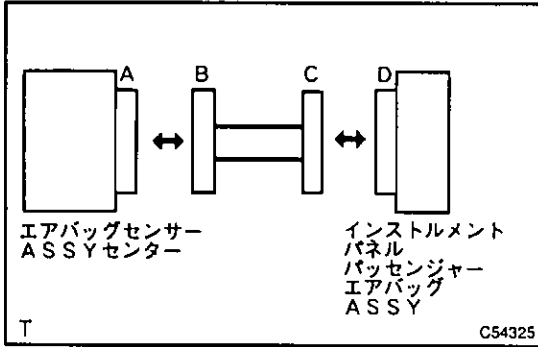
<注意>

このときダイアグノーシスコード53 (B0105) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクタA、B	接続
コネクタC、D	接続



81. コネクターB～コネクターC間断線点検 (6)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのP⁺、P⁻端子にテスター棒をあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

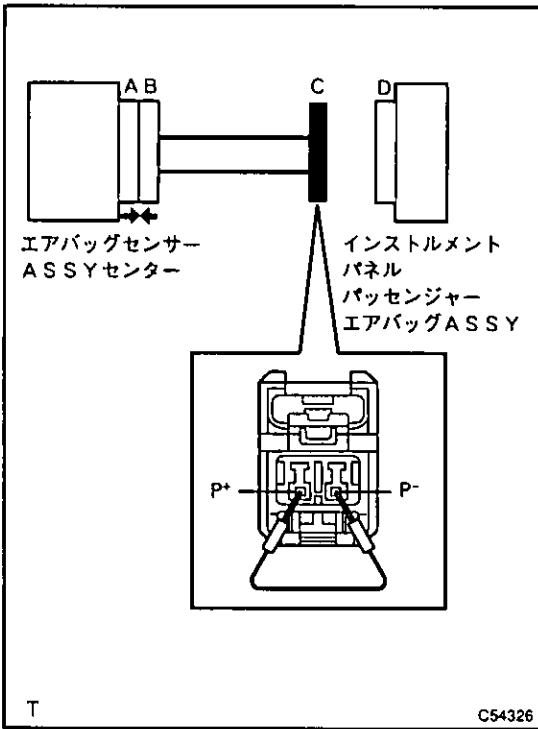
基準値

1 Ω以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



82. エアバッグセンサーASSYセンター内断線点検 (6)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのP⁺、P⁻端子間を短絡する。
SST 09843-18040
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード54 (B0106) が出力されないこと

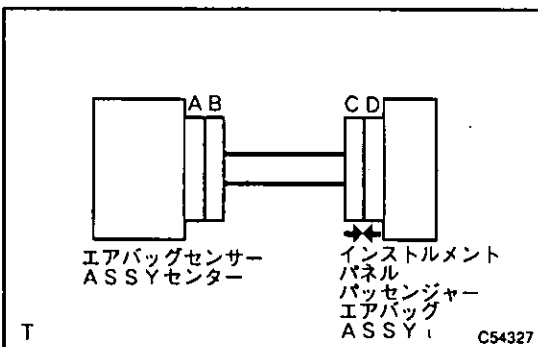
<注意>

このときダイアグノーシスコード54 (B0106) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続



83. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY断線点検

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード54 (B0106) が出力されないこと

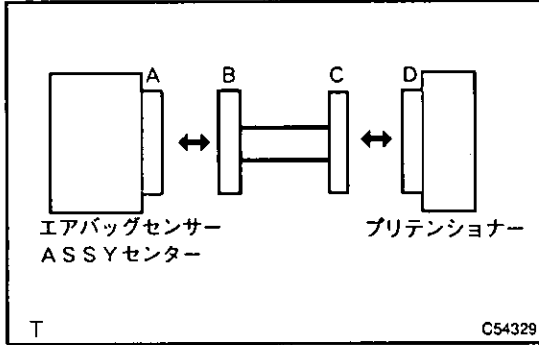
<注意>

このときダイアグノーシスコード54 (B0106) 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクタA、B	接続
コネクタC、D	接続



84. コネクタB～コネクタC間短絡点検 (17)

- (a) コネクタAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタCのPR⁺ (PL⁺)、PR⁻ (PL⁻) 端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

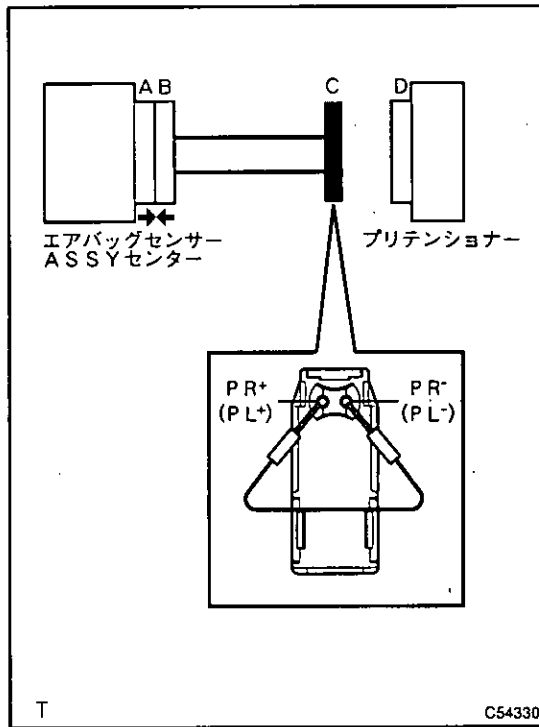
基準値

1MΩ以上

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクタA、B	未接続
コネクタC、D	未接続



85. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (15)

- (a) コネクタAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクタCのPR⁺ (PL⁺)、PR⁻ (PL⁻) 端子間を短絡する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード61 (71) [B0132 (B0137)] が出力されないこと

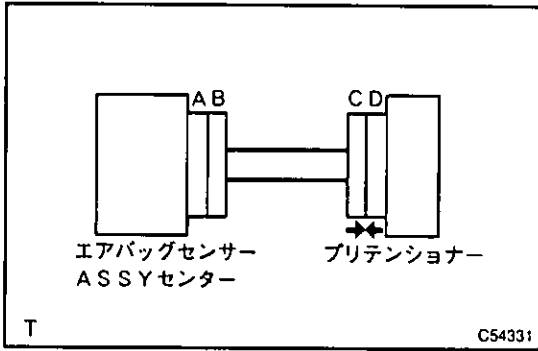
<注意>

このときダイアグノーシスコード61 (71) [B0132 (B0137)] 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクタA、B	接続
コネクタC、D	未接続



86. プリテンショナー短絡点検 (1)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間短絡する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード61 (71) [B0132 (B0137)] が出力されないこと

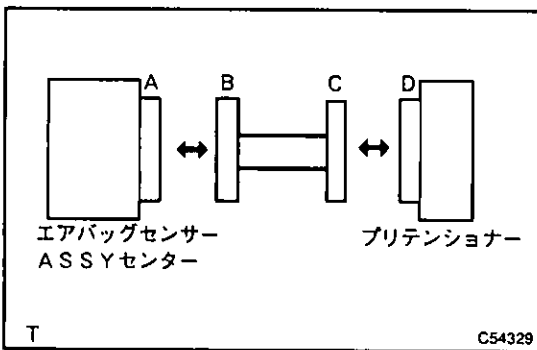
<注意>

このときダイアグノーシスコード61 (71) [B0132 (B0137)] 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



87. コネクターB～コネクターC間短絡点検 (18)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (c) SSTを使用して、コネクターCのPR⁺ (PL⁺)、PR⁻ (PL⁻) 端子～ボデーアース間の電圧を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

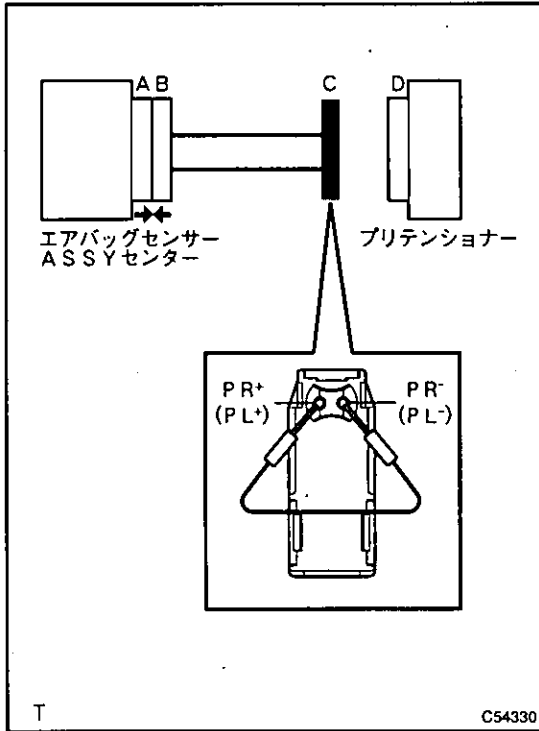
基準値

1V以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



88. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (16)
- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
 - (b) コネクターAとBを接続する。
 - (c) SSTを使用して、コネクターCのPR⁺ (PL⁺)、PR⁻ (PL⁻) 端子間を短絡する。
 - (d) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
 - (e) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09843-18040

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード62 (72) [B0133 (B0138)] が出力されないこと

<注意>

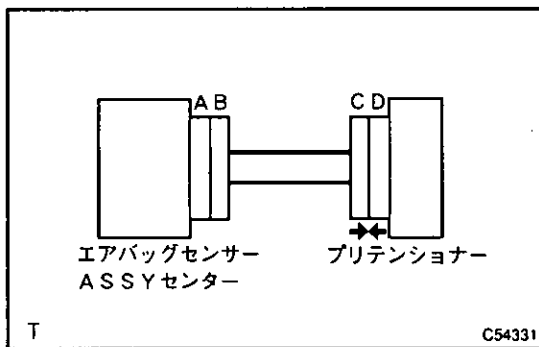
このときダイアグノーシスコード62 (72)

[B0133 (B0138)] 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続



89. プリテンショナー短絡点検 (2)
- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
 - (b) コネクターCとDを接続する。
 - (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
 - (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード62 (72) [B0133 (B0138)] が出力されないこと

<注意>

このときダイアグノーシスコード62 (72)

[B0133 (B0138)] 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



90. コネクタ-B~コネクタ-C間短絡点検 (19)

- (a) コネクタ-AとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクタ-CのPR+ (PL+)、PR- (PL-) 端子にテスター棒をあて、コネクタ-B~コネクタ-C間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上

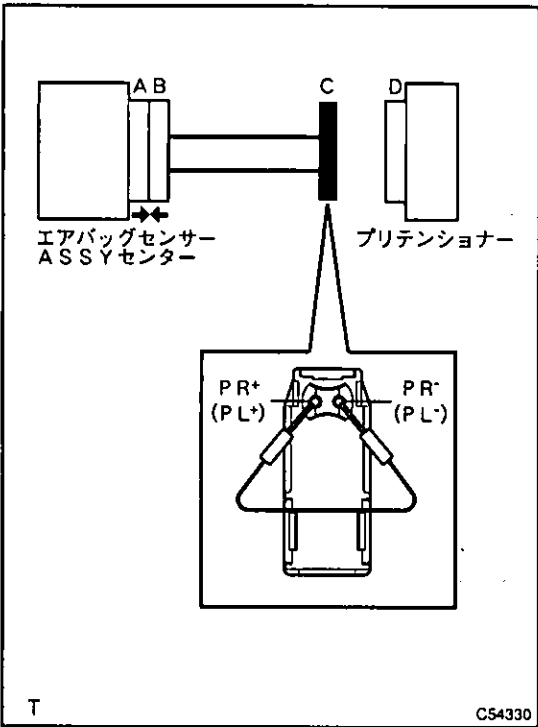
<注意>

このときコネクタ-Bのショート機構を解除する。

<参考>

各コネクタの接続状態

コネクタ-A、B	未接続
コネクタ-C、D	未接続



91. エアバッグセンサーASSYセンター内短絡点検 (17)

- (a) コネクタ-AとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクタ-CのPR+ (PL+)、PR- (PL-) 端子間を短絡する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード63 (73) [B0130 (B0135)] が出力されないこと

<注意>

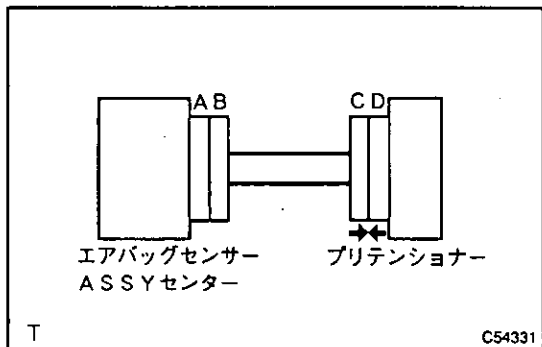
このときダイアグノーシスコード63 (73)

[B0130 (B0135)] 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクタ接続状態

コネクタ-A、B	接続
コネクタ-C、D	未接続



92. プリテンショナー短絡点検 (3)

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード63 (73) [B0135 (B0135)] が出力されないこと

<注意>

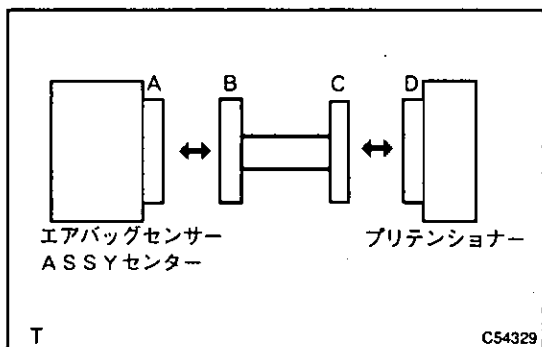
このときダイアグノーシスコード63 (73)

[B0130 (B0135)] 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続



93. コネクターB～コネクターC間断線点検 (7)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのPR⁺ (PL⁺)、PR⁻ (PL⁻) 端子にテスター棒をあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

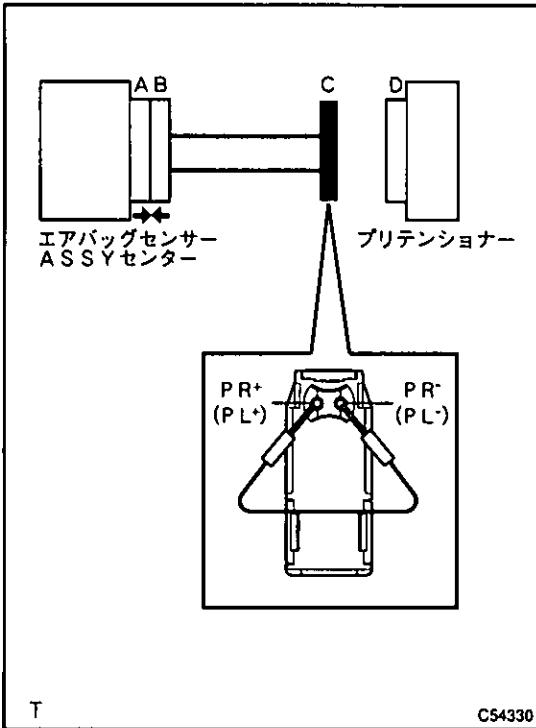
基準値

1Ω以下

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	未接続
コネクターC、D	未接続



94. エアバッグセンサーASSYセンター内断線点検 (7)

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのPR⁺ (PL⁺)、PR⁻ (PL⁻)端子間を短絡する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09843-18040

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード64 (74) [B0131 (B0136)] が出力されないこと

<注意>

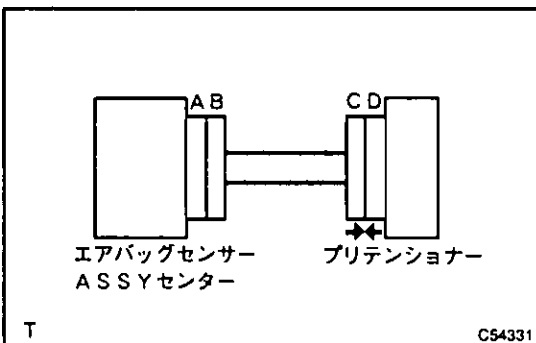
このときダイアグノーシスコード64 (74)

[B0131 (B0136)] 以外が出力されるが無視してよい。

<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	未接続



95. プリテンショナー断線点検

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにして20秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去後ダイアグノーシスコードを確認する。

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコード64 (74) [B0131 (B0136)] が出力されないこと

<注意>

このときダイアグノーシスコード64 (74)

[B0131 (B0136)] 以外が出力されるが無視してよい。

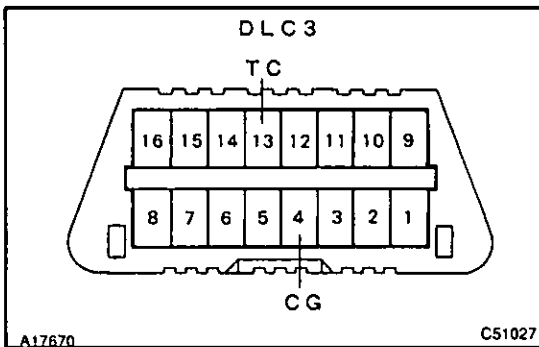
<参考>

各コネクターの接続状態

コネクターA、B	接続
コネクターC、D	接続

96. エアバッグセンサーASSYセンター点検(2)
- (a) イグニッションスイッチをOFF (LOCK)にする。
 - (b) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
 - (c) エアバッグセンサーASSYセンターのコネクターを切り離す。
 - (d) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをONにしたときウォーニングランプが点灯するか確認する。
97. バッテリー電圧点検
- (a) SSTを使用して、バッテリーの電圧は正常か確認する。
SST 09082-00030, 09083-00150
基準値
10~14V (エンジン停止時)
98. 電源電圧点検
- (a) イグニッションスイッチをONにし、SSTを使用してエアバッグセンサーASSYセンターのコネクターのIG2、ACC端子とボデーアース間の電圧は正常か確認する。
SST 09082-00030, 09083-00150
基準値
10~14V
99. ウォーニングランプ消灯点検
- (a) イグニッションスイッチをONにし、約6秒後にウォーニングランプが消灯するか確認する。
基準
ウォーニングランプが消灯すること
100. ダイアグノーシスコード点検
- (a) ダイアグノーシスコードを確認する。
101. ウォーニングランプ系回路短絡点検
- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
 - (b) エアバッグ、シートエアバッグおよびプリテンショナーのコネクターを切り離す。
 - (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、SSTを使用してダイアグノーシスコネクターのAB端子~ボデーアース間の電圧を確認する。
SST 09082-00030, 09083-00150
基準値
10~14V
102. エアバッグセンサーASSYセンター~ウォーニングランプ間短絡点検
- (a) SSTを使用して、エアバッグセンサーASSYセンターのワイヤハーネス側コネクターのLA端子~ボデーアース間の電圧を確認する。
SST 09082-00030, 09083-00150
基準値
10~14V

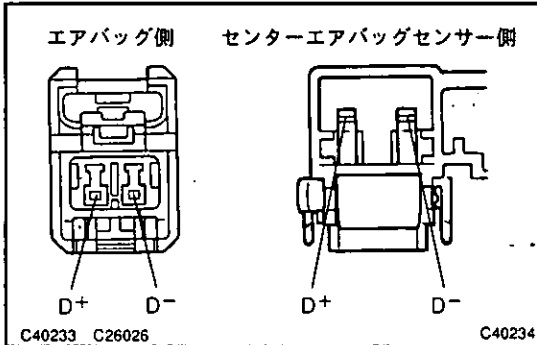
103. エアバッグセンサーASSYセンターコネクター点検
- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
 - (b) エアバッグセンサーASSYセンターのコネクターを切り離し、ワイヤハーネス側コネクターの半かん合検出機構L1、L2、L3、L4、L5、L6端子を点検する。
 - (c) エアバッグセンサーASSYセンターにコネクターが正しく接続されていることを確認する。
104. エアバッグセンサーASSYセンター点検 (3)
- (a) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、イグニッションスイッチをACCまたはONにしてウォーニングランプが点滅することを確認する。
105. ダイアグノーシスコード表示点検 (1)
- (a) ダイアグノーシスコードが表示されないのか常時表示されるのか確認する。
106. エアバッグセンサーASSYセンター～DLC3間短絡点検
- (a) エアバッグセンサーASSYセンターのコネクターを切り離し、SSTを使用してエアバッグセンサーASSYセンターのワイヤハーネス側コネクターのTC端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。
SST 09082-00030, 09083-00150
基準値
1MΩ以上



107. DLC3回路電圧点検
- (a) イグニッションスイッチをACCまたはONにし、SSTを使用してDLC3のTC⇔CG端子間の電圧を確認する。
SST 09991-60100, 09991-60701
基準値
10~14V

108. ダイアグノーシスコード表示点検 (2)
- (a) イグニッションスイッチをACCまたはONにし、エアバッグセンサーASSYセンターにコネクターを接続した状態でエアバッグセンサーASSYセンターのコネクターTC端子～ボデーアース間を短絡したときダイアグノーシスコードを表示するか確認する。

単体点検



1. スパイラルケーブル

(a) 抵抗点検

- (1) SSTを使用して、スパイラルケーブルコネクタ各端子間の抵抗値を測定する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

測定条件	測定端子記号	抵抗値
通常状態	D+⇔D+	1Ω以下
通常状態	D-⇔D-	1Ω以下
通常状態	D+⇔D-	1Ω以下
ショート機構解除	D+⇔D-	1MΩ以上

<注意>

テスターリードは端子に強く接触しない。

2. エアバッグセンサーASSYセンター

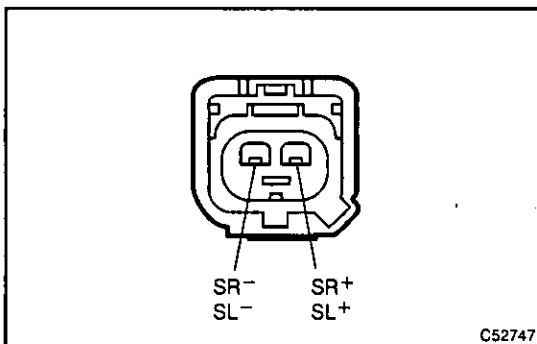
- (a) センターエアバッグセンサーASSYの点検はトラブルシューティングの指示に従って行う。

(要領はSA-12参照)

3. サイドエアバッグセンサーASSY

- (a) サイドエアバッグセンサーASSYの点検はトラブルシューティングの指示に従って行う。

(要領はSA-12参照)



4. フロントエアバッグセンサー

<注意>

車両前部に損傷がある場合は、必ずフロントエアバッグセンサーの点検を行う。

(a) 抵抗点検

- (1) SSTを使用して、フロントエアバッグセンサー各端子間の抵抗値を測定する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

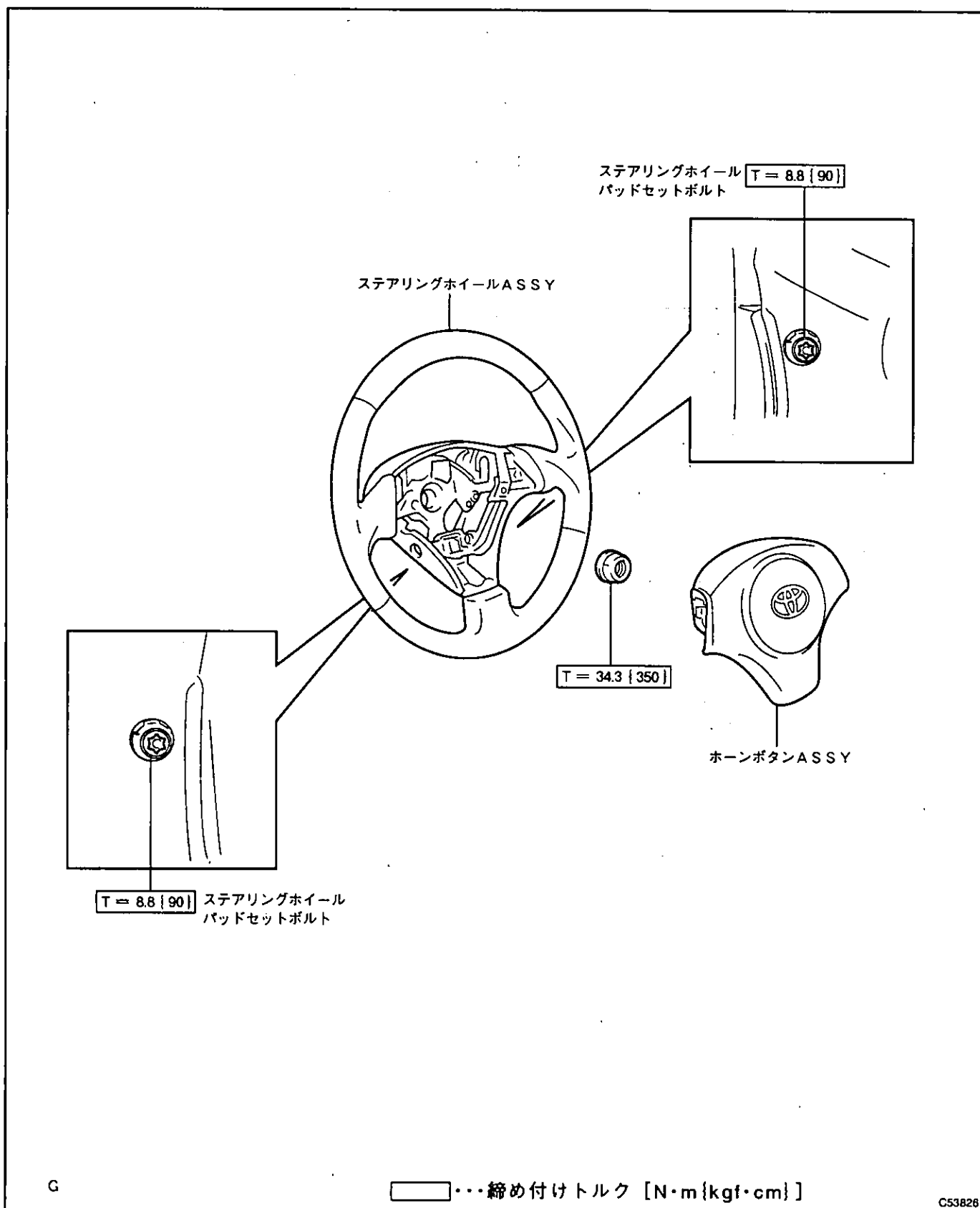
測定条件	測定端子記号	抵抗値
通常状態	SR+⇔SR- SL+⇔SL-	730~910Ω

<注意>

テスターリードは端子に強く接触しない。

ステアリングホイールASSY 構成図

SA0C1-01



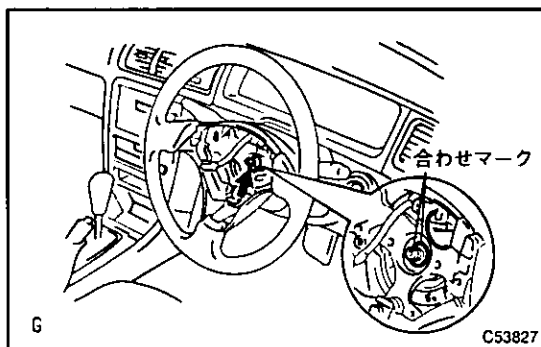
CS3828

脱着

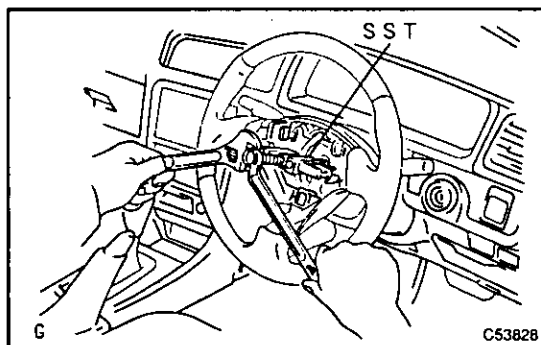
＜注意＞

取り付けは、取りはずしの逆の手順で行う。但し、取り付けは要領がある場合のみ示す。

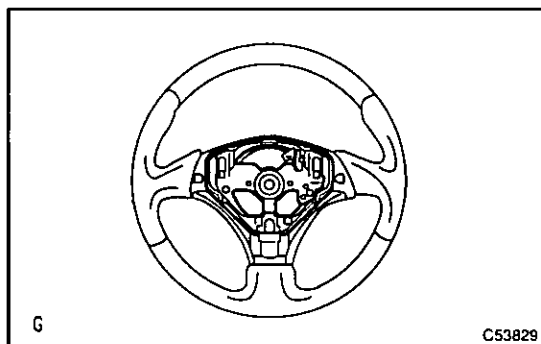
1. 取り扱い・作業上の注意確認
(要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)
3. フロントタイヤ直進状態確認
 - (a) フロントタイヤを直進状態にする。
4. ホーンボタンASSY取りはずし
(要領はSA-85参照)



5. ステアリングホイールASSY取りはずし
 - (a) ナットをはずし、ステアリングホイールとメインシャフトに合わせマークを付ける。
 - (b) スパイラルケーブルからコネクターをはずす。



- (c) SSTを使用して、ステアリングホイールASSYを取りはずす。
SST 09950-50012 (09951-05010, 09952-05010, 09953-05020, 09954-05020)

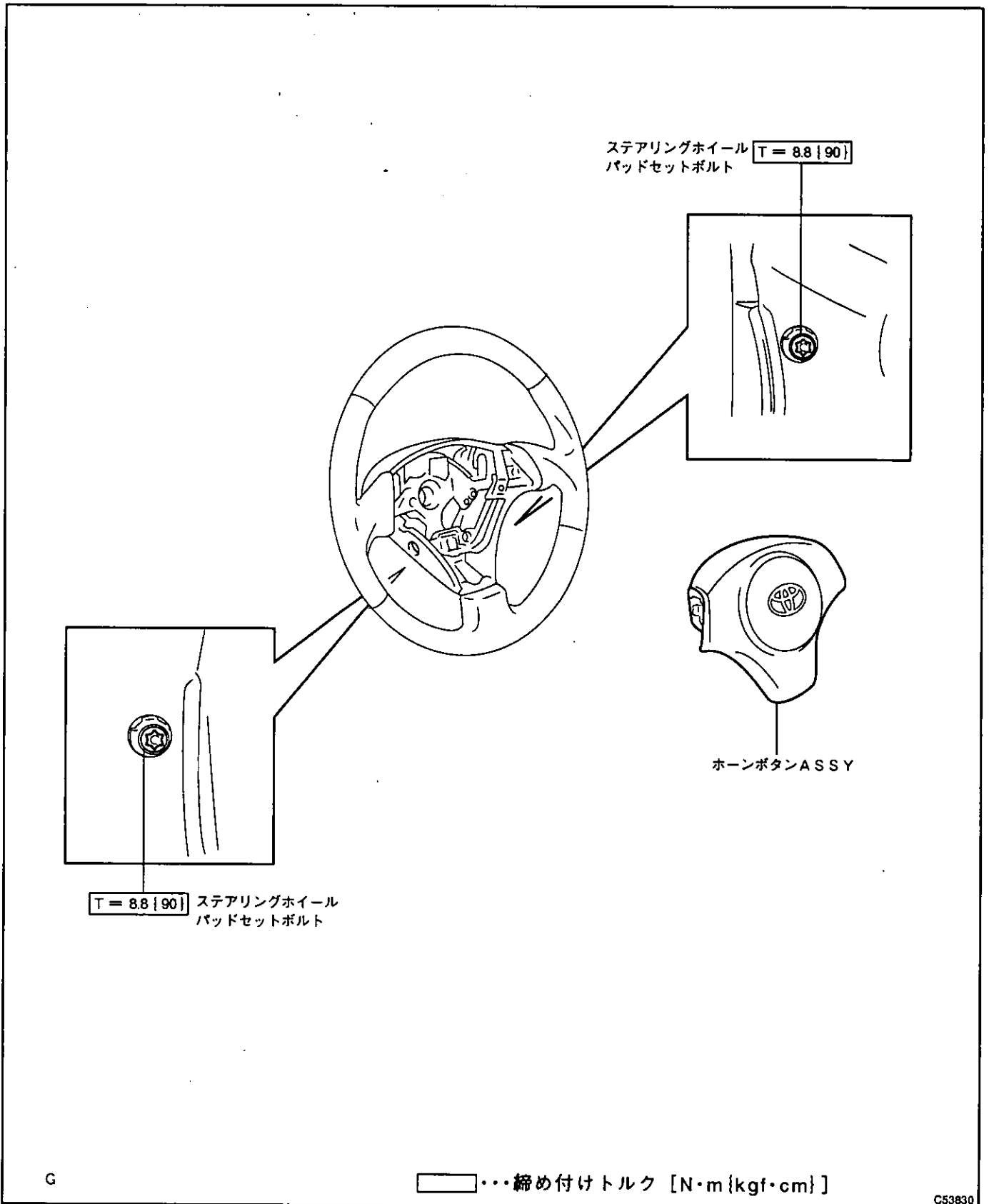


6. ステアリングホイールASSY外観点検
 - (a) ステアリングホイールASSY金属ブラケット部が変形している場合は、ステアリングホイールASSYを新品と交換する。

7. フロントタイヤ直進状態確認
 - (a) フロントタイヤが直進状態になっていることを確認する。
8. スパイラルケーブルセンタリング
(要領はSA-92参照)
9. ステアリングホイールASSYセンター位置確認
10. ステアリングホイールASSY取り付け
基準値
 $T=34.3\text{N}\cdot\text{m}$ (350kgf·cm)
11. ホーンボタンASSY取り付け
基準値
 $T=8.8\text{N}\cdot\text{m}$ (90kgf·cm)
12. エアバッグウォーニングランプ確認
(要領はSA-10参照)

ホーンボタンASSY 構成図

SA0C3-01

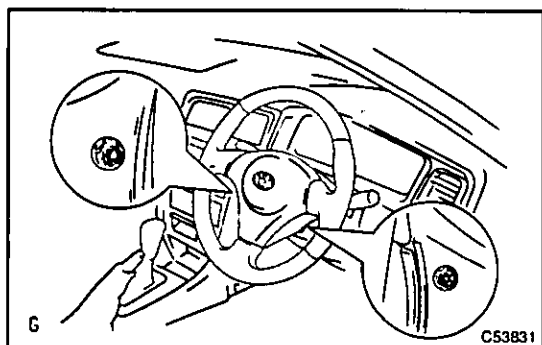


脱着

<注意>

取り付けは、取りはずしの逆の手順で行う。但し、
取り付けは要領がある場合のみ示す。

1. 取り扱い・作業上の注意確認（要領はSA-1参照）
2. 電源切り離し（要領はSA-1参照）



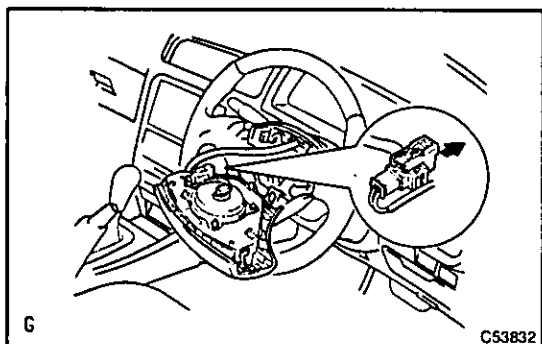
3. ホーンボタンASSY取りはずし
- (a) トルクソケットレンチ（T30）を使用して、セットボルト2本を空転するまでゆるめる。

工具 トルクソケットレンチ（T30）
〔09042-00010〕

- (b) マイナス薄刃ドライバーを使用して、セットボルトを引き出す。
- (c) かん合をはずしホーンボタンASSYを手前に引き出す。

<注意>

エアバッグのW/Hを引張らないこと。

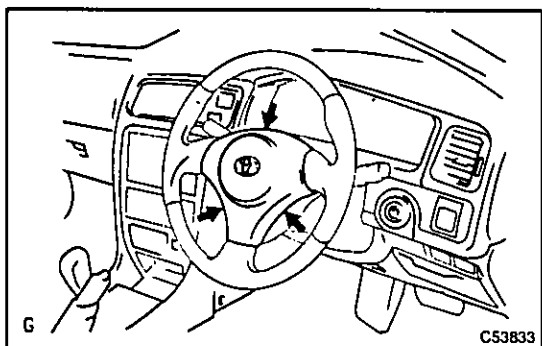


- (d) エアバッグ用コネクターを切り離し、ホーンボタンASSYを取りはずす。

4. ホーンボタンASSY取り付け

基準値

$T = 8.8\text{N}\cdot\text{m}$ (90kgf·cm)



5. ホーンボタンASSY外観点検

- (a) 新品のホーンボタンASSYを無理なく取り付けることができない、またはホーンボタンASSYを取り付けたときホーンボタンASSYとステアリングホイールASSYが干渉またはすき間が均一でない場合は新品と交換する。

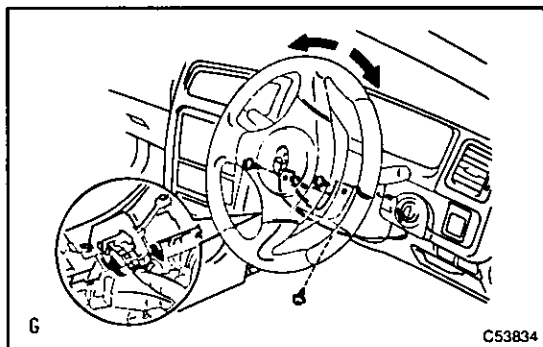
6. エアバッグウォーニングランプ確認
（要領はSA-10参照）

ホーンボタンASSY (エアバッグシステム装着車廃車時の展開要領)

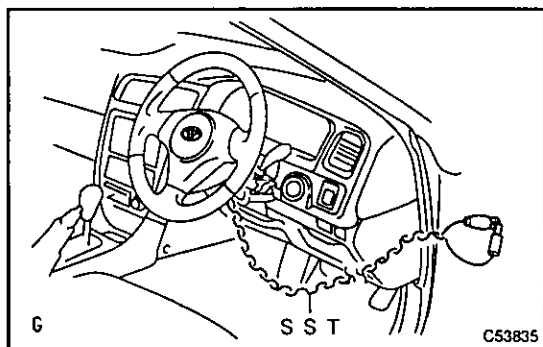
SA0CS-01

廃却

1. 取り扱い・作業上の注意確認 (要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)



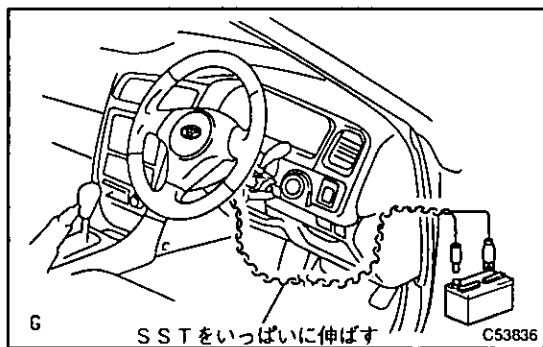
3. ステアリングコラムロワーカバー取りはずし
 - (a) ステアリングホイールを左右に90°回転させステアリングコラムロワーカバー上面のスクリュー2本をはずす。
 - (b) スクリューをはずし、ステアリングコラムロワーカバーを取りはずす。
4. エアバッグ用コネクタ切り離し
 - (a) スパイラルケーブルからエアバッグ用コネクタを切り離す。



5. エアバッグ作動

<注意>
ステアリングホイールASSYおよびホーンボタンASSYにガタがないことを確認する。

 - (a) SSTのワニ口と端子をショートさせる。
SST 09082-00710
 - (b) SSTのコネクタとエアバッグ用コネクタ (黄色の2P) を接続する。



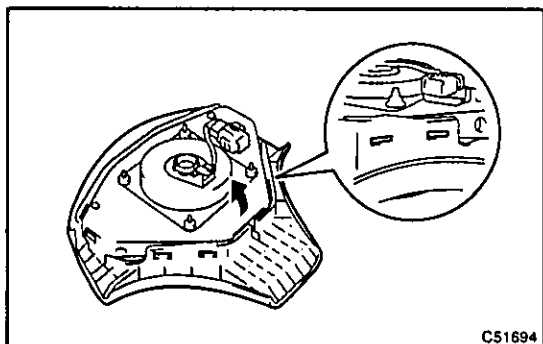
- (c) SSTを車両からいっぱい伸ばした位置にバッテリーを置く。
油脂・その他 バッテリー [52506]
<注意>
 - このとき全ドアおよびウィンドウは、閉じる。
 - 車室内および周囲に人がいないことを確認する。
- (d) もう一度車室内および周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。
- (e) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、エアバッグを作動する。
<警告>
作動前に必ず大きな声で注意を促す。

ホーンボタンASSY (単品廃却時の展開要領)

SA0C6-01

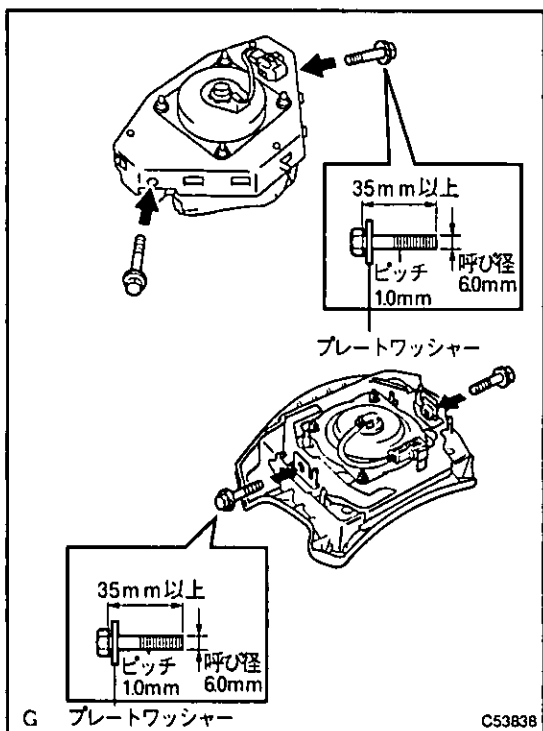
廃却

1. 取り扱い・作業上の注意確認 (要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)
3. ホーンボタンASSY取りはずし (要領はSA-85参照)



C51694

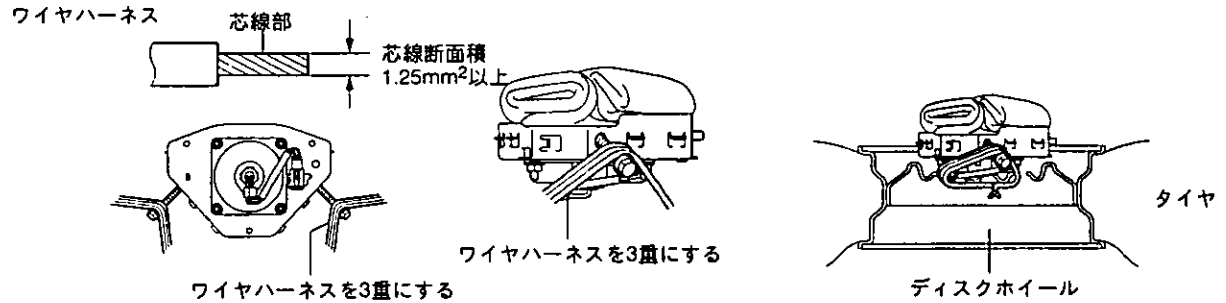
4. ステアリングホイールパッドカバー取りはずし (3本スポーク装着車)
- (a) ツメのかん合をはずし、ステアリングホイールパッドカバーをエアバッグインフレーターから取りはずす。



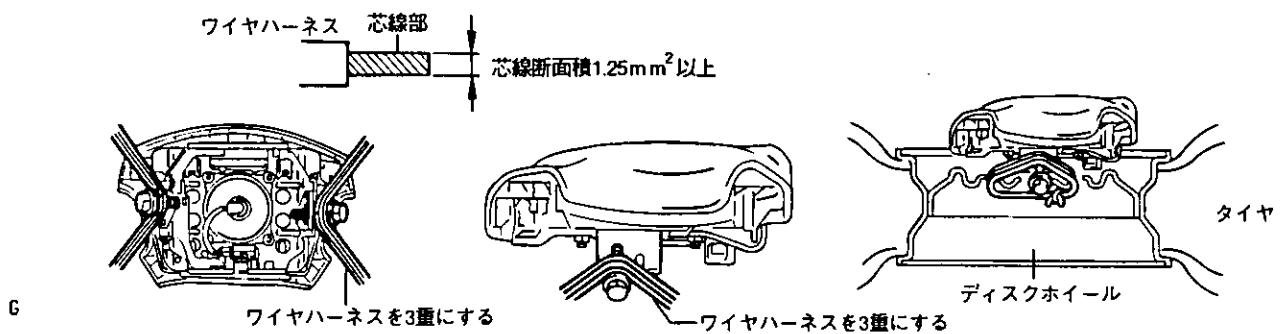
C53838

5. ホーンボタンASSY固定
- (a) ホーンボタンASSYの取り付け穴2個に、それぞれプレートワッシャーを通したボルトを手で十分に締め付ける。
 油脂・その他 ボルト2本 (首下長さ35mm以上
 ピッチ1.0mm 呼び径6.0mm) [54607]

3本スポーク装着車



4本スポーク装着車



C42340 C53856

C53839

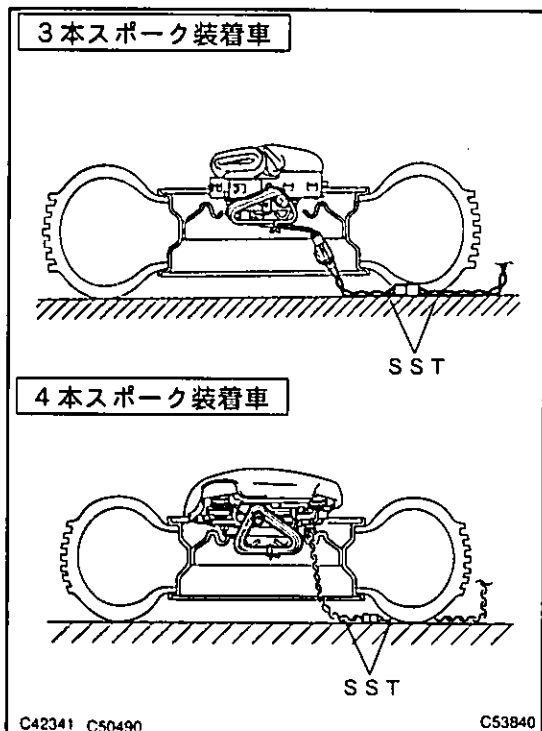
- (b) 自動車ワイヤハーネス（芯線断面積 1.25mm^2 以上）を使用して、ディスクホイールにホーンボタンASSYを固定する。

油脂・その他 ワイヤハーネス（芯線断面積 1.25mm^2 ）
〔52010〕

＜警告＞

次の指示を厳守する。指示に従わない場合、作動したエアバッグが飛び非常に危険である。

- エアバッグ作動時、ワイヤハーネスには約1トンの力が加わるためワイヤハーネスを3重にしてしっかりと固定する。
- 必ずエアバッグ展開面が上を向くように取り付ける。



6. エアバッグ作動

<注意>

エアバッグの作動作業は必ず屋外で行う。

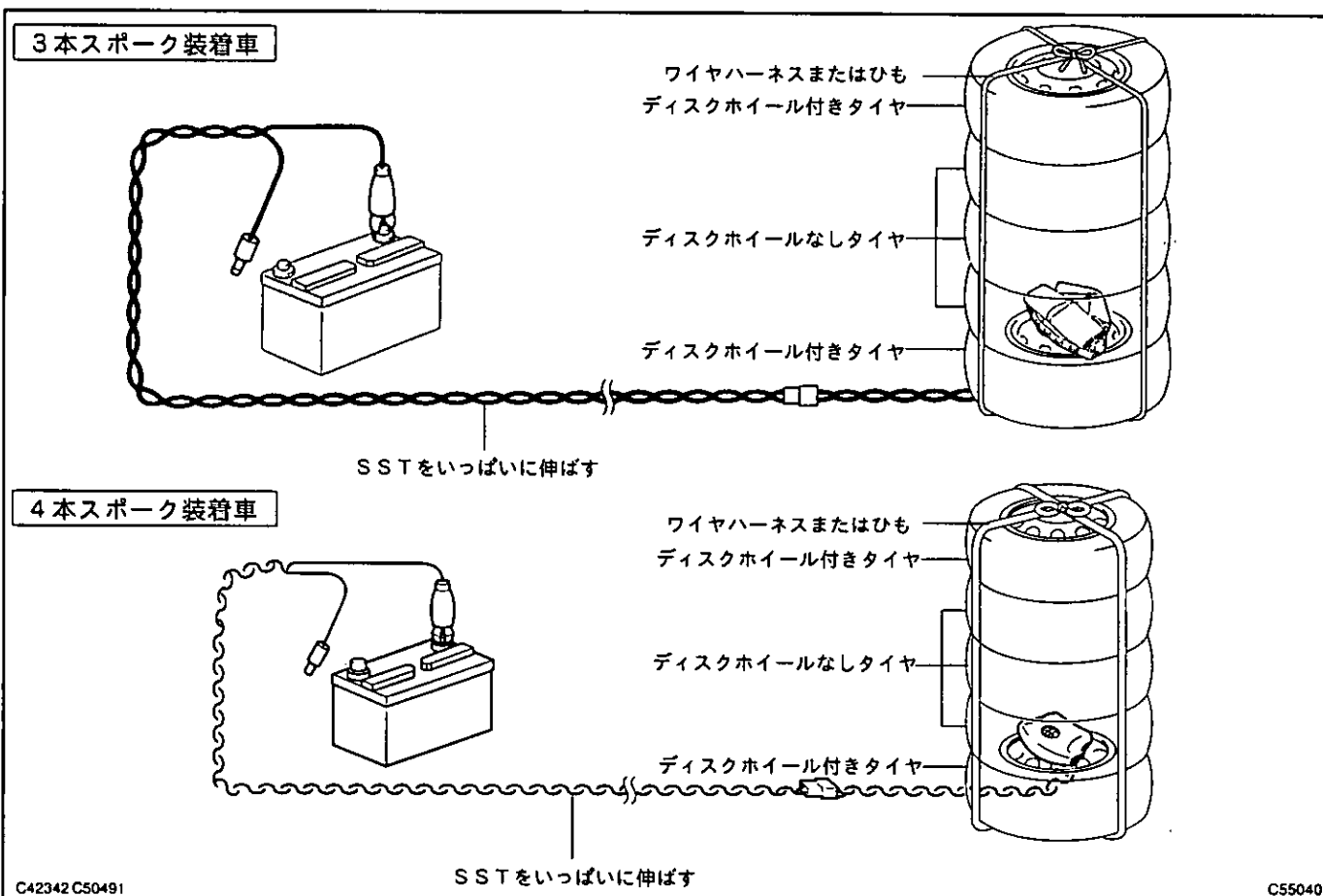
- (a) エアバッグディプロイメントワイヤにエアバッグディプロイメントワイヤサブハーネス4を接続する。

SST 09082-00710, 09082-00760

- (b) SSTのワニ口と端子をショートさせる。
 (c) SSTのコネクターとコネクター（黄色の2P）をディスクホイールの下側で接続する。

- (d) 図のようにホーンボタンASSYを固定したディスクホイールの上にタイヤを3本以上重ね、一番上にディスクホイール付きのタイヤを置く。

油脂・その他 ディスクホイール付きタイヤ2本、タイヤ3本
 [55003]



- (e) タイヤ相互をワイヤハーネスやひもなどで固定し作動時の飛散防止を図る。
 油脂・その他 ワイヤハーネス (芯線断面積1.25mm²)
 [52010]
- (f) もう一度周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。
 油脂・その他 バッテリー [52506]
- (g) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、エアバッグを作動する。
 <警告>
 作動時に必ず大きな声で注意を促す。

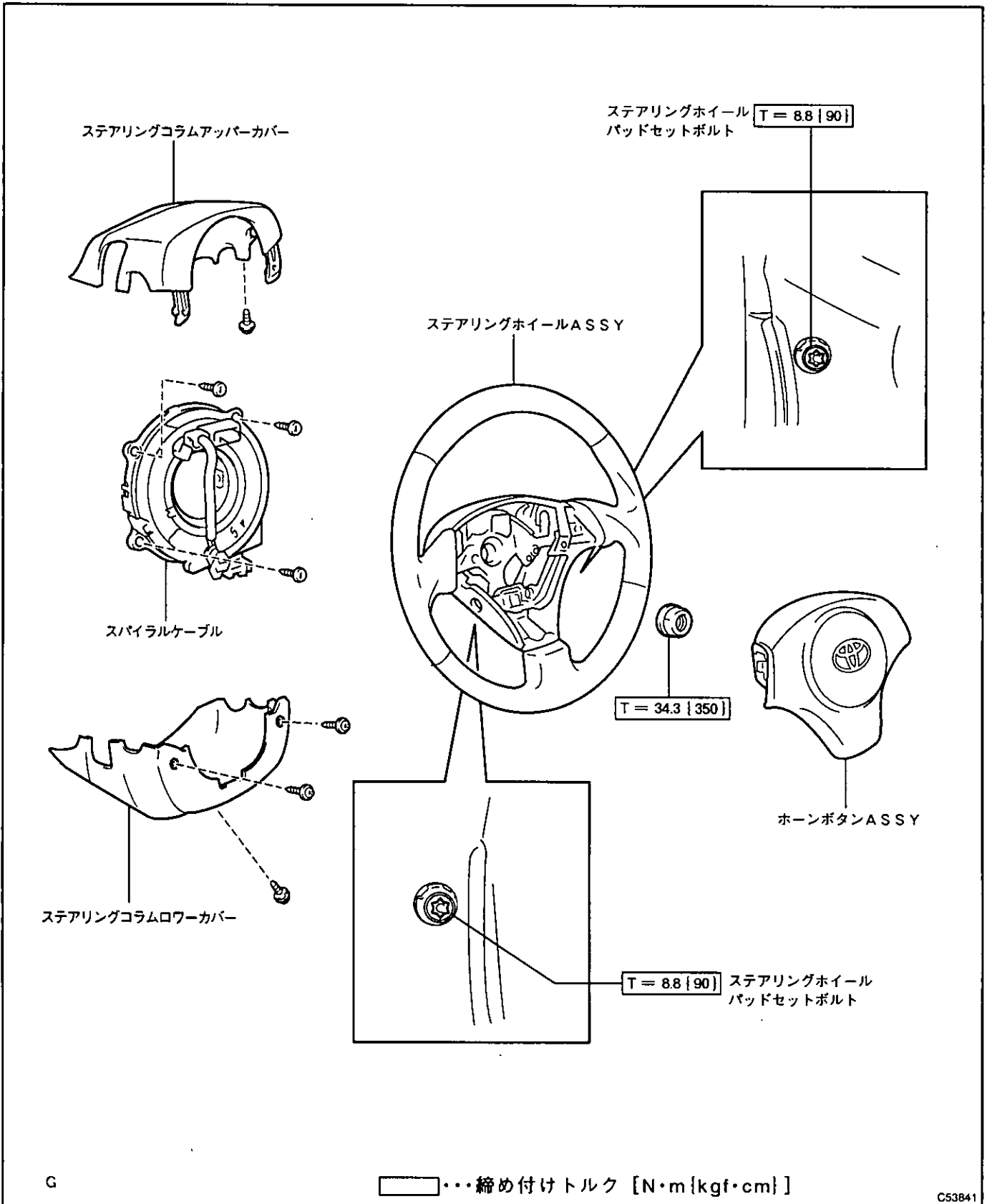


7. エアバッグ廃却要領

- (a) 作動したエアバッグはビニール袋に入れて密閉し廃棄する。
 油脂・その他 保護めがね、手袋、ビニール袋 [72000]
 <警告>
- 作動したエアバッグは大変高温になっているため作動後30分は放置しておく。
 - 作動したエアバッグに水などをかけない。
 - 作動したエアバッグの取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
 - 作業終了時には、必ず手を水洗いする。
 - 絶対に未作動の状態では、ホーンボタンASSYを廃棄しない

スパイラルケーブル 構成図

SA007-01



脱着

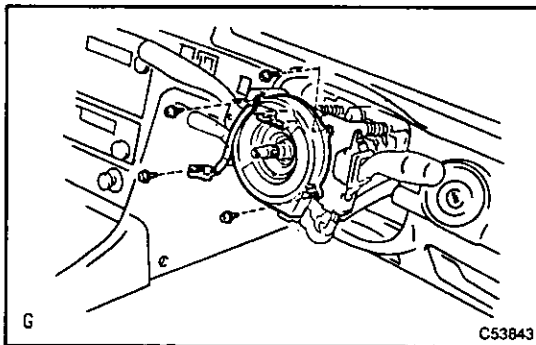
<注意>

取り付けは、取りはずしの逆の手順で行う。但し、取り付けは要領がある場合のみ示す。

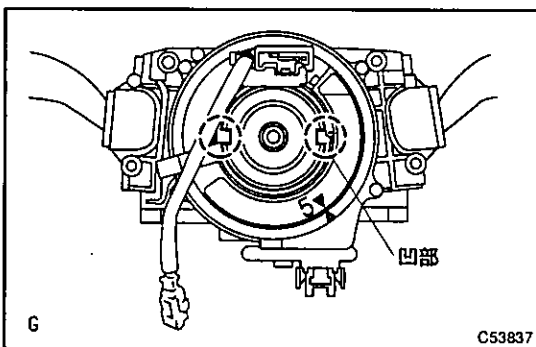
1. 取り扱い・作業上の注意確認（要領はSA-1参照）
2. 電源切り離し（要領はSA-1参照）
3. フロントタイヤ直進状態確認
 - (a) フロントタイヤを直進状態にする。
4. ステアリングホイールカバーローワーNo. 2 取りはずし
5. ホーンボタンASSY取りはずし（要領はSA-85参照）
6. ステアリングホイールASSY取りはずし（要領はSA-82参照）
7. ステアリングコラムローワーカバー取りはずし
 - (a) スクリュー3本を取りはずす。
 - (b) ツメのかん合をはずし、ステアリングコラムカバーローワーを取りはずす。
8. ステアリングコラムアッパーカバー取りはずし
 - (a) ステアリングコラムカバーアッパーを取りはずす。

<参考>

取りはずす際、チルトステアリングコラムを一番下まで下げておく。



9. スパイラルケーブル取りはずし
 - (a) コネクター2個を切り離す。
 - (b) スクリュー4本をはずし、スパイラルケーブルを取りはずす。
10. スパイラルケーブル外観点検（要領はSA-1参照）
11. フロントタイヤ直進状態確認
 - (a) フロントタイヤが直進状態になっていることを確認する。



12. スパイラルケーブル取り付け
 - (a) 図のようにキャンセルカムの凹に、スパイラルケーブルの凸を押し入れてスクリュー4本およびコネクター2個を取り付けスパイラルケーブルを取り付ける。

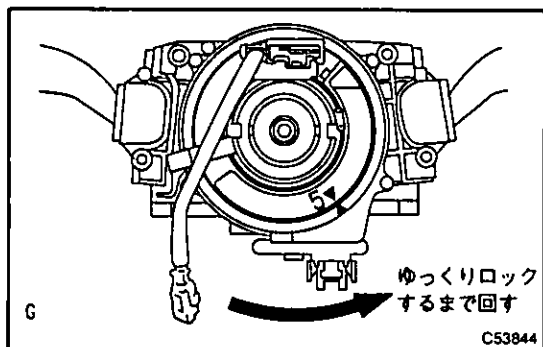
<注意>

スパイラルケーブルを新品に交換する場合、ハンドルを取り付ける前にロックピンを抜く。

13. スパイラルケーブルセンターリング
 - (a) IGスイッチがOFF（LOCK）になっていることを確認する。
 - (b) バッテリーのマイナスターミナルがはずしてあることを確認する。

<注意>

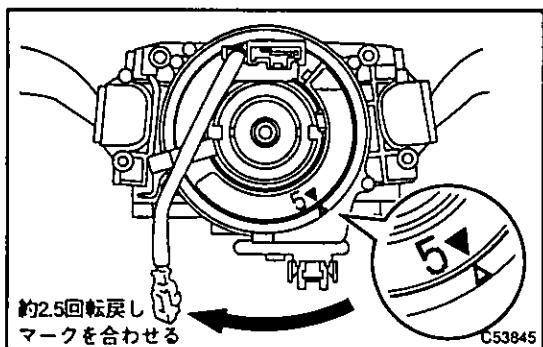
ターミナルをはずした場合はその後90秒間作業を始めない。



(c) スパイラルケーブルを反時計方向にロックするまで回す。

<参考>

スパイラルケーブルは最大約5回転する。



(d) スパイラルケーブルをロックした位置から時計方向に2.5回転戻し、図のセンターマークを合わせる。

14. ステアリングホイール位置確認

15. ステアリングホイール A S S Y 取り付け

基準値

$T=34.3\text{N}\cdot\text{m}$ (350kgf·cm)

16. ホーンボタン A S S Y 取り付け

基準値

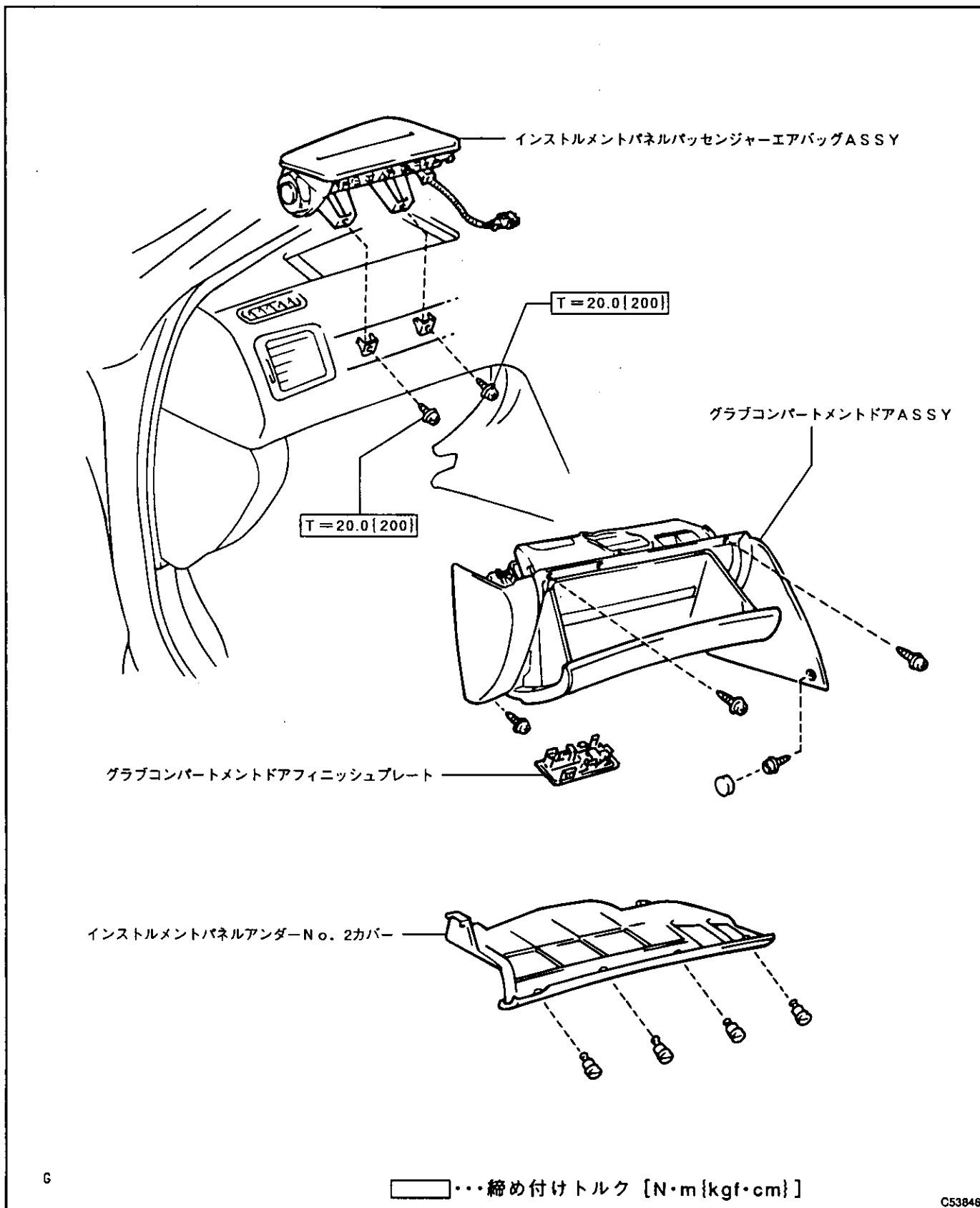
$T=8.8\text{N}\cdot\text{m}$ (90kgf·cm)

17. エアバッグウォーニングランプ確認 (要領はSA-10参照)

インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY

8A0C9-01

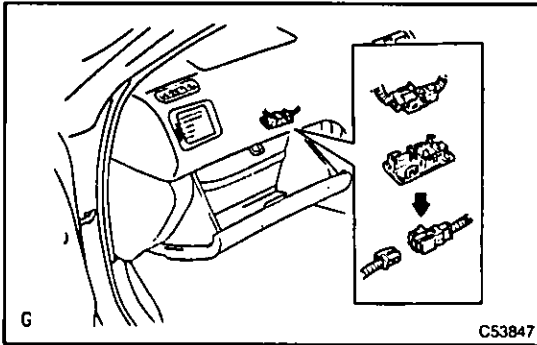
構成図



脱着

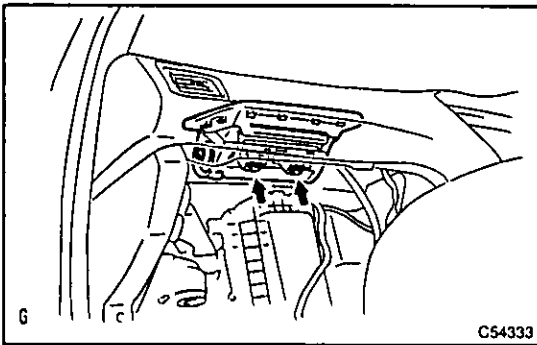
<注意>

取り付けは取りはずしの逆の手順で行う。但し、取り付けは要領がある場合のみ示す。



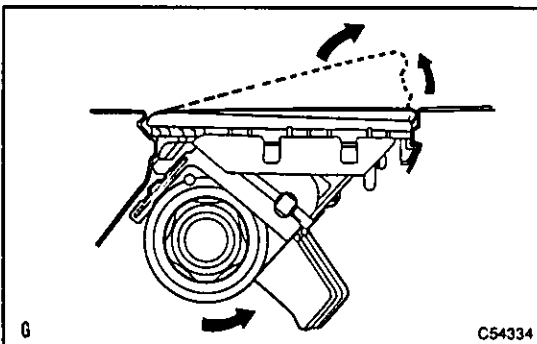
C53847

1. 取り扱い作業上の注意確認（要領はSA-1参照）
2. 電源切り離し（要領はSA-1参照）
3. グラブコンパートメントドアフィニッシュプレート取りはずし
 - (a) グラブコンパートメントドアASSYからグラブコンパートメントドアフィニッシュプレートを取りはずす。
 - (b) パッセンジャーエアバッグASSY用コネクターをグラブコンパートメントドアフィニッシュプレートから取りはずす。
 - (c) パッセンジャーエアバッグASSY用コネクターを切り離し、グラブコンパートメントドアASSY上面のオープニングホールに押し込む。
4. インストルメントパネルアンダー-No.2カバー取りはずし
5. グラブコンパートメントドアASSY取りはずし



C54333

6. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY取りはずし
 - (a) ボルト2本をはずし、インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYをインストルメントパネルリインホースメントASSYから切り離す。



C54334

- (b) インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYを下方から押し上げ、ドア部前方のツメのかん合4箇所および側面のツメのかん合5箇所をはずす。
- (c) インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYのドア部前方を中心に回転させ、ドア後部のツメのかん合4箇所をはずしインストルメントパネルセーフティーパッドASSYから取りはずす。

<注意>

インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYはエアバッグ面を上に向けて置き、内部に異物などが混入しないように保管および取り付ける。

7. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY外観点検（要領はSA-1参照）

8. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY
取り付け
 - (a) ツメのかん合13箇所をかん合させ、インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYをインストルメントパネルセーフティパッドASSYに取り付ける。
 - (b) ボルト2本でインストルメントパネルラインホースメントASSYにインストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYを取り付ける。

基準値

$$T = 20.0\text{N}\cdot\text{m} \{200\text{kgf}\cdot\text{cm}\}$$

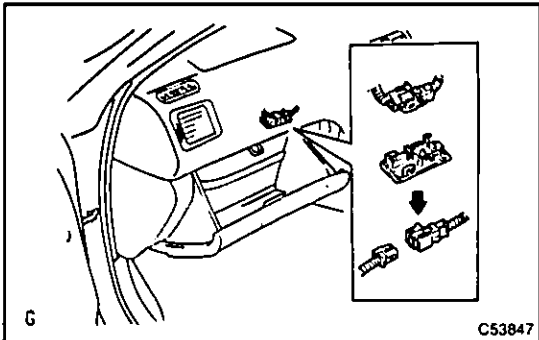
9. エアバッグウォーニングランプ点検 (要領はSA-10参照)

インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY (エアバッグシステム装着車廃車時の展開要領)

SA008-01

廃却

1. 取り扱い・作業上の注意確認 (要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)



3. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY 作動

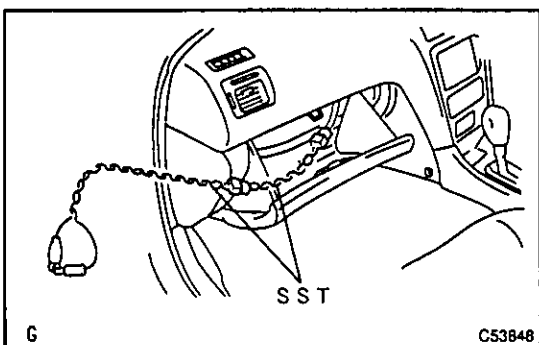
<注意>

インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYに
ガタがないことを確認する。

- (a) グラブコンパートメントドアASSYからグラブコンパートメントドアフィニッシュプレートを取りはずす。
- (b) パッセンジャーエアバッグASSY用コネクターをグラブコンパートメントドアフィニッシュプレートから取りはずす。
- (c) パッセンジャーエアバッグASSY用コネクターを切り離す。
- (d) エアバッグディプロイメントワイヤにエアバッグディプロイメントワイヤサブハーネス4を接続する。

SST 09082-00710, 09082-00760

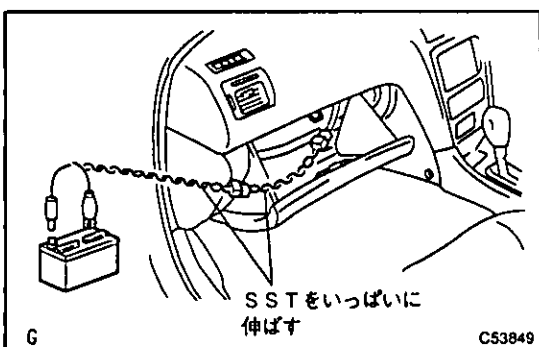
- (e) SSTのワニ口と端子をショートさせる。
- (f) SSTのコネクターとパッセンジャーエアバッグのコネクター (黄色の2P) を接続する。



- (g) SSTを車両からいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く。
油脂・その他 バッテリー [52506]

<警告>

- このとき全ドアおよびウインドウは、閉じる。
- 車室内および周囲に人がいないことを確認する。



- (h) もう一度車室内および周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。
- (i) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、パッセンジャーエアバッグを作動する。

<警告>

作動前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。

インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY (単品廃却時の展開要領)

SA0CC-01

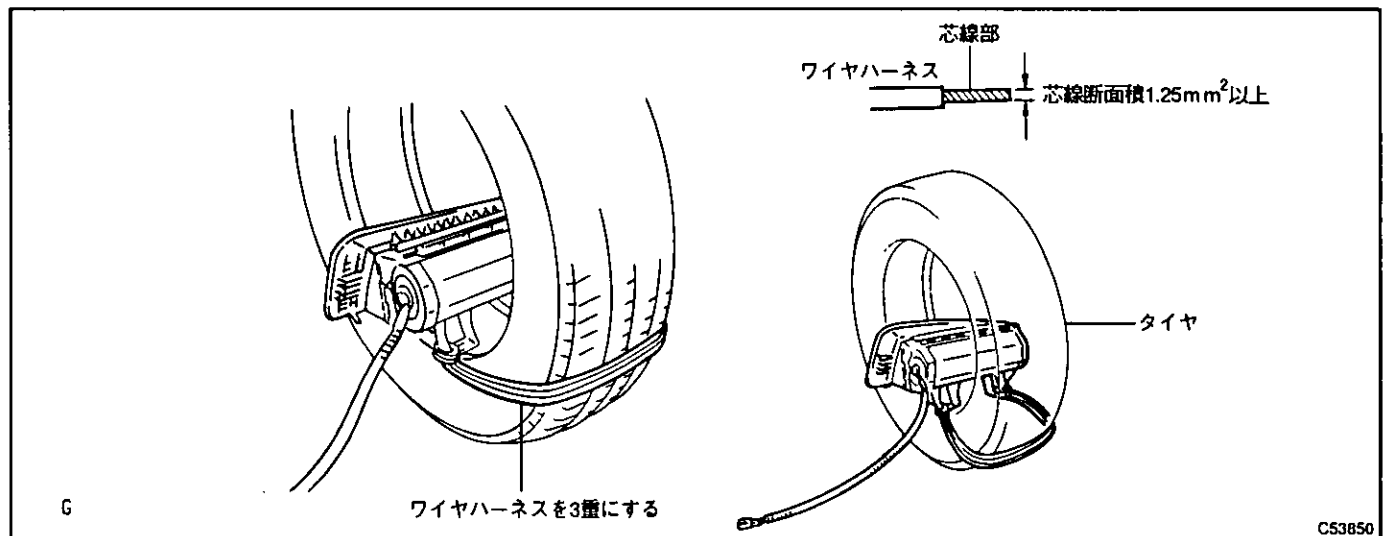
廃却

1. 取り扱い・作業上の注意確認 (要領はSA-1参照)
 2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)
 3. グラブコンパートメントドアフィニッシュプレート取りはずし (要領はSA-95参照)
 4. インストルメントパネルアンダーNo. 2 カバー取りはずし
 5. グラブコンパートメントドアASSY取りはずし
 6. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY取りはずし (要領はSA-95参照)
 7. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY固定
- (a) 自動車ワイヤハーネス (芯線断面積 1.25mm^2 以上) を使用してタイヤにインストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYを固定する。

油脂・その他 ワイヤハーネス (芯線断面積 1.25mm^2)
[52010]

<警告>

- 次の指示を厳守する。指示に従わない場合、作動したインストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYが飛び非常に危険である。
- エアバッグ作動時、ワイヤハーネスには約1トンの力が加わるためワイヤハーネスを3重にしてしっかりと固定する。
- 必ずエアバッグ展開面がタイヤ中心を向くように取り付ける。



G

C53850

8. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY
作動

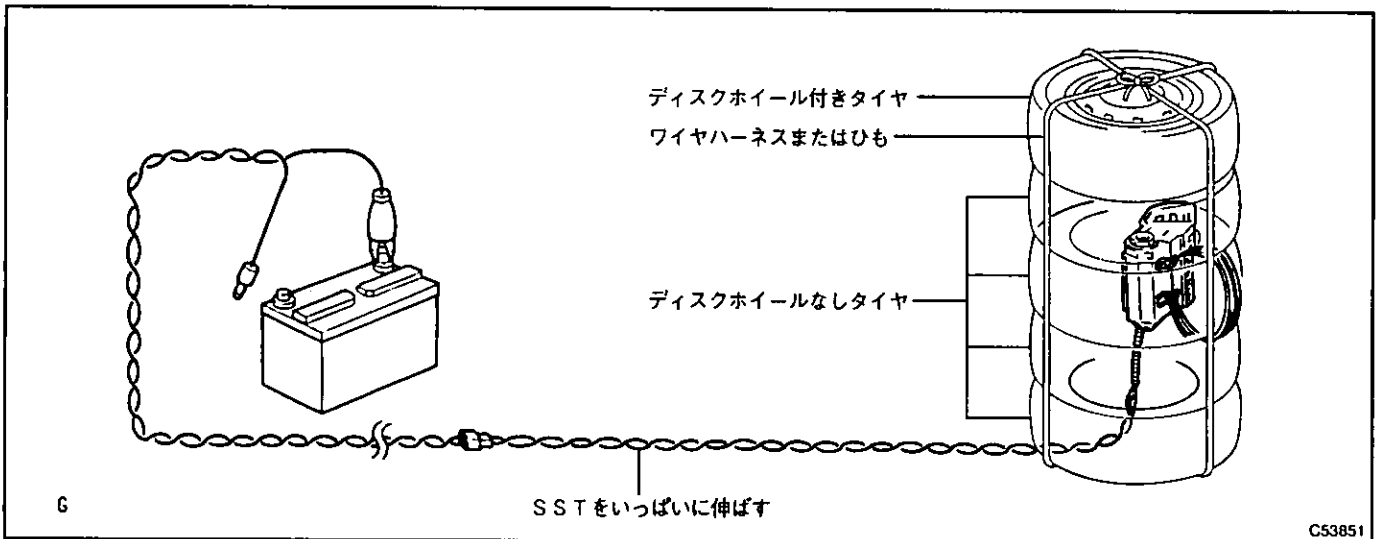
<警告>

エアバッグの作動作業は必ず屋外で行う。

- (a) エアバッグディプロメントワイヤにエアバッグディプロイメントワイヤサブハーネス4を接続する。

SST 09082-00710, 09082-00760

- (b) SSTのワニ口と端子をショートさせる。
(c) SSTのコネクターとエアバッグ用コネクター (黄色の2P) を接続する。



- (d) 図のようにタイヤを2本重ねた上に、インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYを固定したタイヤを重ね、さらにその上にタイヤ1本以上と、一番上にディスクホイール付きのタイヤを置く。

油脂・その他 ディスクホイール付きタイヤ1本、タイヤ4本
[55004]

- (e) タイヤ相互をワイヤハーネスや紐などで固定し、作動時の飛散防止を図る。

油脂・その他 ワイヤハーネス (芯線断面積1.25mm²)
[52010]

- (f) SSTをインストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYからいっぱい伸ばした位置にバッテリーを置く。

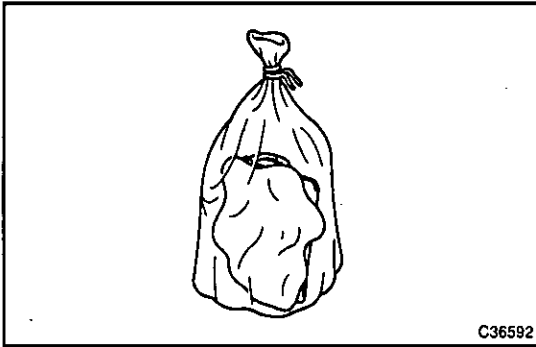
油脂・その他 バッテリー [52506]

- (g) もう一度周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。

- (h) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYを作動する。

<警告>

作動前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。



9. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY
廃却要領

- (a) 作動したインストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY
はビニール袋に入れて密閉し廃棄する。

油脂・その他 保護めがね、手袋、ビニール袋〔72000〕

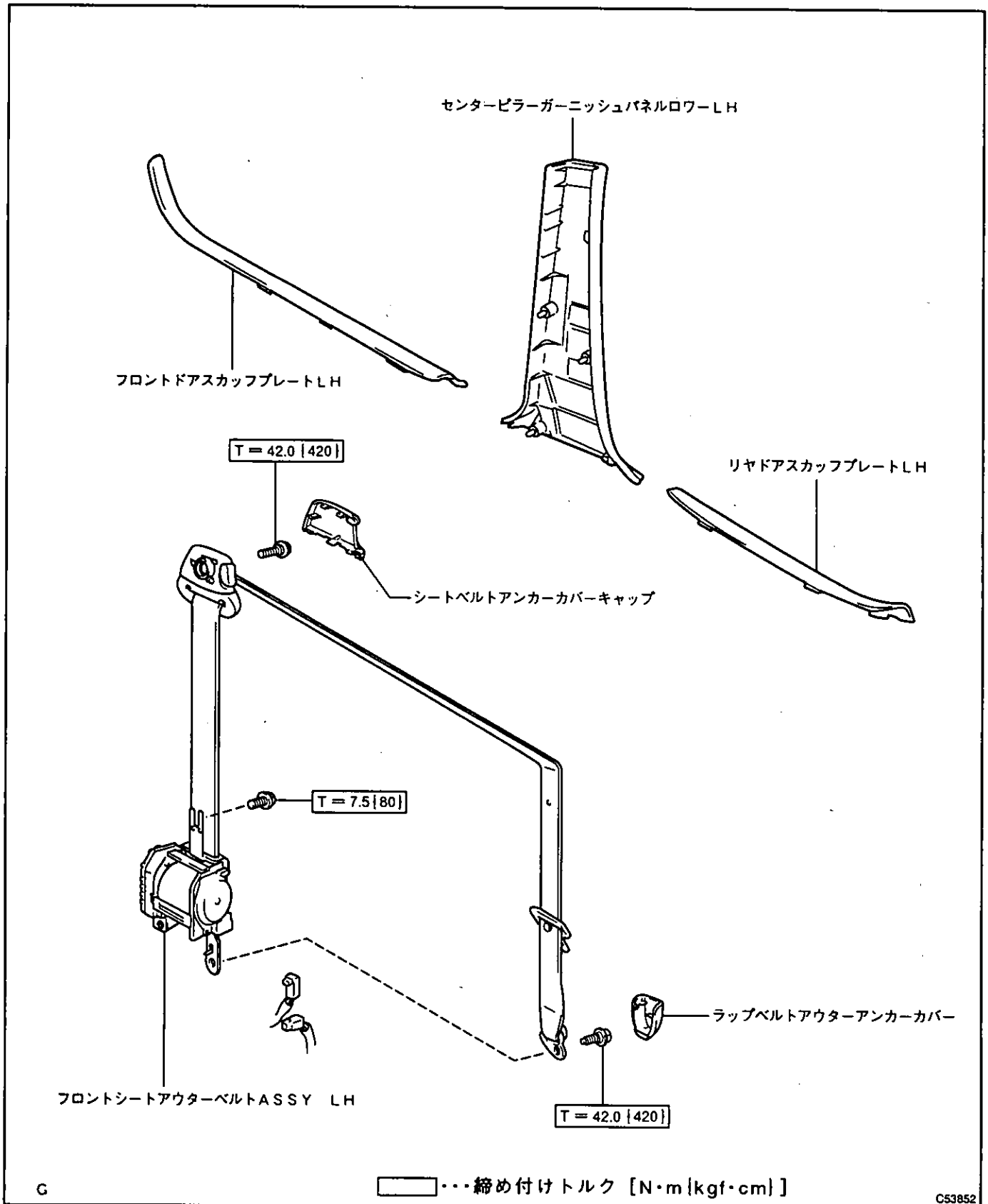
<警告>

- 作動したインストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYは大変高温になっているため作動後30分は放置しておく。
- 作動したインストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYに水などをかけない。
- 作動したインストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYの取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
- 作業終了時には、必ず手を水洗いする。
- 絶対に未作動の状態ではインストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSYを廃棄しない

フロントシートアウターベルトASSY [プリテンショナー]

SA6CD-01

構成図

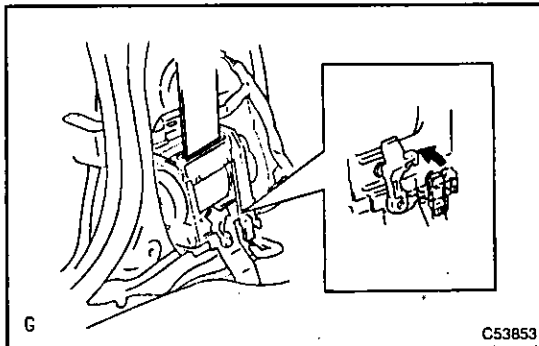


脱着

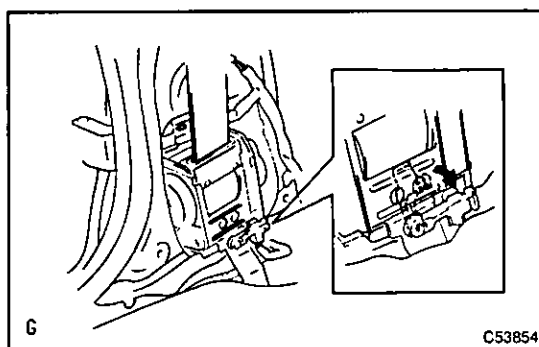
<注意>

- 取り付けは、取りはずしの逆の手順で行う。但し、取り付けは要領がある場合のみ示す。
- フロントシートアウターベルトASSY RHの脱着はフロントシートアウターベルトASSY LHの脱着と同様に行う。

1. 取り扱い・作業上の注意確認（要領はSA-1参照）
2. 電源切り離し（要領はSA-1参照）
3. フロントドアスカッフプレートLH取りはずし
4. リヤドアスカッフプレートLH取りはずし
5. センターピラーガーニッシュパネルローワーLH取りはずし



6. フロントシートアウターベルトASSY LH取りはずし
 - (a) シートベルトアンカーカバーキャップを取りはずし、ボルトを取りはずす。
 - (b) ラップベルトアウターアンカーカバーを取りはずし、ボルトを取りはずす。
 - (c) コネクターホルダーを解除し、プリテンショナー用コネクターをはずす。
 - (d) ボルト2本をはずし、フロントシートアウターベルトASSY LHを取りはずす。
7. フロントシートアウターベルトASSY外観点検（要領はSA-1参照）



8. フロントシートアウターベルトASSY LH取り付け
 - (a) ボルトでフロントシートアウターベルトASSY LHおよびアンカー部を取り付ける。

基準値

$T=7.5N \cdot m$ {80kgf·cm} (本体上部)

$T=42.0N \cdot m$ {420kgf·cm} (本体下部)
 - (b) プリテンショナー用コネクターを付け、コネクターホルダーをロックする。
 - (c) ショルダーアンカー部のボルトを締め付け、シートベルトアンカーカバーキャップを取り付ける。

基準値

$T=42.0N \cdot m$ {420kgf·cm}
 - (d) ラップベルトアウターアンカーカバーを取り付ける。

フロントシートアウターベルトASSY [プリテンショナー] (エアバッグシステム 装着車廃車時の展開要領)

SAOCF-01

廃却

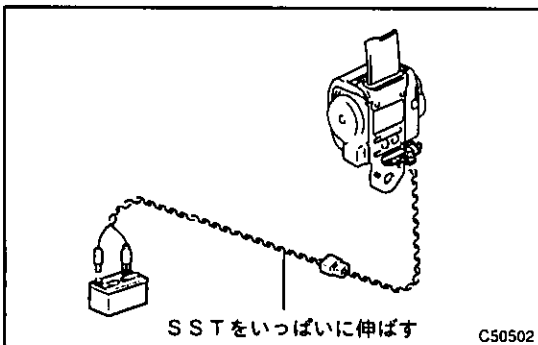
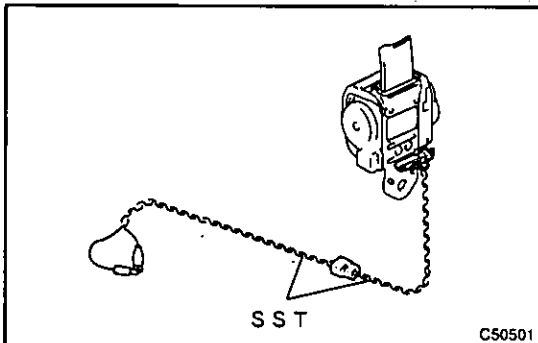
<注意>

フロントシートアウターベルトASSY RHの要領はフロントシートアウターベルトASSY LHの要領と同様に行う。

1. 取り扱い・作業上の注意確認 (要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)
3. フロントドアスカッフプレートLH取りはずし
4. リヤドアスカッフプレートLH取りはずし
5. センターピラーガーニッシュパネルローワーLH取りはずし
6. プリテンショナー作動
 - (a) コネクターホルダーを解除し、プリテンショナー用コネクターをはずす。
 - (b) シートベルトをセットする。

<警告>

- アウターベルト取り付け部にガタがないことを点検する。
 - シートベルトにたるみがないことを点検する。
- (c) エアバッグディプロイメントワイヤにエアバッグディプロイメントワイヤサブハーネス2を取り付ける。
SST 09082-00710, 09082-00740
 - (d) SSTのワニ口と端子をショートさせる。
 - (e) SSTのコネクターをプリテンショナーの端子に接続し、コネクターホルダーをロックする。



- (f) SSTを車両からいっぱい伸ばした位置にバッテリーを置く。
油脂・その他 バッテリー (52506)
- (g) もう一度車室内および周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。
- (h) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、プリテンショナーを作動する。

<警告>

作動前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。

フロントシートアウターベルトASSY [プリテンショナー] (単品廃却時の展開要領)

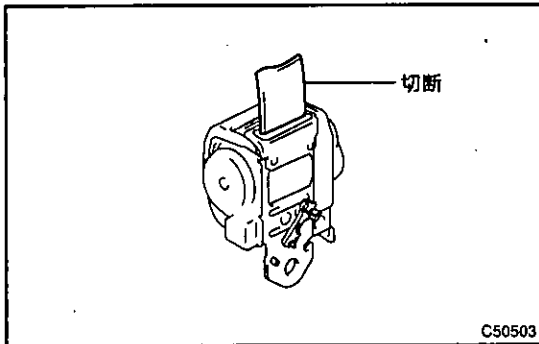
SA000-01

廃却

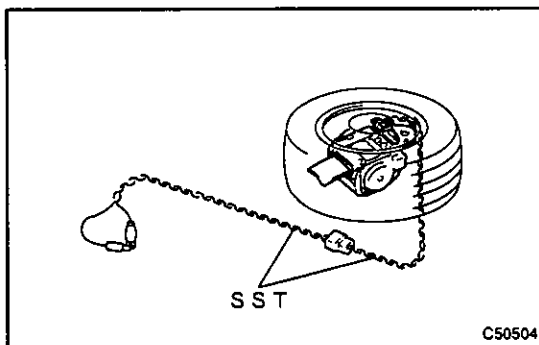
<注意>

フロントシートアウターベルトASSY RHの要領はフロントシートアウターベルトASSY LHの要領と同様に行う。

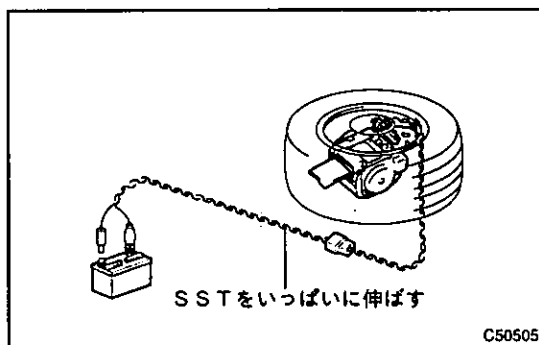
1. 取り扱い・作業上の注意確認 (要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)
3. フロントドアスカッププレートLH取りはずし
4. リヤドアスカッププレートLH取りはずし
5. センターピラーガーニッシュパネルローワーLH取りはずし
6. フロントシートアウターベルトASSY LH取りはずし (要領はSA-102参照)



7. プリテンショナー作動
 - (a) シートベルトをリトラクター部の所で切断する。
 - (b) エアバッグディプロイメントワイヤにエアバッグディプロイメントワイヤサブハーネス2を取り付ける。
SST 09082-00710, 09082-00740
 - (c) SSTのワニ口と端子をショートさせる。



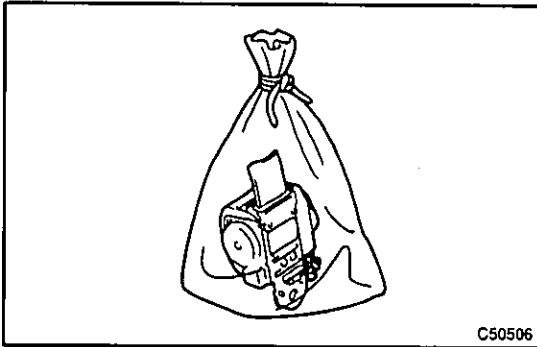
- (d) SSTのコネクターをプリテンショナーの端子に接続し、コネクターホルダーをロックする。
- (e) コネクター側を上にして地面に置き、ディスクホイール付きタイヤ1本をプリテンショナーにかぶせる。
油脂・その他 ホイール付きタイヤ1本 (タイヤ幅185mm程度) (55006)



- (f) SSTをプリテンショナーからいっぱい伸ばした位置にバッテリーを置く。
油脂・その他 バッテリー (52506)
- (g) もう一度周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。
- (h) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、プリテンショナーを作動する。

<警告>

作動前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。



8. プリテンショナー廃却要領

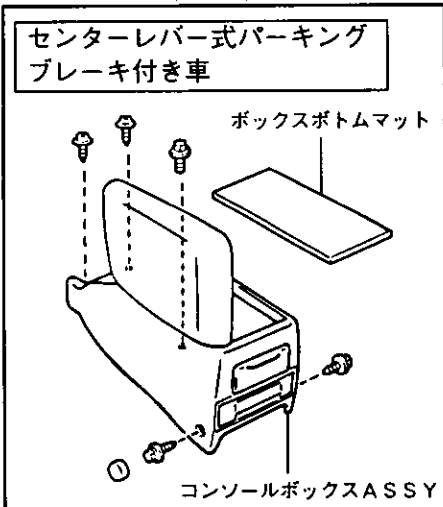
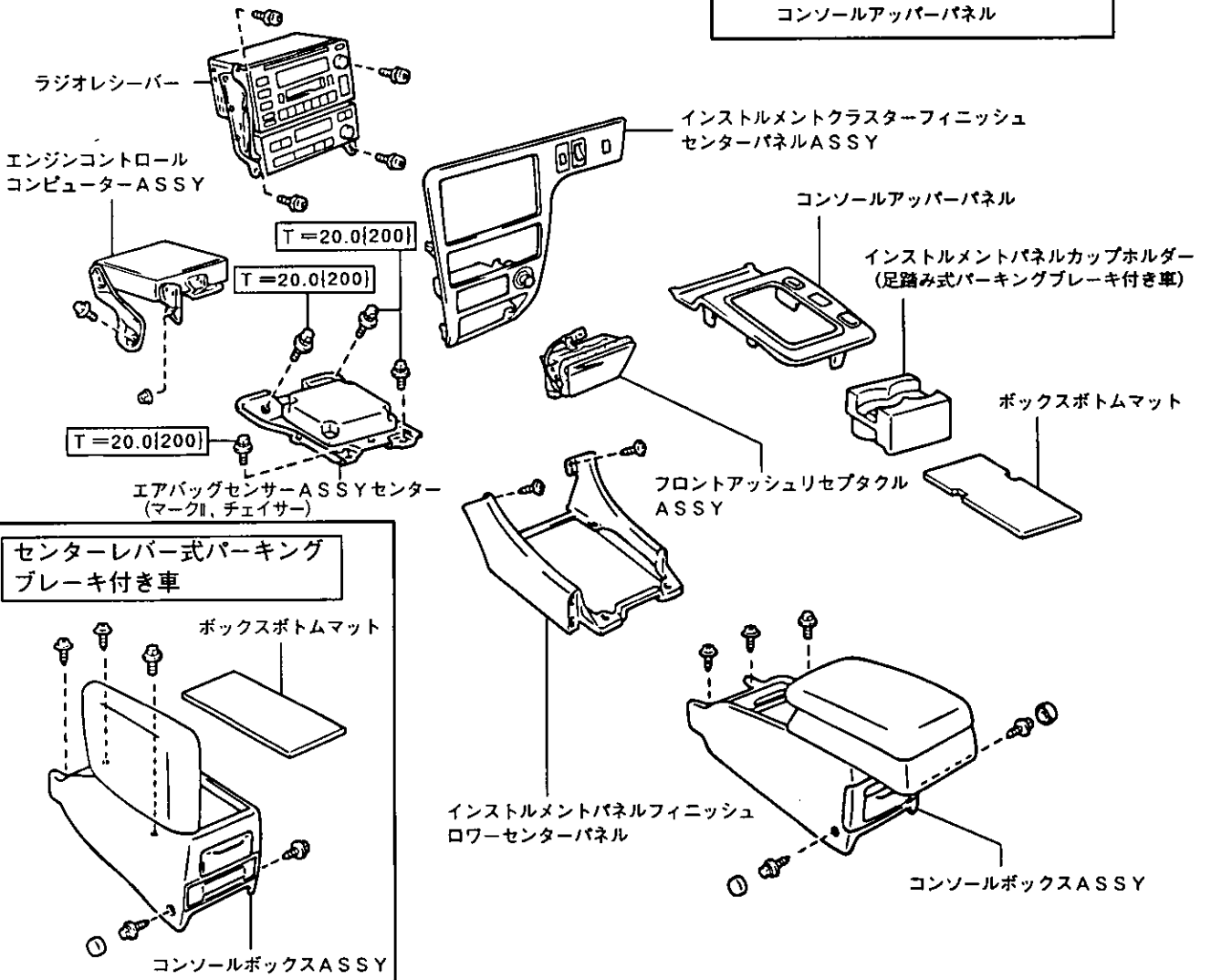
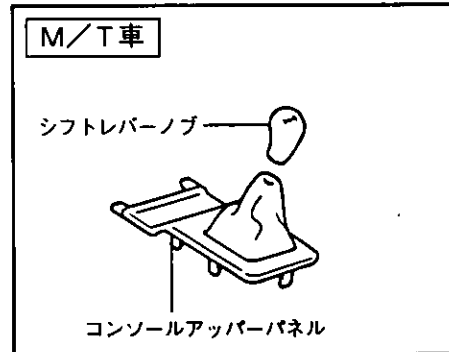
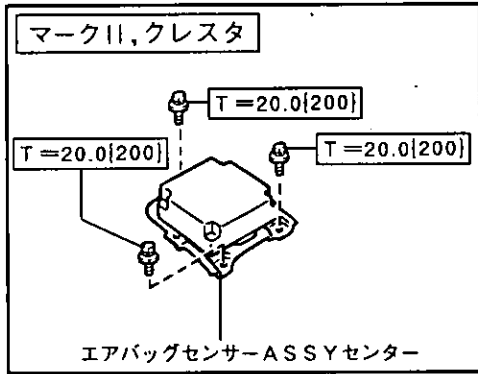
- (a) 作動したプリテンショナーはビニール袋に入れ密封し廃却する。
油脂・その他 保護めがね、手袋、ビニール袋 [72000]

<警告>

- 作動したプリテンショナーは大変高温になっているため作動後30分は放置しておく。
- 作動したプリテンショナーに水などをかけない。
- 作動したプリテンショナーを取り扱うときは、保護めがねおよび手袋を着用する。
- 作業終了時には、必ず手を水洗いする。
- 絶対に未作動の状態ではプリテンショナーを廃棄しない。

エアバッグセンサーASSYセンター 構成図

SA0CH-01



脱着

<注意>

取り付けは、取りはずしの逆の手順で行う。但し、取り付けと要領がある場合のみ示す。

1. 取り扱い・作業上の注意確認（要領はSA-1参照）
2. 電源切り離し（要領は要領はSA-1参照）
3. シフトレバーノブ取りはずし（M/T車）
4. コンソールアッパーパネル取りはずし
5. インストルメントクラスターフィニッシュセンターパネルASSY取りはずし
6. ラジオレシーバー取りはずし
7. インストルメントパネルカップホルダー取りはずし（足踏み式パーキングブレーキ付き車）
8. ボックスボトムマット取りはずし
9. コンソールボックスASSY取りはずし
10. インストルメントパネルフィニッシュロワーセンターパネル取りはずし
11. フロントアッシュリセプトクルASSY取りはずし
12. エンジンコントロールコンピューターASSY取りはずし
13. エアバッグセンサーASSYセンター取りはずし

<注意>

コネクターの脱着は、バッテリーのマイナスターミナルをはずしてから90秒以上経過したことを確認してから行う。

- (a) エアバッグセンサーASSYセンターからコネクタ3個を切り離す。
- (b) トルクスソケットレンチ（T40）を使用して、トルクスボルト4本をはずしエアバッグセンサーASSYセンターを取りはずす。（マークII、チェイサー）

工具 トルクスソケットレンチ（T40）【09042-00020】
- (c) トルクスソケットレンチ（T40）を使用して、トルクスボルト3本をはずしエアバッグセンサーASSYセンターを取りはずす。（マークII、クレスト）

工具 トルクスソケットレンチ（T40）【09042-00020】

14. エアバッグセンサーASSYセンター外観点検

- (a) 次の項目に該当する場合は、エアバッグセンサーASSYセンターを新品と交換する。

基準

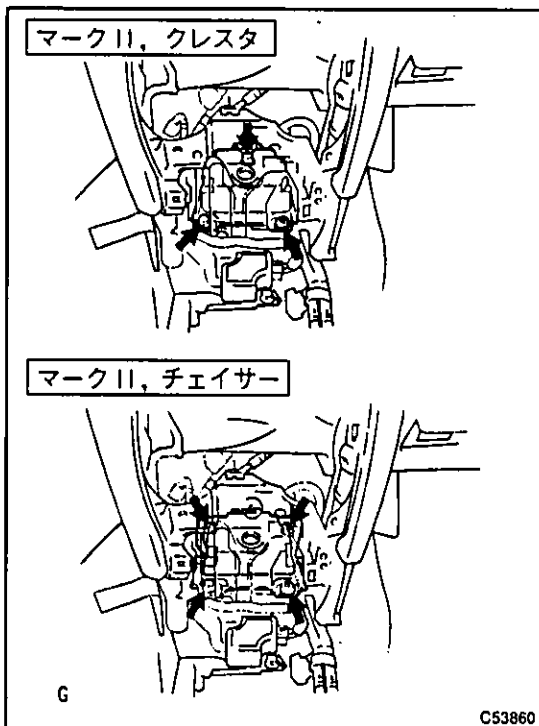
- エアバッグセンサーASSYセンターを落下させた。
- コネクタ部のすり傷、ひび入り、割れ。
- エアバッグセンサーASSYセンターの変形、ひび入り、割れ。

<警告>

- エアバッグセンサーASSYセンター内部回路の抵抗測定は絶対に行わない。
- エアバッグセンサーASSYセンターは絶対に分解修理しない。

<参考>

エアバッグセンサーASSYセンターの電気的な点検で異常がある場合は、新品と交換する。



15. エアバッグセンサーASSYセンター取り付け
 - (a) IGスイッチがOFF (LOCK) になっていることを確認する。
 - (b) バッテリーのマイナスターミナルがはずしてあることを確認する。

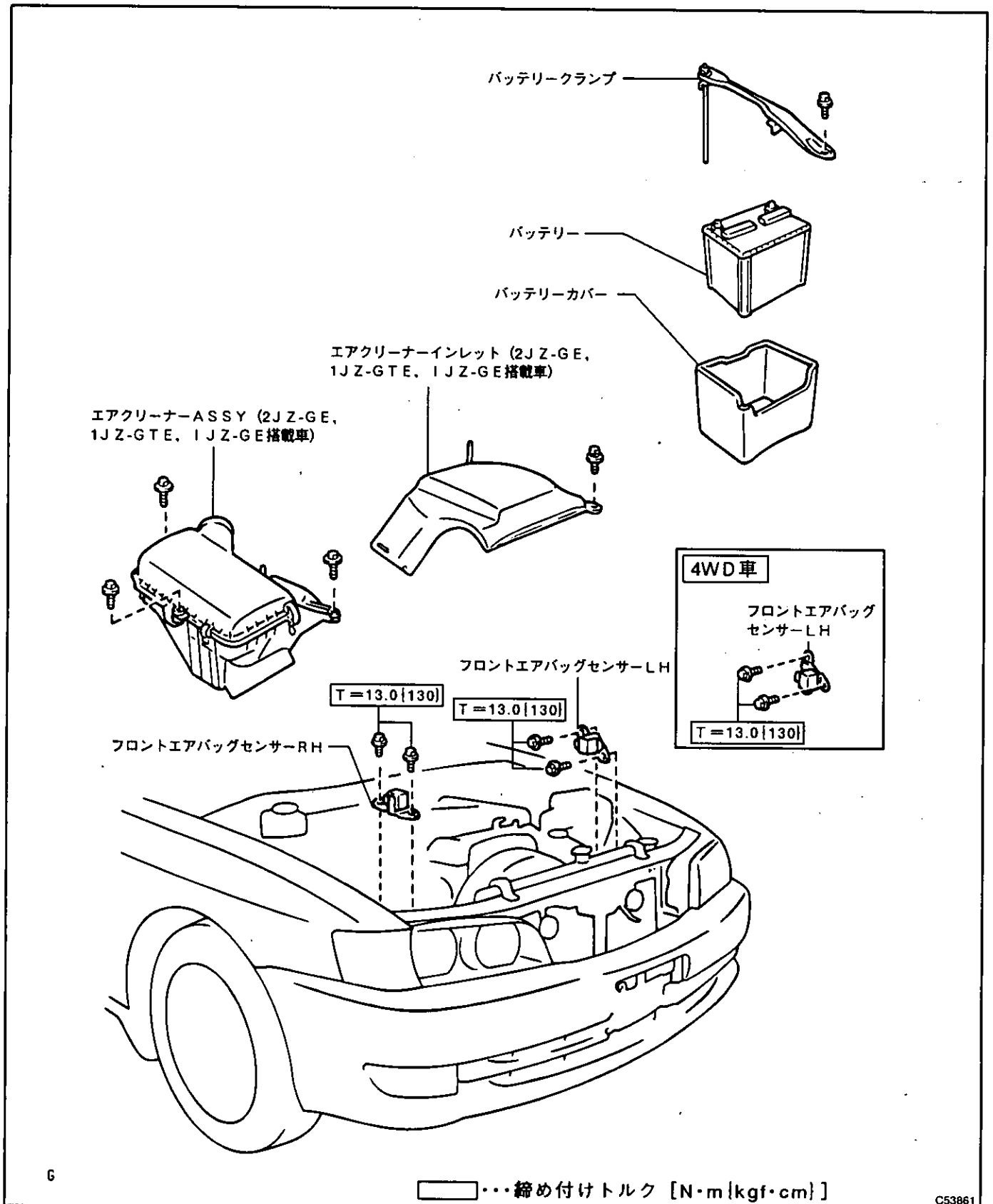
<注意>
ターミナルをはずした場合はその後90秒間作業を始めない。
 - (c) トルクソケットレンチ (T40) を使用して、エアバッグセンサーASSYセンターをトルクスボルト4本で取り付ける。(マークII、チェイサー)

工具 トルクソケットレンチ (T40) [09042-00020]
基準値
T=20.0N・m (200kgf・cm)
 - (d) トルクソケットレンチ (T40) を使用して、エアバッグセンサーASSYセンターをトルクスボルト3本で取り付ける。(マークII、クレスト)

工具 トルクソケットレンチ (T40) [09042-00020]
基準値
T=20.0N・m (200kgf・cm)
 - (e) エアバッグセンサーASSYセンターにコネクター3個を接続する。
 - (f) エアバッグセンサーASSYセンターにガタがないことを確認する。
16. エアバッグウォーニングランプ確認 (要領はSA-10参照)

フロントエアバッグセンサー 構成図

SA0CJ-01



脱着

<注意>

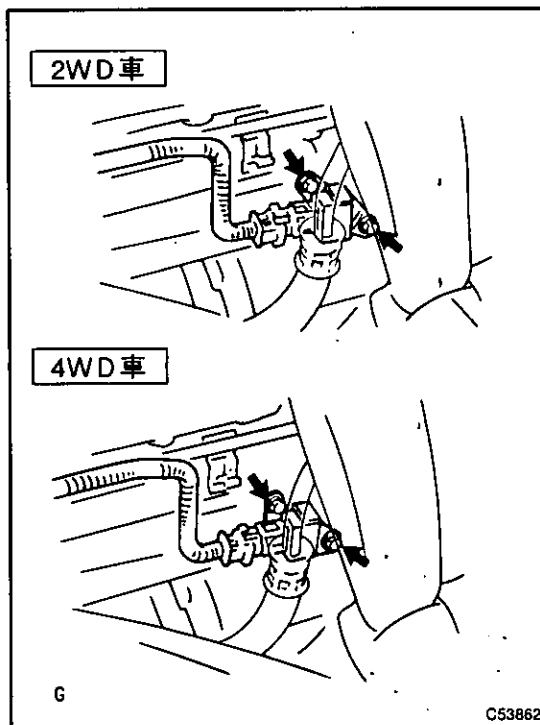
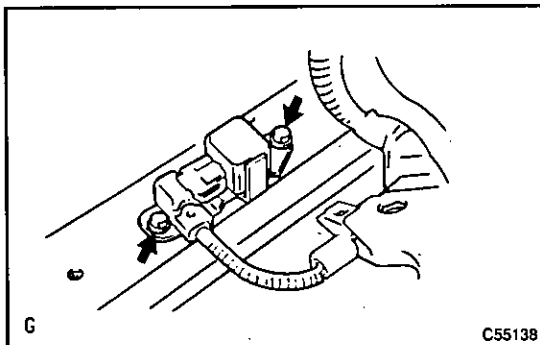
取り付けは、取りはずしの逆の手順で行う。但し、取り付けは要領がある場合のみ示す。

1. 取り扱い・作業上の注意確認（要領はSA-1参照）
2. 電源切り離し（要領はSA-1参照）
3. エアクリーナーインレット取りはずし（2JZ-GE、1JZ-GTEおよび1JZ-GE搭載車）
4. エアクリーナーASSY取りはずし（2JZ-GE、1JZ-GTEおよび1JZ-GE搭載車）
5. フロントエアバッグセンサーRH取りはずし

<注意>

コネクタの脱着は、バッテリーのマイナスターミナルをはずしてから90秒以上経過したことを確認してから行う。

- (a) フロントエアバッグセンサーRHからコネクタを切り離す。
- (b) ボルト2本をはずしフロントエアバッグセンサーRHを取りはずす。
6. バッテリークランプ取りはずし
7. バッテリーカバー取りはずし
8. バッテリー取りはずし



9. フロントエアバッグセンサーLH取りはずし
- (a) フロントエアバッグセンサーLHからコネクタを切り離す。
- (b) ボルト2本をはずしフロントエアバッグセンサーLHを取りはずす。
10. フロントエアバッグセンサー外観点検
- (a) 次の項目に該当する場合は、フロントエアバッグセンサーを新品と交換する。

基準

- ・ フロントエアバッグセンサーを落下させた。
- ・ コネクタ部のすり傷、ひび入り、割れ。
- ・ フロントエアバッグセンサーの変形、ひび入り、割れ。

<警告>

フロントエアバッグセンサーは絶対に分解修理しない。

<参考>

フロントエアバッグセンサーの電気的な点検で異常がある場合は、新品と交換する。

11. フロントエアバッグセンサー取り付け
 - (a) IGスイッチがOFF (LOCK) になっていることを確認する。
 - (b) バッテリーのマイナスターミナルがはずしてあることを確認する。

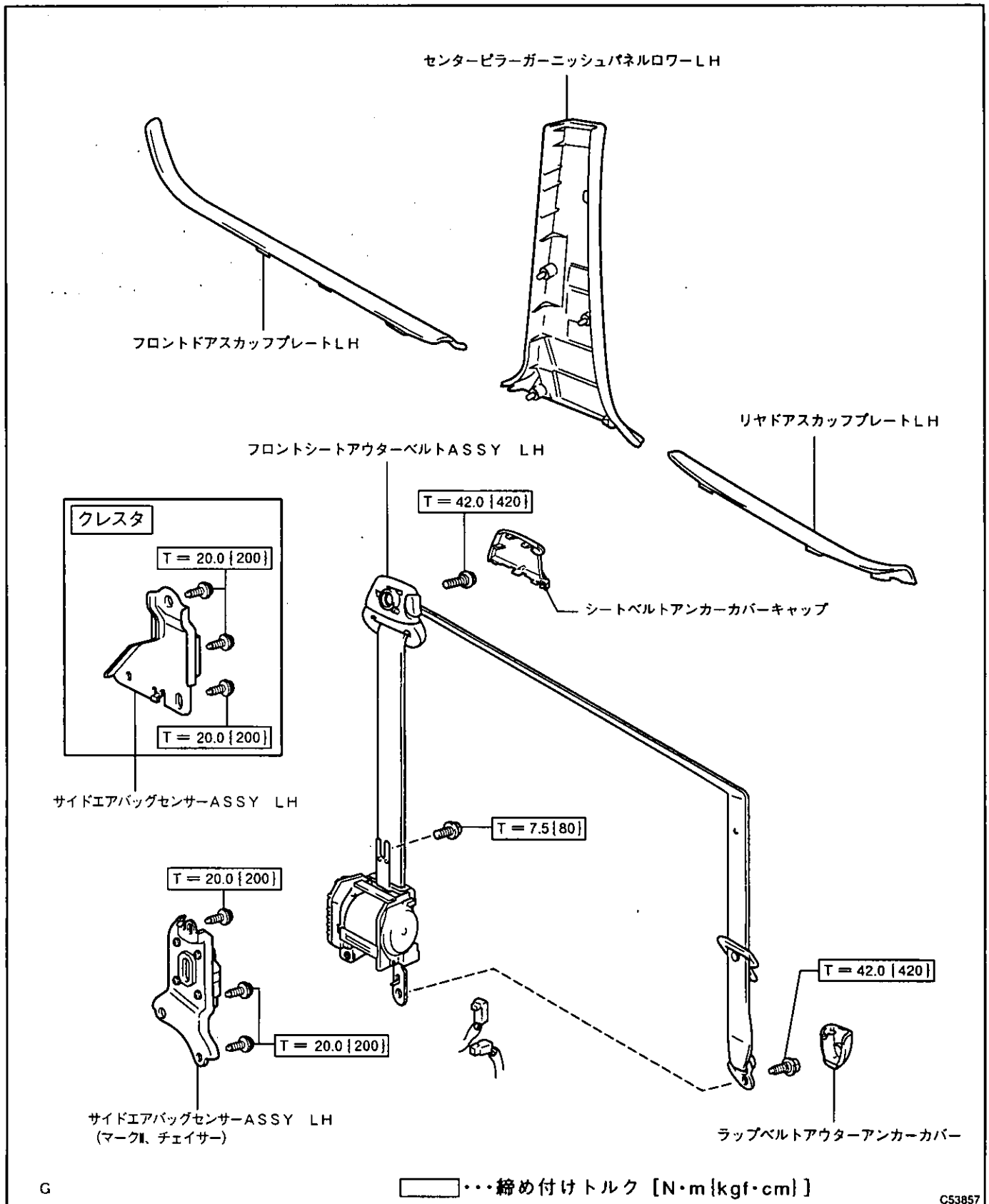
<注意>
マイナスターミナルをはずした場合はその後90秒間作業を始めない。
 - (c) フロントエアバッグセンサーRHをボルト2本で取り付ける。

基準値
 $T = 13.0\text{N}\cdot\text{m}$ {130kgf·cm}
 - (d) フロントエアバッグセンサーLHをボルト2本で取り付ける。

基準値
 $T = 13.0\text{N}\cdot\text{m}$ {130kgf·cm}
 - (e) フロントエアバッグセンサーにコネクタを接続する。
 - (f) フロントエアバッグセンサーにガタがないことを確認する。
12. エアバッグウォーニングランプ確認 (要領はSA-10参照)

サイドエアバッグセンサーASSY 構成図

SAOCL-01



C53857

脱着

<注意>

- 取り付けは、取りはずしの逆の手順で行う。但し、取り付けは要領がある場合のみ示す。
- サイドエアバッグセンサーASSY RHの脱着は、サイドエアバッグセンサーASSY LHの脱着と同様に行う。

1. 取り扱い・作業上の注意確認（要領はSA-1参照）
2. 電源切り離し（要領はSA-1参照）
3. フロントドアカッププレートLH取りはずし
4. リヤドアカッププレートLH取りはずし
5. センターピラーガーニッシュパネルローワーLH取りはずし
6. フロントシートアウターベルトASSY LH取りはずし（要領はSA-102参照）
7. サイドエアバッグセンサーASSY LH取りはずし
 - (a) サイドエアバッグセンサーASSYからコネクターを切り離す。
 - (b) トルクスソケットレンチ（T40）を使用してトルクスボルト3本ははずし、サイドエアバッグセンサーASSY LHを取りはずす。
工具 トルクスソケットレンチ（T40）〔09042-00020〕
8. サイドエアバッグセンサーASSY外観点検
 - (a) 次の項目に該当する場合は、サイドエアバッグセンサーASSYを新品と交換する。

基準

- サイドエアバッグセンサーASSYを落下させた。
- コネクター部のすり傷、ひび入り、割れ。
- サイドエアバッグセンサーASSYの変形、ひび入り、割れ。

<警告>

- サイドエアバッグセンサーASSY内部回路の抵抗測定は絶対に行わない。
- サイドエアバッグセンサーASSYは絶対に分解修理しない。

<参考>

サイドエアバッグセンサーASSYの電気的な点検で異常がある場合は、新品と交換する。

9. サイドエアバッグセンサーASSY LH取り付け
 - (a) IGスイッチがOFF（LOCK）になっていることを確認する。
 - (b) バッテリーのマイナスターミナルがはずしてあることを確認する。

<注意>

ターミナルをはずした場合はその後90秒間作業を始めない。

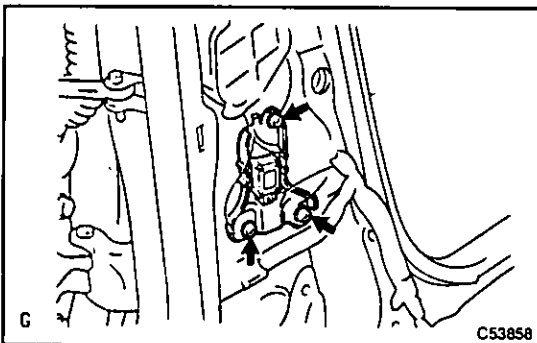
- (c) トルクスソケットレンチ（T40）を使用して、サイドエアバッグセンサーASSYをトルクスボルト3本で取り付ける。

工具 トルクスソケットレンチ（T40）〔09042-00020〕

基準値

$T = 20.0\text{N}\cdot\text{m}$ {200kgf·cm}

- (d) サイドエアバッグセンサーASSYにコネクターを接続する。
 - (e) サイドエアバッグセンサーASSYにガタがないことを確認する。
10. エアバッグウォーニングランプ確認（要領はSA-10参照）



MEMO